

# 香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略

## 進捗管理シート

令和3年2月

香 芝 市



# 香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

## 目 次

### 凡 例

	(担当課)	(頁)
<b>【基本目標1】香芝における安定した雇用を創出する</b>		
<b>【施策1】新規創業の推進</b>		
1 ・創業促進事業補助制度	商工振興課	1
2 ・創業支援アドバイザー派遣制度	商工振興課	2
3 ・創業資金融資利子及び保証料補給制度	商工振興課	3
4 ・創業支援のためのセミナーの開催	商工振興課	4
<b>【施策2】市内企業の競争力の強化</b>		
5 ・中小企業設備投資促進	商工振興課	5
6 ・産学連携促進	商工振興課	6
7 ・中小企業特許等取得支援事業	商工振興課	7
8 ・市内産業のアピール	商工振興課	8
<b>【施策3】市内での新たな企業の立地促進</b>		
9 ・市外からの企業誘致の推進	商工振興課	9
10 ・市内企業の移設・増設・建替えの支援	商工振興課	10
11 ・事業用地登録制度の実施	商工振興課	11
<b>【施策4】女性活躍の推進</b>		
12 ・男女共同参画の推進	市民協働課	12
13 ・女性の就職支援	市民協働課	14
<b>【基本目標2】香芝への新しいひとの流れをつくる</b>		
<b>【施策5】広報の充実による市内外へのPR活動</b>		
14 ・広報紙発行事業	秘書広報課	15
15 ・行政情報の発信(HP、SNSなど)	秘書広報課	16
<b>【施策6】雇用環境の充実</b>		
16 ・市内企業合同説明会	商工振興課	17
17 ・多様な働き方の推進	商工振興課	18
18 ・女性の就職支援	市民協働課	19
19 ・ワークライフバランス・男女共同参画についての市民・企業への周知啓発	市民協働課	20
<b>【施策7】地域ブランド力の向上</b>		
20 ・地域ブランド商品・製品の開発	商工振興課	21
21 ・観光振興事業	商工振興課	22
22 ・地域イベントの実施	市民協働課	25

64	・ふるさとまちづくり寄附金事業	企画政策課	26
23	・マスコットキャラクター「カッシー」発信事業	商工振興課	27
24	・「道の駅」全体構想計画策定事業	土木課	28
25	・自給率向上推進事業及び地産地消の推進	農政土木管理課	29
26	・遊休農地に耕作する農業者の選定	農業委員会	30

### 【基本目標3】若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

#### 【施策8】健康・子育ての応援(すこやか親子)

27	・地域で子育て応援事業	こども課	31
		児童福祉課	33
28	・親子の健康づくり推進事業	保健センター	34
		国保医療課	37
29	・絵本で育む親子のつながり事業	市民図書館	38
		児童福祉課	39
30	・虐待対応連携強化事業	児童福祉課	40
31	・障がい児福祉の充実	社会福祉課	41

#### 【施策9】保育・教育の充実(のびのび親子)

32	・放課後児童の居場所づくり総合支援事業	こども課／生涯学習課	42
33	・待機児童解消事業	こども課	43
34	・保育サービスの充実	こども課	44
35	・就園奨励費助成事業	こども課	45
36	・就学前保育・教育カリキュラム編成事業	こども課	46
37	・教育相談機能の充実	学校教育課	47
38	・認定こども園事業	こども課	48
65	・学校教育環境整備事業	教育総務課／学校教育課	49

#### 【施策10】家庭の自立応援(がんばる親子)

39	・生活困窮者自立支援事業	生活支援室	50
40	・就学援助事業	学校教育課	51
41	・ひとり親家庭自立支援事業	児童福祉課	52

### 【基本目標4】時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

#### 【施策11】公共施設などの維持・向上

42	・公共施設等総合管理事業	管財課	53
43	・公共施設再編事業	管財課	54
44	・スポーツ公園事業	土木課	55
45	・主要幹線道路整備事業	土木課	56
46	・公共交通運行事業	生活安全課	57
47	・安全で安定した水道水の供給	工務課	58
48	・下水道施設の長寿命化	下水道課	59

**【施策12】 住環境の維持・向上**

49 ・バリアフリー化推進事業	都市計画課	60
50 ・空き家対策推進事業	都市計画課	61
51 ・耕作放棄地解消事業	農業委員会	62

**【施策13】 災害対策・防犯の充実**

52 ・防災意識啓発事業	危機管理室	64
53 ・防災用品等備蓄事業	危機管理室	65
54 ・消防団活動促進事業	危機管理室	66
55 ・防犯対策事業	生活安全課	67
56 ・流域貯留浸透事業	土木課	68

**【施策14】 保健・福祉の充実**

57 ・高齢者・障がい者福祉の充実	社会福祉課	69
	介護福祉課	70
58 ・介護予防・健康づくりの推進	介護福祉課	71

**【施策15】 市民協働・地域間連携・官学連携の推進**

59 ・地域コミュニティ活動の活性化	市民協働課	72
60 ・市民によるまちづくり活動の推進	市民協働課	73
61 ・地域イベントの実施	市民協働課	74
62 ・自治体間連携・官民連携推進事業	企画政策課	75
63 ・大学連携推進事業	企画政策課	76

# 凡例

## <進捗管理シートについて>

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けられた「推進する主な事業」ごとに、具体的な取組状況・実績等を報告するシートです。

今回は、シートのうち「実績(令和2年度末見込み)」「進捗」「課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)」「担当課総括評価」の欄を追記しています。

総合戦略の基本目標・施策  
事業名を表示しています。

「推進する主な事業」の取り  
組みとして実施する事業名・  
事業内容と担当所管を記載  
しています。

各年度における事業  
の具体的な取組内容・課題  
と今後の方向性等について  
記載しています。

総合戦略の基本目標・施策		基本目標	1	香芝における安定した雇用を創出する		
		施策	1	新規創業の推進		
		推進する主な事業	1	創業促進事業補助制度		
		総合戦略記載の事業内容	具体的な計画を有する創業予定者に対して、空き店舗等で事業所を開設するための賃貸並びに設備工事及び備品等の経費について補助を行います。			
事業概要		事業名	香芝市創業促進補助金		担当課	商工振興課
		事業内容	香芝市内での創業を促進し、事業の創出による地域経済の活性化及び雇員につながることを目的として、人件費、事業費(店舗等借入費、設備費、広報費)を補助する。補助率は、補助対象経費の2分の1以内で、補助限度額は100万。ただし、補助対象者は、「経済産業省関係産業競争力強化法施行規則」第8条各号に掲げる知識を習得することを条件としており、事業を継続的かつ収益性を重視した事業です。			
取組状況						
年度	実績	申請:8件、交付決定:8件、確定交付:8件			進捗	実施中(計画どおり)
	課題と今後の方向性	申請順で受付を行っているが、毎年度予算を上回る申請があるため、募集期間を設けて審査機関により交付者決定を行う要綱に改正する検討が必要。			担当課評価	A
平成29年度	実施計画	補助金申請の募集期間を設け、事業計画書を審査機関にて審査・選考を行い、本市の地域経済の発展に寄与する創業者に補助金を交付する。				—
	実績	申請は3件あったが、審査・選考の結果、交付決定は1件で、確定交付1件。			進捗	実施中(計画どおり)
平成30年度	課題と今後の方向性	国から認定されている本市創業支援事業計画が平成30年度で終了するため、今後の国の動向を見極めながら実施していく必要がある。			担当課評価	A
	実施計画	・5月7日～5月31日を募集期間とし、申請のあった事業計画書について審査機関にて審査・選考を行い、補助金の交付を行う。 ・次年度以降に向け、創業支援等事業計画を更新する。				—
令和元年度	実績	・市創業促進補助金の申請件数4件。審査・選考の結果、交付決定は2件。 ・市創業支援等事業計画の変更を行い、計画期間を令和6年3月31日までに延長した。			進捗	実施中(計画どおり)
	課題と今後の方向性	・創業後に、経営基盤を安定させるためにも、市の各種制度の情報提供を行いながら、事後の経過を見守る。			担当課評価	A
令和2年度	実施計画	・5月8日～5月31日の期間で一次、8月1日～8月31日の期間で二次募集をし、申請のあった事業計画書について審査機関にて審査・選考を行い、補助金の交付を行う。 ・市内事業者へ補助金の更なる周知を徹底する。				—
	実績(令和2年度末見込み)	申請2件、内採択2件			進捗	実施中(計画どおり)
課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)		平成29年度から審査による採択制を採用したため申請件数、交付決定数とも減少しているもの。より意欲が高く事業計画の精度の高い創業希望者へ制度利用の機会を提供できていると考える。今後も、より長く事業を継続し、香芝市の産業を担っていく事業者を創出していく。			担当課総括評価	A

### 【進捗】

事業の進捗状況を下記のいずれかで表記しています。

- ・未実施
- ・実施中(遅れている)
- ・実施中(計画どおり)
- ・実施中(前倒し)
- ・完了

### 【担当課評価】

事業内容について、担当課が下記を基準に評価しています。

- A：目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する
- B：目標を下回っており、改善しながら継続して事業を推進する
- C：目標を大きく下回っており、見直しを要する

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけでの	基本目標	1	香芝における安定した雇用を創出する				
	施策	1	新規創業の推進				
	推進する主な事業	1	創業促進事業補助制度				
	総合戦略記載の事業内容	具体的な計画を有する創業予定者に対して、空き店舗等で事業所を開設するための賃貸並びに設備工事及び備品等の経費について補助を行います。					
事業概要	事業名	香芝市創業促進補助金		担当課	商工振興課		
	事業内容	香芝市内での創業を促進し、事業の創出による地域経済の活性化及び発展につながることを目的として、人件費、事業費(店舗等借入費、設備費、広報費)を補助する。補助率は、補助対象経費の2分の1以内で、補助限度額は100万。ただし、補助対象者は、「経済産業省関係産業競争力強化法施行規則」第8条各号に掲げる知識を習得することを条件にしており、事業を継続的かつ収益性を重視した事業です。					
進捗管理項目	取組状況						
	平成28年度	実績	申請:8件、交付決定:8件、確定交付:8件			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	申請順で受付を行っているが、毎年度予算を上回る申請があるため、募集期間を設けて審査機関により交付者決定を行う要綱に改正する検討が必要。			担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	補助金申請の募集期間を設け、事業計画書を審査機関にて審査・選考を行い、本市の地域経済の発展に寄与する創業者に補助金を交付する。			—	—
		実績	申請は3件あったが、審査・選考の結果、交付決定は1件で、確定交付1件。			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	国から認定されている本市創業支援事業計画が平成30年度で終了するため、今後の国の動向を見極めながら実施していく必要がある。			担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	・5月7日～5月31日を募集期間とし、申請のあった事業計画書について審査機関にて審査・選考を行い、補助金の交付を行う。 ・次年度以降に向け、創業支援等事業計画を更新する。			—	—
		実績	・市創業促進補助金の申請件数4件。審査・選考の結果、交付決定は2件。 ・市創業支援等事業計画の変更を行い、計画期間を令和6年3月31日までに延長した。			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・創業後に、経営基盤を安定させるためにも、市の各種制度の情報提供を行いながら、事後の経過を見守る。			担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	・5月8日～5月31日の期間で一次、8月1日～8月31日の期間で二次募集をし、申請のあった事業計画書について審査機関にて審査・選考を行い、補助金の交付を行う。 ・市内事業者へ補助金の更なる周知を徹底する。			—	—
		実績	・一次募集(申請1件、採択決定1件、確定交付1件) ・二次募集(申請4件、採択決定0件、確定交付0件)			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・創業後に、経営基盤を安定させるためにも、市の各種制度の情報提供を行いながら、事後の経過を見守る。			担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	・4月20日～6月1日の期間で募集をし、申請のあった事業計画書について審査機関にて審査・選考を行い、補助金の交付を行う。 ・市内事業者へ補助金の更なる周知を徹底する。			—	—
		実績(令和2年度末見込み)	申請2件、内採択2件			進捗	実施中(計画どおり)
	課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	平成29年度から審査による採択制を採り入れたため申請件数、交付決定数とも減少しているものの、より意欲が高く事業計画の精度の高い創業希望者へ制度利用の機会を提供できていると考える。今後も、より長く事業を継続し、香芝市の産業を担っていく事業者を創出していく。			担当課総括評価	A	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総 合 戦 略 の 概 要	基本目標	1	香芝における安定した雇用を創出する			
	施策	1	新規創業の推進			
	推進する主な事業	2	創業支援アドバイザー派遣制度			
	総合戦略記載の事業内容	市内での創業者及び創業予定者に対し、様々な経営課題の解決のために専門家からの診断や助言等を受けるため、個別に相談できるアドバイザーを派遣します。				
事 業 概 要	事業名	創業支援アドバイザー派遣制度事業			担当課 商工振興課	
	事業内容	創業に必要な知識のアドバイスや、様々な経営課題の解決のために、市内での創業予定者や創業後1年未満の者に助言・指導を行う専門家(中小企業診断士)を無料で派遣し、起業をしやすい環境を整えて支援を行う。				
進 捗 管 理 項 目	取組状況					
	平成28年度	実績	申請:4件、支援完了:4件			進捗 実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	派遣の上限回数を決めているために、創業予定者については、漠然とした状況でのサポートとなるため、開業まで支援が行える仕組みなどの検討が必要。			担当課評価 A
	平成29年度	実施計画	平成29年4月1日から受付開始 予算60万円(申請5件程度) ※上限回数については、昨年と同様に4回までとし、その回数内で、開業までの助言・指導が完結するよう調整を行う。			— —
		実績	申請3件に対して、3件の支援を完了。			進捗 実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	アドバイザーの派遣回数の上限を定めているために、創業予定者については、最後までサポートを行うことができない場合もあり、開業までの支援が行えるなどの検討が必要。			担当課評価 A
	平成30年度	実施計画	・平成30年4月1日から受付を開始する。 ・他の創業支援制度の利用者に対して本制度を案内する等して、申込件数4件を目指す。 ・商工会や関連団体と連携し、継続的なサポート体制を整える。			— —
		実績	・申請3件に対して、3件の支援を実施。			進捗 実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・制度を利用した人はほぼ創業していることから、創業後の継続した後追い調査等も検討する。			担当課評価 A
	令和元年度	実施計画	・平成31年4月1日から受付を開始する。 ・他の創業支援制度の利用者に対して本制度を案内する等して、申込件数4件を目指す。 ・商工会や関連団体と連携し、継続的なサポート体制を整える。 ・受講者が創業した後の経過観察をするなど、後追い調査を検討する。			— —
		実績	・申請4件に対して、4件の支援を実施。			進捗 実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・制度を利用した人はほぼ創業していることから、創業後の継続した後追い調査等も検討する。			担当課評価 A
	令和2年度	実施計画	・令和2年4月1日から受付を開始する。 ・他の創業支援制度の利用者に対して本制度を案内する等して、申込件数4件を目指す。 ・商工会や関連団体と連携し、継続的なサポート体制を整える。 ・受講者が創業した後の経過観察をするなど、後追い調査を検討する。			— —
実績(令和2年度末見込み)		・申請2件に対して、2件の支援を実施。			進捗 実施中(計画どおり)	
	課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	・制度を利用した人はほぼ創業していることから、効果は高かった。創業後の継続的な後追い調査も要検討。 ・今後も、制度の周知啓発を進めつつ、商工会や県の創業支援事業(かしばみらい塾、奈良県よろず支援拠点)と連携を図り、市内創業者の人材発掘・育成に取り組んでいく。			担当課総括評価 A	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総 位 合 戦 略 づ け の	基本目標	1	香芝における安定した雇用を創出する			
	施策	1	新規創業の推進			
	推進する主な事業	3	創業資金融資利子及び保証料補給制度			
	総合戦略記載の事業内容	市の融資制度として創業者及び創業予定者に対し、利子及び保証料の一部を補給します。				
事 業 概 要	事業名	創業資金融資利子及び保証料補給制度			担当課 商工振興課	
	事業内容	市内で新たに事業を開始しようとする中小企業者を支援するため、事業活動に必要な資金を円滑に調達できるよう、金融機関を通じた融資を行う。創業促進事業補助金との併用を可能とし、創業当初だけでなく、継続的に創業者を支援する。				
進 捗 管 理 項 目	取組状況					
	平成28年度	実績	決定件数:4件			進捗 実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	効果測定の方法についての検討。 利子補給金振込時の通知方法の検討。			担当課評価 A
	平成29年度	実施計画	利子及び保証料の一部を補給。 5月の利子補給金振込時に、個別通知を実施する。 効果測定の方法については、支援後の状況変化等に関するアンケート実施を予定している。			— —
		実績	利子及び保証料の一部を補給。決定件数:10件 5月の利子補給金振込時に、個別通知及び事業効果のアンケートを実施。			進捗 実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	効果測定を行うため、支援後の状況変化等に関するアンケート実施を予定しているが、具体的な測定方法等について検討が必要。			担当課評価 A
	平成30年度	実施計画	・広報やHP、金融機関への情報提供で制度の周知を行う。 ・10件程度の支援を目指す。 ・補給金振込み通知の際に、効果測定のアンケートを実施する。			— —
		実績	・効果測定アンケート実施 ・利子及び保証料の一部補給の件数:5件			進捗 実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・効果測定のアンケート調査では、事業運営における本制度の必要性は極めて高いという結果であったので、今後も市内事業者への広い周知を徹底する。			担当課評価 A
	令和元年度	実施計画	・広報やHP、金融機関への情報提供で、市内事業者へ融資制度の更なる周知を徹底する。			— —
		実績	・利子及び保証料の一部補給の件数:3件			進捗 実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・今後も市内事業者への広い周知を徹底する。			担当課評価 A
	令和2年度	実施計画	・広報やHP、金融機関への情報提供で、市内事業者へ融資制度の更なる周知を徹底する。			— —
		実績(令和2年度末見込み)	・利子及び保証料の一部補給の件数: 3 件			進捗 実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	創業者にとっては比較的使いやすい融資制度となっていることから、制度利用者は新型コロナの影響を受けている令和2年度にあって例年並みであった。 広報やホームページを通して周知できたものの、市内事業者に対する融資制度のさらなる周知は必要。また金融機関にも情報提供を行い、引き続き周知を徹底する。			担当課総括評価 A

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけでの 概略	基本目標	1	香芝における安定した雇用を創出する			
	施策	1	新規創業の推進			
	推進する主な事業	4	創業支援のためのセミナーの開催			
	総合戦略記載の 事業内容	創業予定者が専門的知識を身につけることができる市商工会実施のセミナーを支援します。				
事業概要	事業名	香芝起業セミナーみらい塾事業			担当課 商工振興課	
	事業内容	講義・グループワーク・ホームワーク・プレゼンテーションの4つのカテゴリーに分けて、香芝市商工会や市内金融機関が受講者の事業計画書作成をサポートする。全6回のカリキュラムを修了すると、受講者は経済産業省関係産業競争力強化法施行規則第8条各号に掲げる知識を習得できる。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	9月に受講者を公募。10月から11月にかけて計6回の講座を実施。13名が受講し、うち11名が修了。			進捗 実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	受講後の事業化の状況等の把握するため、報告書などの検討が必要。			担当課評価 A
	平成29年度	実施計画	5月に受講者を募集し、6月から7月にかけて開催する。時期を早めた理由については、受講者が7月から募集を開始する創業促進補助金の申請ができるように調整した。受講者の受講後の状況等を把握するため、商工会からの報告書提出を求める。			— —
		実績	募集の結果、8名から申込みがあったが、商工会による事前審査にて6名を選考し、6～7月にかけて6回の講座を実施した。今年度は、現在2名が開業している。			進捗 実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	ワンストップ窓口として商工会と密に連携を行い起業後のバックアップも含めて支援していく。			担当課評価 A
	平成30年度	実施計画	商工会主催の事業を補助金の交付により支援する。 ・6月から7月にかけて受講者を公募し、8月から10月にかけて計7回の講座を実施。 ・6名から10名の受講者の確保を目指す。			— —
		実績	・11名の申請があり、商工会による事前審査で6名を選考。計7回の講座を実施し、5名が修了した。うち、2名が開業された。			進捗 実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・創業塾修了後に、市の各種創業支援施策を活用することで、起業が実現しやすくなるように情報提供を行う。			担当課評価 A
	令和元年度	実施計画	商工会主催の事業を補助金の交付により支援する。 ・6月から7月にかけて受講者を公募し、8月から10月にかけて計7回の講座を実施。 ・6名から10名の受講者の確保を目指す。			— —
		実績	・12名の申請があり、商工会による事前審査で10名を選考。計5回の講座を実施し、10名が修了した。うち、2名が開業された。			進捗 実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・創業塾修了後に、市の各種創業支援施策を活用することで、起業が実現しやすくなるように情報提供を行う。			担当課評価 A
	令和2年度	実施計画	商工会主催の事業を補助金の交付により支援する。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、実施の可否について要協議。 ・実施の場合、6名から10名の受講者の確保を目指す。			— —
		実績(令和2年度未見込み)	・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講義はリモートで実施する。 ・12名の申請があり、商工会による事前審査で6名を選考。計6回の講座を実施し、6名が修了予定。			進捗 実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性 (計画期間における全体総括)	・制度利用者の開業率は、全国平均の16.8%と比べ、約60%と大きな効果を上げた。また、修了後に、市の各種創業支援施策を活用することで、起業が実現しやすくなるように情報提供を行った。 ・今後も継続し、創業者数の増加につなげる。			担当課総括評価 A

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ の	基本目標	1	香芝における安定した雇用を創出する			
	施策	2	市内企業の競争力の強化			
	推進する主な事業	5	中小企業設備投資促進			
	総合戦略記載の 事業内容	新事業活動に伴い経済好循環に結びつく設備投資、企業が市内に定着するための環境配慮型の設備投資を促進する補助制度を実施します。				
事業概要	事業名	香芝市中小企業設備投資促進補助金		担当課	商工振興課	
	事業内容	地域産業の活性化を図るため、競争力の強化や技術力の向上に積極的に取り組む市内の中小企業者が、(1)市内の事業所に、新事業活動を行うための設備投資を行う場合に、その費用の10%以内の額を、最大150万円まで補助する。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	補助金申請 6件		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	継続して事業を実施するが、補助金交付決定に関し、新事業の内容、企業の財務状況に対する審査基準を設けることを検討する。また既に補助金を交付した企業への評価を実施する。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	平成29年4月1日から受付開始 予算700万円。市内で1年以上事業を継続している企業の活性化を図る。 新たな審査基準の設定については、検討中。		—	—
		実績	5件の事業所に補助金を交付。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	要綱制定後5年が経過するため、市施策として継続するか否か、また、継続する場合に審査基準をどうするか、等を商工振興協議会で審議する必要がある。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	・商工振興パンフレット等により、市内事業所に制度の周知を図る。 ・補助金交付件数4～5件を目指す。 ・来年度以降の事業実施について検討する。		—	—
		実績	・補助金交付件数 3件		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・生産性向上に向けた国の制度も開始したことで、事業者の設備投資の機運はより高まった。本市の設備投資促進補助制度についても、継続的に実施し、市内事業所に積極的に活用してもらえるように、広く周知していきたい。		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	・商工振興パンフレット等により、市内事業所に制度の周知を図る。 ・補助金交付件数5件を目指す。		—	—
		実績	・補助金交付件数 3件		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	本市の設備投資促進補助制度についても、継続的に実施し、市内事業所に積極的に活用してもらえるように、広く周知していきたい。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	・令和2年4月1日から受付を開始する。 ・商工振興パンフレットや事業所訪問により、積極的に制度の活用を促す。 ・補助金交付件数4～5件を目指す。		—	—
実績(令和2年度未見込み)		・補助金交付件数 2件		進捗	実施中(計画どおり)	
	課題と今後の方向性 (計画期間における全体総括)	・申請数は減少傾向にあるが、補助金交付後のアンケートによると、「大いに役立った」、「今後もこの制度を続けてほしい」という声が多く、効果が高かった。今後も継続的に実施し、市内事業所に積極的に活用してもらえるように、広く周知していきたい。		担当課総括評価	A	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ の	基本目標	1	香芝における安定した雇用を創出する			
	施策	2	市内企業の競争力の強化			
	推進する主な事業	6	産学連携促進			
	総合戦略記載の 事業内容	企業のニーズと大学等のニーズを結びつけ、大学等の知的資源を活かした企業の競争力の強化に努め、必要経費の一部を補助します。				
事業概要	事業名	香芝市産学連携促進事業補助金			担当課 商工振興課	
	事業内容	市内企業の活性化、競争力強化を図るため、大学や公的な研究機関と連携(産学連携)し、企業課題の解決や新製品の開発等に取り組む市内の中小企業者に対し、最大50万円を補助する。連携する大学等が未定の場合は、市が指定する大学等とのマッチングも行う。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	補助金申請 1件		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	産学連携事業に興味を示す企業は多いものの、人手不足などの理由から、実際に事業を行うまで至らないケースが多い。事業の有効性等について、さらなる周知に努めるとともに、事業の手法についても検討が必要。		担当課評価	B
	平成29年度	実施計画	平成29年4月1日より受付開始 現在2プロジェクトが進行中。 事業手法については、次年度に向け検討中。		—	—
		実績	3件の事業に対して補助金を交付。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	産学連携に取り組みたい企業の思い(ニーズ)と、それを受け入れる大学側とのマッチングが課題。またこの事業による実績が、企業にとって、重要なものになっているか、検証が必要。その上でこの事業の有効性、手法については次年度に向け要検討。		担当課評価	B
	平成30年度	実施計画	・企業のニーズに応じた連携が実現できるよう実施手法を見直す。 ・商工振興パンフレットや事業所訪問により、積極的に制度の活用を促す。 ・補助金交付件数3件を目指す。		—	—
		実績	・補助金交付件数 1件		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・年度によって、実績の多い年度と少ない年度があるため、一概に需要が少ないとも言い切れないが、本年度の実績が1件に留まっていることについては、企業側の本制度へのニーズについて改めて検討する。		担当課評価	B
	令和元年度	実施計画	・商工振興パンフレットや事業所訪問により、積極的に制度の活用を促す。 ・補助金交付件数3件を目指す。		—	—
		実績	・補助金交付件数 1件		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・前年度と同様、1件に留まっていることから、企業側の本制度へのニーズについて改めて検討する。		担当課評価	B
	令和2年度	実施計画	・令和2年4月1日から受付を開始する。 ・商工振興パンフレットや事業所訪問により、積極的に制度の活用を促す。 ・補助金交付件数1件を目指す。		—	—
		実績(令和2年度末見込み)	・補助金交付件数 1件		進捗	実施中(計画どおり)
	課題と今後の方向性 (計画期間における 全体総括)	大学等との連携については、企業にとっては新しい視点を取り入れる良い機会であり、また学生にとっても社会に出る経験を積む良い機会となり、事業としては好評であった。しかしながらここ最近では申請件数が低調であることから、補助金制度の見直し(廃止)を検討する。ただし産学のマッチング事業は継続して行っていく。		担当課 総括評価	B	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけでの	基本目標	1	香芝における安定した雇用を創出する			
	施策	2	市内企業の競争力の強化			
	推進する主な事業	7	中小企業特許等取得支援事業			
	総合戦略記載の事業内容	企業の特許及び実用新案の取得申請にかかる必要経費の一部を補助します。				
事業概要	事業名	香芝市中小企業特許等取得支援事業補助金			担当課 商工振興課	
	事業内容	市内企業の競争力強化を図るため、市内の中小企業者が、特許権・実用新案権を取得する際に必要な出願等の経費の50%を、最大20万円まで補助する。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	補助金申請 3件		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	継続して事業を実施する。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	平成29年4月1日より受付開始		—	—
		実績	3件の事業に対して補助金を交付。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	継続して事業を実施する。 補助金の周知を徹底する。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	・商工振興パンフレットや事業所訪問により、積極的に制度の活用を促す。 ・補助金交付件数3件を目指す。		—	—
		実績	・補助金交付件数 3件		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・特許や実用新案については、申請から取得までに数年費やすものもあるため、事業の成果については今後も継続して後追いをしていく。		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	・商工振興パンフレットや事業所訪問により、積極的に制度の活用を促す。 ・補助金交付件数3件を目指す。		—	—
		実績	・補助金交付件数 3件		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・特許や実用新案については、申請から取得までに数年費やすものもあるため、事業の成果については今後も継続して後追いをしていく。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	・令和2年4月1日から受付を開始する。 ・商工振興パンフレットや事業所訪問により、積極的に制度の活用を促す。 ・補助金交付件数3件を目指す。		—	—
		実績(令和2年度末見込み)	・補助金交付件数 3件		進捗	実施中(計画どおり)
課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)		・ここ数年は毎年予算上限までの申請があり、需要の高さがうかがえる。今後も継続的に実施し、市内事業所に積極的に活用してもらえようように、広く周知していきたい。			担当課総括評価	A

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 づけでの	基本目標	1	香芝における安定した雇用を創出する			
	施策	2	市内企業の競争力の強化			
	推進する主な事業	8	市内産業のアピール			
	総合戦略記載の 事業内容	市内企業の情報発信、企業間のマッチング、企業と市民のふれあいの場としての「かしば産業展」事業を継続的に開催するとともに、市商工会と連携した「プレミアム商品券」の発行についての支援を行います。				
事業概要	事業名	かしば産業展	担当課	商工振興課		
	事業内容	「かしば産業展」では、香芝市の産業、商工業、企業の情報を幅広く、市内外に発信するとともに企業間の交流、市民と市内企業とのふれあう場とするもので、平成29年3月5日(日)に香芝市ふたかみ文化センターにて開催。展示ブース・飲食ブースで各企業のPRを行う他、ワークショップや体験ブース、スタンプラリー、ステージでのイベントを開催し、市民の集客を図る。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	3月5日(日)に開催、参加人数約3,500人		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	継続して事業を実施する。 例年、開催するにあたって違いのあるイベント作りの検討。 企業にとって魅力のある内容にするための仕組み作りの検討。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	3月4日開催予定。 実行委員会形式で実施する。市の負担金は300万円。 開催内容については、検討中。		—	—
		実績	3月4日開催。 59件のブースを設置し、約2,800人の来場者があった。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	継続して事業を実施する。 市内産業の活性化のために魅力のあるイベントとなるように検討が必要。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	・3月3日(日)に開催予定。 ・実行委員会の委員改選を実施する。		—	—
		実績	・3月3日(日)に開催。 ・職業体験ブース26件、飲食ブース6件、はたらく車ブース6件を設置し、約1,800人の来場者があった。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・本年度は従来と趣向を変えて、小中学生の職業体験を通じて香芝の仕事・産業のPRを行う。市内の多くの事業所が参加することで、本市の産業が活性化するようなイベントを今後も検討する。		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	・3月1日(日)に開催予定。 ・職業体験ブース30件、かしば市場ブース20件と開催規模を拡大し、前年比700人増の2,500人の来場者数を目標とする。		—	—
		実績	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・本年度も新たな企画実施や出展ブースの拡充を図って前年度以上の来場者を目標し、小中学生の職業体験を通じて香芝の仕事・産業のPRを推進していく。市内の多くの事業所が参加することで、本市の産業が活性化するようなイベントを今後も引き続き検討する。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、実施の可否について要協議。 実施の場合、感染症対策を徹底し、3密を避けた開催方法を検討する。		—	—
		実績(令和2年度末見込み)	・3月6日(土)、7日(日)にオンライン方式で開催。 ・出展企業9社、約10,000人の視聴参加者を見込む。		進捗	実施中(計画どおり)
	課題と今後の方向性 (計画期間における全体総括)	・本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン方式での開催となる。今後は、アフターコロナを見据えて、本市の産業が活性化するようなイベントを引き続き検討する。		担当課総括評価	A	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ	基本目標	1	香芝における安定した雇用を創出する			
	施策	3	市内での新たな企業の立地促進			
	推進する主な事業	9	市外からの企業誘致の推進			
	総合戦略記載の事業内容	市外から市内に新たに立地する企業に対して、立地実現のための事前相談を行うとともに、立地推進のために固定資産投資額の一定割合、固定資産税相当額、市民の雇用に対しての補助金を交付します。				
事業概要	事業名	香芝市企業立地推進補助金		担当課	商工振興課	
	事業内容	市内への企業立地を推進することで、産業の振興・雇用機会の拡大を図り、地域経済の好循環および市民生活の向上に資することを目的とし、市内への新たな立地に対し、最大5,000万円を補助する。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	事業計画書の申請件数 1件		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	引き続き市内への新たな企業の立地に対し、土地情報の提供や県との調整等の支援を行う。都市計画マスタープランにおいて企業誘致を進める地区をゾーニングし、企業誘致の体制を整える。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	都市計画マスタープランにおいて、企業誘致を進める地区をゾーニングし、企業誘致の体制を整える。(策定準備中) 随時新規立地の相談を受け、立地を支援する。		—	—
		実績	都市計画マスタープランにおいて、企業誘致を進める地区をゾーニングし、企業誘致の体制を整えた。新規立地の相談を受けた。(H29は2件)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	引き続き市内への新たな企業の立地に対し、土地情報の提供や県との調整等の支援を行い、立地情報の収集を行う。都市計画マスタープランにおいて企業誘致を進める地区をゾーニングし、企業誘致の体制を整える。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	新規立地の相談を随時受け付ける。		—	—
		実績	・事業計画書の申請件数 0件 ・新規の企業立地相談 2件		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・県の企業立地推進課と連携し、市内への新たな企業の立地意向等の情報収集を行っていく。		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	前年度に引き続き、本市での立地や移転を検討している市外企業に対して、土地情報の提供や県との連絡調整等の支援を行うことで、企業立地を促進する。		—	—
		実績	・事業計画書の申請件数 0件 ・新規の企業立地相談 1件		進捗	実施中(遅れている)
		課題と今後の方向性	・本年度も引き続き、県の企業立地推進課と緊密に連携し、市内への新たな企業の立地意向等の情報収集を行っていく。		担当課評価	B
	令和2年度	実施計画	前年度に引き続き、本市での立地や移転を検討している市外企業に対して、土地情報の提供や県との連絡調整等の支援を行うことで、企業立地を促進する。また産業用地の創出に向けて、県との協議・調整を図る。		—	—
		実績(令和2年度末見込み)	・事業計画書の申請件数 0件 ・新規の企業立地相談 2件		進捗	実施中(計画どおり)
	課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	毎年市外の企業からの移転や増設に係る用地情報の相談はあるものの、インフラの整備状況や土地の価格などから、ここ最近では立地に結びつくことはあまりない。また新型コロナの影響もあり、増設案件は今後減少することも予想される。引き続き県の企業立地推進課と緊密に連携し、市内への新たな企業の立地意向等の情報収集を行っていくとともに、産業用地の情報収集や創出について検討していく。		担当課総括評価	A	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ での	基本目標	1	香芝における安定した雇用を創出する			
	施策	3	市内での新たな企業の立地促進			
	推進する主な事業	10	市内企業の移設・増設・建替えの支援			
	総合戦略記載の 事業内容	市内で移設・増設・建替えを検討する企業に対して立地実現のための事前相談を行うとともに、立地推進のために固定資産投資額の一定割合、固定資産税相当額、市民の雇用に対しての補助金を交付します。				
事業概要	事業名	香芝市企業立地推進補助金		担当課	商工振興課	
	事業内容	市内への企業立地を推進することで、産業の振興・雇用機会の拡大を図り、地域経済の好循環および市民生活の向上に資することを目的とし、市内企業の増設・移設・建替に対し、最大5,000万円を補助する。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	事業計画書申請件数 1件 市内の企業から、増設・移設・建替についての相談を受けている。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	引き続き市内への新たな企業の立地に対し、土地情報の提供や県との調整等の支援を行う。 都市計画マスタープランにおいて企業誘致を進める地区をゾーニングし、企業誘致の体制を整える。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	1件の増設案件あり、事業計画書の提出支援。 随時移転・増設の相談を受け、立地を支援する。		—	—
		実績	2件の増設案件あり、事業計画書の提出支援。 随時移転・増設の相談を受け、立地を支援した。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	引き続き市内での増設等に対し、土地情報の提供や県との調整等の支援を行い、立地情報の収集を行う。 都市計画マスタープランにおいて企業誘致を進める地区をゾーニングし、企業誘致の体制を整える。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	随時、移転・増設の相談を受け、企業立地の実現に向け支援する。		—	—
		実績	・事業計画書の申請件数 2件 ・新規の企業立地相談 2件		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	引き続き市内での増設等に対し、土地情報の提供や県との調整等の支援を行い、立地情報の収集を行う。		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	・2件の増設案件あり、事業計画書の提出支援。 ・随時移転・増設の相談を受け、立地を支援する。		—	—
		実績	・事業計画書の申請件数 1件 ・新規の企業立地相談 3件		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	引き続き市内での増設等に対し、土地情報の提供や県との調整等の支援を行い、立地情報の収集を行う。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	3件の増設案件あり、事業計画書の提出について支援する。 随時、新規立地・移転・増設の相談を受け、適切に支援する。		—	—
実績(令和2年度末見込み)		・事業計画書の申請件数 1件 ・新規の企業立地相談 0件		進捗	実施中(計画どおり)	
	課題と今後の方向性 (計画期間における 全体総括)	市内企業からの移転や増設の相談は非常に多いが、市内での適地(産業用地)を紹介できずに計画が進まないケースは多い。市内での立地を希望するものの、市外に企業が流出するケースもある。市外からの企業誘致だけでなく、市内企業が市外に流出しないよう、市内での立地を支援する必要がある。			担当課総括評価	A

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけでの 略けでの	基本目標	1	香芝における安定した雇用を創出する				
	施策	3	市内での新たな企業の立地促進				
	推進する主な事業	11	事業用地登録制度の実施				
	総合戦略記載の 事業内容	市は、工場・倉庫・事務所・店舗等の用に供するため売却または賃貸を予定している市内の土地または建物に係る情報を登録し、市内に立地を希望する者に当該情報を提供します。					
事業概要	事業名	香芝市事業用地登録制度			担当課	商工振興課	
	事業内容	市内の空き工場や空き店舗、遊休地などの情報を所有者から市に登録していただくことで、市内の未利用地を有効活用するとともに、その登録された情報を市内での工場等の立地、創業などを検討されている方に情報提供することで、事業活動を支援する。					
進捗管理項目	取組状況						
	平成28年度	実績	登録件数 6件			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	制度の周知を徹底し、新たな事業用地を広く募集することで、登録物件数を拡充する。			担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	平成29年4月1日より新年度の募集開始 随時事業用地の登録受付をするとともに、立地を検討する事業者へ紹介を行う。			—	—
		実績	平成29年度の新規登録はなし。 登録件数 6件 紹介件数 2件			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	制度の周知を徹底し、新たな事業用地を広く募集することで、登録物件数を拡充する。			担当課評価	B
	平成30年度	実施計画	現状の登録用地の更新。 新規登録に向けて、制度の周知を図る。 随時、登録用地の紹介・立地相談を行う。			—	—
		実績	・平成30年度の新規登録はなし ・登録件数 2件			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・本市への移転や市内移転等を目的に、年間数件の問い合わせはあるが、マッチングまでには至らない。 ・制度の見直しを図ることも検討する。			担当課評価	C
	令和元年度	実施計画	現状の登録用地の更新。 新規登録に向けて、制度の周知を図る。 随時、登録用地の紹介・立地相談を行う。			—	—
		実績	・令和元年度の新規登録はなし ・登録件数 2件			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・本市への移転や市内移転等を目的に、年間数件の問い合わせはあるが、マッチングまでには至らない。 ・制度の見直しを図ることも検討する。			担当課評価	C
	令和2年度	実施計画	現状の登録用地の更新。 新規登録に向けて、制度の周知を図る。 随時、登録用地の紹介・立地相談を行う。			—	—
		実績(令和2年度末見込み)	・令和2年度の新規登録はなし ・登録件数 0件			進捗	実施中(遅れている)
		課題と今後の方向性 (計画期間における 全体総括)	本制度をきっかけに企業立地までに至ったケースはあるものの、ここ数年は新規登録物件も0件で推移しており、登録物件も減少している。さらなる周知を図り新規登録物件を増加させる取り組みが必要になるが、ここ数年は登録物件の低調さもあり、制度の見直しも必要。			担当課 総括評価	C

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ の 概要	基本目標	1	香芝における安定した雇用を創出する				
	施策	4	女性活躍の推進				
	推進する主な事業	12	男女共同参画の推進				
	総合戦略記載の 事業内容	本市における男女共同参画社会の実現に向けて、市民・企業への啓発活動などに取り組むとともに、企業に対して「女性活躍推進法」に基づく「事業主行動計画」の策定を促進します。					
事業概要	事業名	男女共同参画啓発事業			担当課	市民協働課	
	事業内容	市民に「男女共同参画」に対する意識を浸透させていくため、男女共同参画社会の実現に向け、各種啓発活動を行う。					
進捗管理項目	取組状況						
	平成28年度	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>記念講演会(6月開催、参加者58人)</li> <li>男性いきいきセミナー(1月開催、大人5人、子ども5人)</li> <li>記念講座(1月開催、参加者193人)</li> <li>啓発物品の配布(2か所)、チラシの配布(61か所)</li> <li>特設コーナーの設置(来場者1,652人、貸出冊数76冊)</li> </ul>			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	今回初めて実施した事業(特設コーナー設置)も含め、今後も継続し実施する。			担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>記念講演会(6月開催)</li> <li>男性いきいきセミナー(年2回開催)</li> <li>啓発物品の配布(1か所)</li> <li>市民図書館特設コーナーの設置(関連本の展示)</li> </ul>			—	—
		実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>記念講演会(6月開催、参加者68名)</li> <li>男性いきいきセミナー(年2回開催 3月)</li> <li>啓発物品の配布(1か所 6月・2月)</li> <li>市民図書館特設コーナーの設置(関連本の展示 6月・2月)</li> </ul>			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	啓発事業を継続して実施する予定。			担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>記念講演会(6月開催)</li> <li>男性いきいきセミナー(年2回開催)</li> <li>啓発週間におけるパネル展の開催(啓発物品の配布、関連図書コーナーの設置も同時実施)</li> </ul>			—	—
		実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>記念講演会(6月開催、参加者71名)</li> <li>男性いきいきセミナー(8月・12月開催、参加者61名)</li> <li>啓発パネル展の開催(啓発物品の配布、関連図書コーナーの設置も同時実施/6・2月開催)</li> <li>香芝ふれあいフェスタにて人権・男女共同参画啓発ブースを出展(パネル展示・啓発物品の配布)</li> </ul>			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	依然として固定的な性別役割分担意識は根強く存在しているため、引き続き啓発事業を実施する。より多くの市民に関心を持ってもらうため、幅広く広報活動を行う。			担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>記念講演会(6月開催)</li> <li>男性いきいきセミナー(2回開催予定)</li> <li>啓発パネル展の開催(啓発物品の配布、関連図書コーナーの設置も同時実施)</li> <li>男女共同参画に関する行事等(関係機関主催も含む)の広報活動(市ホームページ・SNS・チラシ等の活用)</li> </ul>			—	—
		実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>記念講演会(6月開催、参加者60名)</li> <li>男性いきいきセミナー(5月・11月開催、参加者29組・61名)</li> <li>啓発週間におけるパネル展の開催(啓発物品の配布、関連図書コーナーの設置も同時実施)</li> <li>香芝ふれあいフェスタにて人権・男女共同参画啓発ブースを出展(パネル展示・啓発物品の配布)</li> </ul>			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>父親の家庭参加を目的とした親子参加イベントは好評を得ているので、興味関心のひくテーマでの開催を引き続き企画する。</li> <li>「男女共同参画」という用語の認知度向上、性別役割分担意識に反対する市民の割合の増加に向け、継続して啓発活動を実施する。</li> </ul>			担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画週間の周知広報(啓発物品の配布、関連図書コーナーの設置)</li> <li>男女共同参画に関する講演会の実施(9月開催)</li> <li>男性いきいきセミナー(2回開催予定)</li> <li>男女共同参画に関する行事等(関係機関主催も含む)の広報活動(市ホームページ・SNS・チラシ等の活用)</li> </ul>			—	—
		実績(令和2年度末見込み)	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画週間における啓発物品の配布</li> <li>男女共同参画に関する講演会(9月開催・37名参加)</li> <li>男性いきいきセミナー(9月開催・6組参加、11月開催・10組参加)</li> <li>男女共同参画に関する広報活動(市ホームページ・広報紙)</li> </ul>			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性 (計画期間における 全体総括)	性別による固定的な役割分担意識が依然として残っていることから、引き続き男女共同参画に関する啓発活動や学習機会の提供を通じて、市民の男女共同参画意識のさらなる醸成・高揚を図ります。			担当課 総括評価	A

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略づけでの	基本目標	1	香芝における安定した雇用を創出する				
	施策	4	女性活躍の推進				
	推進する主な事業	12	男女共同参画の推進				
	総合戦略記載の事業内容	本市における男女共同参画社会の実現に向けて、市民・企業への啓発活動などに取り組むとともに、企業に対して「女性活躍推進法」に基づく「事業主行動計画」の策定を促進します。					
事業概要	事業名	第2次香芝市男女共同参画プランの策定			担当課	市民協働課	
	事業内容	香芝市における「男女共同参画社会」の実現に向け、その指針となる「第2次香芝市男女共同参画プラン」の策定を「女性活躍推進法」の推進計画と一体のものとして進める。					
進捗管理項目	取組状況						
	平成28年度	実績	・男女共同参画社会づくりに向け、下記調査実施 市民意識調査(母数2,000人に対し有効回答数965)、事業所実態調査(母数200事業所に対し有効回答数77) ・男女共同参画推進委員会を4回開催 ・平成29年3月プラン策定			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	今後は、プランに基づき、男女共同参画社会づくりに向け、事業に取り組んでいく。			担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	第2次男女共同参画プランを広く周知するため、プランを活用した講演会等および啓発に努める。			—	—
		実績	第2次男女共同参画プランを広く周知するため、プランを活用した講演会等の開催および啓発に努めた。市広報6月号に掲載をし、啓発を行った。			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	プラン実現に向け進捗管理を行う			担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	第2次男女共同参画プランを広く周知するため、プランを活用した講演会等および啓発に努める。			—	—
		実績	第2次男女共同参画プランを広く周知するため、プランを活用した講演会等の開催および啓発に努めるとともに、プランに基づく事業の進捗管理の実施について検討した。			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	プラン実現に向け、施策担当課評価・推進委員会評価を取り入れた、より実効性のある進捗管理を検討する。			担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	・第2次男女共同参画プランに基づいた内容の講演会等の開催及び啓発活動に努める ・第2次男女共同参画プランの推進に関して、推進委員会とともに施策の進捗管理(施策担当課評価・委員会評価)を行い、より効果的かつ全庁的な施策推進に努める。			—	—
		実績	・第2次男女共同参画プランを広く周知するため、プランを活用した講演会等の開催および啓発に努めた。 ・委員会とともにプランの進捗管理について新たな手法を検討し、プラン進捗評価を行った。また、結果を全庁に対しフィードバックし、より効果的な施策推進に努めるよう促した。			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	第2次プランは令和3年度で計画期間が満了するため、次期プラン策定に向けて検討を進める。			担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	・男女共同参画推進委員会と共に、第3次プラン策定に向けた、市民意識調査、事業所実態調査の調査票案の作成及びプラン骨子素案の作成			—	—
		実績(令和2年度未見込み)	男女共同参画委員会にて、第3次プラン策定に向けた市民意識調査、事業所実態調査の調査票案の作成及びプラン骨子素案の作成を行った。			進捗	実施中(計画どおり)
課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	性別による固定的な役割分担意識が依然として残っており、香芝市の現状と課題を分析し、国・県の動向を踏まえながら、男女共同参画に関する施策を体系的、総合的に推進していくために、第3次プランの策定を進めていく。			担当課総括評価	A		

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ の 概要	基本目標	1	香芝における安定した雇用を創出する				
	施策	4	女性活躍の推進				
	推進する主な事業	13	女性の就職支援				
	総合戦略記載の 事業内容	ハローワーク等と連携して、出産・子育てなどで離職をされた女性の再就職を支援するためのセミナーを開催します。					
事業概要	事業名	女性の就職支援事業			担当課 市民協働課		
	事業内容	子育てをしながら仕事を探している女性、または子育てのために退職して再就職を目指している女性のために、就職に必要な知識や求職活動の進め方、市内保育所の概要等を学ぶセミナーや相談を実施する。					
進捗管理項目	取組状況						
	平成28年度	実績	・マザーズセミナー(参加者 8月5名、1月2名) ・奈良県子育て女性就職相談窓口(毎月第2火曜日9時から12時まで)		進捗	実施中(計画どおり)	
		課題と今後の方向性	セミナーは参加人数がやや少なかったため、参加しやすい日程等を検討していく。相談窓口は、より多くの市民に対して周知を図り、今後も継続して実施する。		担当課評価	A	
	平成29年度	実施計画	・マザーズセミナー(年2回開催) *マザーズセミナーは子育て女性を対象としているため、比較的時間に余裕のあると思われる平日に開催を予定。 ・奈良県子育て女性就職相談窓口(相談日:4月11日、5月9日、6月13日、7月11日、8月8日、9月12日、以降も毎月開催予定)		—	—	
		実績	・マザーズセミナー(年2回開催) *マザーズセミナーは子育て女性を対象としているため、比較的時間に余裕のあると思われる平日の開催に変更 11月29日開催、12名 3月1日開催。 ・奈良県子育て女性就職相談窓口(毎月第2火曜日9時から12時まで)		進捗	実施中(計画どおり)	
		課題と今後の方向性	休日の開催から平日の開催に変更し、受講人数が増加した。ハローワークと協議し、参加者の受講しやすい日時で、開催の検討をしていく予定。		担当課評価	A	
	平成30年度	実施計画	・マザーズセミナー(年2回以上開催) ・奈良県子育て女性就職相談窓口(相談日:毎月開催予定)		—	—	
		実績	・マザーズセミナー計3回開催(7・10・12月/参加者計37名) ・奈良県子育て女性就職相談窓口(毎月第2火曜日9時から12時まで)		進捗	実施中(計画どおり)	
		課題と今後の方向性	・昨年度に比べてセミナー開催回数を増やしたが、12月実施分については参加者が極めて少なかった。 ・ハローワーク等と連携しながら、就職情報の需要が高まる時期、参加者が受講しやすい日時を見極め、開催時期等を検討する。		担当課評価	A	
	令和元年度	実施計画	・マザーズセミナーをハローワーク等と連携し、就職情報の需要が高まる時期を考慮しながら実施する。(7・10・2月の計3回実施予定) ・奈良県子育て女性就職相談窓口(毎月第2火曜日9時から12時まで)		—	—	
		実績	・マザーズセミナー計3回開催(7・10・2月/参加者未定) ・奈良県子育て女性就職相談窓口(毎月第2火曜日9時から12時まで)		進捗	実施中(計画どおり)	
		課題と今後の方向性	・実施計画のとおりマザーズセミナーを3回実施する予定であるが、10月実施分については参加者が極めて少なかった。 ・ハローワーク等と連携しながら、就職情報の需要が高まる時期、参加者が受講しやすい日時を見極め、開催時期等を検討する。		担当課評価	A	
	令和2年度	実施計画	・ハローワーク等と連携し、マザーズセミナーを実施する。 ・奈良県子育て女性就職相談窓口(毎月第2火曜日9時から12時まで) ※新型コロナウイルス感染症防止のため、4~6月は電話相談に切り替え		—	—	
		実績(令和2年度未見込み)	・マザーズセミナー開催(2月) ・奈良県子育て女性就職相談窓口(毎月第2火曜日9時から12時まで)		進捗	実施中(計画どおり)	
		課題と今後の方向性 (計画期間における全体総括)	奈良県の女性就業率は全国と比べてまだまだ低く、今後も誰もが性別にとらわれず、自らの意思によって個性と能力を発揮できるよう、ライフステージに応じたライフ・ワーク・バランスの推進に取り組んでいく。			担当課総括評価	A

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけでの	基本目標	2	香芝への新しいひとの流れをつくる				
	施策	5	広報の充実による市内外へのPR活動				
	推進する主な事業	14	広報紙発行事業				
	総合戦略記載の事業内容	各種行政情報や催し物のお知らせといった、市からの情報発信だけでなくとどまらず、わがまち香芝に愛着を感じてもらえるような充実した情報の発信を行います。					
事業概要	事業名	広報紙発行事業			担当課	秘書広報課	
	事業内容	「広報かしばお知らせ版」「広報かしば」の発行					
進捗管理項目	取組状況						
	平成28年度	実績	・広報かしばお知らせ版:11回発行 ・広報かしば:12回発行 (4月～3月:28,750部～28,970部 発行)			進捗	完了
		課題と今後の方向性	今後も香芝市の魅力や市の取り組みを分かりやすく伝え、発信する紙面づくりに今後も努めます。			担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	広報かしばお知らせ版:年間11回、広報かしばを年間12回発行し、市の魅力や取り組みを分かりやすく伝える紙面づくりに努める。			—	—
		実績	・広報かしばお知らせ版:11回発行 ・広報かしば:12回発行 (4月～3月:29,000部～29,150部 発行)			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	今後も市の魅力や取り組みを分かりやすく伝え、読みやすい紙面づくりに努める。また、紙面のリニューアルについても検討する。			担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	広報かしばお知らせ版:年間11回、広報かしばを年間12回発行し、市の魅力や取り組みをさらに分かりやすく伝える紙面づくりに努める。			—	—
		実績	・広報かしばお知らせ版:11回発行 ・広報かしば:12回発行 (4月～3月:29,200部～29,350部 発行)			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	平成31年度に実施予定の紙面のリニューアルについて引き続き進め、手にとってもらえる、読んでもらえる紙面づくりに努めていく。			担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	広報かしばお知らせ版を年間11回、広報かしばを年間12回発行する。市の魅力や取り組みをさらに分かりやすく伝えられるよう広報紙リニューアルを行い、市民のかたにとって見やすく手に取ってもらいやすい紙面づくりに努める。			—	—
		実績	・広報かしばお知らせ版:11回発行 ・広報かしば:12回発行 (4月～3月:29,350部～29,470部 発行)			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	令和元年5月より老若男女問わず幅広い年代に手にとってもらえるように、表紙・もくじページを一新し、文字のポイント数の変更を行い、見やすく読みやすい紙面作りに取り組んだ。お知らせ版についてもリニューアルを進め、手にとってもらえ、読んでもらえる紙面づくりに努めていく。			担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	広報かしばお知らせ版を年間11回、広報かしばを年間12回発行する。市の魅力や取り組みをさらに分かりやすく伝えられるよう引き続き広報紙のリニューアルを進め、市民のかたにとって見やすく手に取ってもらいやすい紙面づくりに努める。			—	—
		実績(令和2年度末見込み)	・広報かしばお知らせ版:11回発行(1月末時点で9回発行済) ・広報かしば:12回発行(1月末時点で10回発行済) (4月～1月:29,420部～29,540部 発行)			進捗	実施中(計画どおり)
	課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	・広報かしばについて、老若男女問わず幅広い年代に手にとってもらえるようにレイアウト、文字の大きさの変更を行うことができた。引き続き、市民にとってわかりやすい紙面となるように、他自治体の広報紙事例を参考にしながら、広報かしばお知らせ版において、文字の大きさ・レイアウトなどを検討していく。			担当課総括評価	A	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ の	基本目標	2	香芝への新しいひとの流れをつくる				
	施策	5	広報の充実による市内外へのPR活動				
	推進する主な事業	15	行政情報の発信(HP、SNSなど)				
	総合戦略記載の 事業内容	HPやSNS等を利用し、必要な情報が的確に届くよう、分かりやすく積極的かつ迅速な情報提供を行います。					
事業概要	事業名	行政情報の発信			担当課	秘書広報課	
	事業内容	近年、利用者が急増しており、特に若者の間で広く利用され、現在多くの機関で導入が進んでいる。SNSを本市の情報発信に活用し、本市の施策の情報を効果的に広報する。					
進捗管理項目	取組状況						
	平成28年度	実績	適切なSNSの選択、運営体制、運用方針等について内部での検討を重ね1月より運用を開始した。			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	紙媒体とは違った周知方法(即時性や視覚効果)と市外市内を問わず、より多くの人々に効果的に情報を発信できるツールとしての研究を重ねたい。			担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	市の魅力や市の取り組みを広くお知らせするため、フォロワー数を増やす。そのために、情報配信回数を年間100件以上に増やし、SNSを積極的に活用する。			—	—
		実績	フェイスブックにおける情報配信回数が144件(前年比93件増)、フォロワー数が143人(前年比76人増)であった。			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	フェイスブックを活用し、より市の魅力が伝わる情報を配信するように努める。			担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	市の魅力や市の取り組みをさらに広くお知らせするため、各課からの情報収集を行い、発信することでフォロワー数を増やす。情報配信回数を年間160件以上に増やし、SNSを積極的に活用する。			—	—
		実績	フェイスブックにおける情報配信回数は142件(12月末時点107件で、昨年の同時期より10件減)、またフェイスブックのフォロワー数が213人(12月末時点207件)。			進捗	実施中(遅れている)
		課題と今後の方向性	現在、投稿内容の約8割がイベントや講座の事前告知であるため、市の事業・サービスなどのお知らせにもSNSを活用してもらうよう各課に通知するなど、積極的な活用を促進する。			担当課評価	B
	令和元年度	実施計画	市の魅力や市の取り組みをさらに広くお知らせするため、各課からの情報収集を行い、発信することでフォロワー数を増やす。情報配信回数を年間160件以上に増やし、SNSを積極的に活用する。			—	—
		実績	フェイスブックにおける情報配信回数は175件、またフェイスブックのフォロワー数が284人。			進捗	実施中(遅れている)
		課題と今後の方向性	イベントや講座の事前告知をはじめ、市の事業・サービスなどの情報発信を行うことで情報配信回数は計画通りであるが、フォロワー数が伸びていない。他自治体の投稿を参考にしながら、市の魅力が伝わるような情報発信に努める。			担当課評価	B
	令和2年度	実施計画	市の魅力や市の取り組みについてより多くのかたにお知らせするため、各課から情報収集を行ったうえで、年間の投稿数160件以上を目指す。また、フェイスブックのフォロワー数370人以上の獲得を目指す。			—	—
実績(令和2年度末見込み)		・フェイスブックにおける情報配信回数は140件見込み(1月末時点113件)、フェイスブックのフォロワー数は、424人(1月末時点414人)。 ・LINE(令和2年12月14日開始)における情報発信は、10件(1月末時点6件)、友だち1518人(1月末時点1358人)。			進捗	実施中(遅れている)	
	課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	情報発信について、イベントや講座の事前告知をはじめ市の事業・サービスなどを中心に行ってきたが、今般の感染症状況による行事の中止・延期に伴い、発信が少なくなる年度もあった。今まで発信してきた内容のほか、市内の魅力を改めて紹介するとともに、時代や社会情勢に即した情報発信も合わせて行っていく必要がある。			担当課総括評価	B	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 つぎへの	基本目標	2	香芝への新しいひとの流れをつくる				
	施策	6	雇用環境の充実				
	推進する主な事業	16	市内企業合同説明会				
	総合戦略記載の 事業内容	新たに人材を求める市内企業を一堂に集め、求職者に対しての説明会を開催します。					
事業概要	事業名	香芝市・広陵町共催合同企業説明会			担当課	商工振興課	
	事業内容	求人予定のある香芝市内及び広陵町内に事業所を有する企業が、各ブースにて企業紹介や採用条件の説明を行う。					
進捗管理項目	取組状況						
	平成28年度	実績	日時:8月17日(土)午後1時30分～午後4時30分 場所:ふたかみ文化センター 市民ホール 参加企業数:18社 参加人数:16名			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	開催方法の見直し。 (面接会、講習の実施など)			担当課評価	B
	平成29年度	実施計画	ハローワークとの共催や、近隣大学における市内企業の説明会の実施。事業内容については、時勢の変化等も考慮し検討する。			—	—
		実績	過去2年間の実施実績から、合同企業説明会の開催は保留とした。現状においては、ハローワークと連携し、市のHPやSNS等で求人求職の情報発信を行った。			進捗	未実施
		課題と今後の方向性	合同企業説明会の開催については、費用対効果を含め、自治体の実施する必要性を再考する。			担当課評価	C
	平成30年度	実施計画	・本年度は合同企業説明会は実施しない方針とする。 ・ハローワークと連携し、就業支援策を検討する。 ・市内求人求職の情報発信を実施する。			—	—
		実績	・前年度に引き続いて、合同企業説明会の開催は保留とした。 ・現状においては、ハローワークと連携し、市のHPで求人求職の情報発信を行った。			進捗	未実施
		課題と今後の方向性	・合同企業説明会については、雇用情勢と費用対効果を考慮し、H31年度も引き続き実施しない。 ・市内の就労状況について、ハローワークと情報共有を行うとともに、HPで市内へ求職情報を発信する。			担当課評価	C
	令和元年度	実施計画	・前年度に引き続いて、合同企業説明会は実施しない方針とする。 ・ハローワークと連携し、就業支援策を検討する。 ・市内求人求職の情報発信を実施する。			—	—
		実績	・前年度に引き続いて、合同企業説明会の開催は保留とした。 ・現状においては、ハローワークと連携し、市のHPで求人求職の情報発信を行った。			進捗	未実施
		課題と今後の方向性	・合同企業説明会については、雇用情勢と費用対効果を考慮し、令和2年度も引き続き実施しない。 ・市内の就労状況について、ハローワークと情報共有を行うとともに、HPで市内へ求職情報を発信する。			担当課評価	C
	令和2年度	実施計画	・前年度に引き続いて、合同企業説明会は実施しない方針とする。 ・ハローワークと連携し、就業支援策を検討する。 ・市内求人求職の情報発信を実施する。			—	—
		実績(令和2年度未見込み)	・前年度に引き続いて、合同企業説明会の開催は保留とした。 ・現状においては、ハローワークと連携し、市のHPで求人求職の情報発信を行った。			進捗	未実施
	課題と今後の方向性 (計画期間における 全体総括)	・合同企業説明会については、市民と企業のマッチングを行えた実績はあるものの低調であり、過去数回実施した実績により、求人と求職のマッチングは市レベルでは非常に困難であることと、費用対効果を考慮し、今後は実施しない方向とする。ただし、引き続きハローワークと連携し、市のHPで求人情報の発信を行う。			担当課 総括評価	C	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 づけの	基本目標	2	香芝への新しいひとの流れをつくる			
	施策	6	雇用環境の充実			
	推進する主な事業	17	多様な働き方の推進			
	総合戦略記載の 事業内容	時間や場所にとられない働き方に企業が取り組むことができるよう、周知に取り組みます。				
事業概要	事業名	男女共同参画に関する推進・周知啓発			担当課	市民協働課
	事業内容	市内事業所に女性活躍推進法の基本方針である女性活躍促進や一般事業主行動計画の策定に向けて周知啓発を行う				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	市内事業所に、一般事業主行動計画や女性活躍推進に取り組む事業所対象の給付金を掲載したチラシを配布(61か所)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	H28年度上半期は、市民協働課において女性の働き方に関する事業として実施したが、今後、男女問わず時間や場所にとられない働き方について、さらなる検討が必要である。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	市内事業所に、働き方改革の推進等の啓発チラシを作成し配布する。		—	—
		実績	働き方改革の推進等については、より広く周知するため、HP等での啓発を行った。		進捗	実施中(遅れている)
		課題と今後の方向性	ホームページによる働き方改革の推進等の啓発を行う予定。		担当課評価	B
	平成30年度	実施計画	市HP等で働き方改革の推進に関して、啓発を実施する。		—	—
		実績	働き方改革、女性活躍促進等についてチラシ・市ホームページ等で周知啓発を図った。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	依然として市内事業所において、女性を活用するための取組等を行うのは難しいのが現状。関係機関からのチラシ・市ホームページ等を活用し、女性活躍推進、一般事業主行動計画策定のメリットを伝えることで、効果的な周知啓発を図っていく。		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	・市内事業所に対する働き方改革、女性活躍推進法の周知啓発及び「事業主行動計画」策定に関する情報提供(市ホームページ、チラシ等を利用)		—	—
		実績	働き方改革、女性活躍促進等について、関係機関を通じたチラシ配布・市ホームページ等で周知啓発を図った。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・依然として市内事業所が女性活躍のための取組等を行うのは難しいのが現状である。現場の感覚に添って啓発を行っていく。 ・関係機関からのチラシ・市ホームページ等を活用し、女性活躍推進、一般事業主行動計画策定のメリットを伝えることで、効果的な周知啓発を図る。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	・市内事業所に対する働き方改革、女性活躍推進法の周知啓発及び「事業主行動計画」策定に関する情報提供(市ホームページ、チラシ等を活用)		—	—
		実績(令和2年度末見込み)	働き方改革、女性活躍促進等について、関係機関を通じたチラシ配布・市ホームページ等で周知啓発を図った。		進捗	実施中(計画どおり)
	課題と今後の方向性 (計画期間における 全体総括)	・依然として市内事業所が女性活躍のための取組等を行うのは難しいのが現状である。現場の感覚に添って啓発を行っていく。 ・関係機関からのチラシ・市ホームページ等を活用し、女性活躍推進、一般事業主行動計画策定のメリットを伝えることで、効果的な周知啓発を図る。		担当課 総括評価	A	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 づけでの	基本目標	2	香芝への新しいひとの流れをつくる			
	施策	6	雇用環境の充実			
	推進する主な事業	18	女性の就職支援			
	総合戦略記載の 事業内容	ハローワーク等と連携して、出産・子育てなどで離職をされた女性の再就職を支援するためのセミナーを開催します。				
事業概要	事業名	女性の就職支援事業		担当課	市民協働課	
	事業内容	子育てをしながら仕事を探している女性、または子育てのために退職して再就職を目指している女性のために、就職に必要な知識や求職活動の進め方、市内保育所の概要等を学ぶセミナーや相談を実施する。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	・マザーズセミナー(参加者 8月5名、1月2名) ・奈良県子育て女性就職相談窓口(毎月第2火曜日9時から12時まで)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	セミナーは参加人数がやや少なかったため、参加しやすい日程等を検討していく。相談窓口は、より多くの市民に対して周知を図り、今後も継続して実施する。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	・マザーズセミナー(年2回開催) *マザーズセミナーは子育て女性を対象としているため、比較的時間に余裕のあると思われる平日に開催を予定。 ・奈良県子育て女性就職相談窓口(相談日:4月11日、5月9日、6月13日、7月11日、8月8日、9月12日、以降も毎月開催予定)		—	—
		実績	・マザーズセミナー(年2回開催) *マザーズセミナーは子育て女性を対象としているため、比較的時間に余裕のあると思われる平日の開催に変更 11月29日開催、12名 3月1日開催。 ・奈良県子育て女性就職相談窓口(毎月第2火曜日9時から12時まで)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	休日の開催から平日の開催に変更し、受講人数が増加した。ハローワークと協議し、参加者の受講しやすい日時で、開催の検討をしていく予定。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	・マザーズセミナー(年2回以上開催) ・奈良県子育て女性就職相談窓口(相談日:毎月開催予定)		—	—
		実績	・マザーズセミナー計3回開催(7・10・12月/参加者計37名) ・奈良県子育て女性就職相談窓口(毎月第2火曜日9時から12時まで)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・昨年度に比べてセミナー開催回数を増やしたが、12月実施分については参加者が極めて少なかった。 ・ハローワーク等と連携しながら、就職情報の需要が高まる時期、参加者が受講しやすい日時を見極め、開催時期等を検討する。		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	・マザーズセミナーをハローワーク等と連携し、就職情報の需要が高まる時期を考慮しながら実施する。(7・10・2月の計3回実施予定) ・奈良県子育て女性就職相談窓口(毎月第2火曜日9時から12時まで)		—	—
		実績	・マザーズセミナー計3回開催(7・10・2月/参加者未定) ・奈良県子育て女性就職相談窓口(毎月第2火曜日9時から12時まで)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・実施計画のとおりマザーズセミナーを3回実施する予定であるが、10月実施分については参加者が極めて少なかった。 ・ハローワーク等と連携しながら、就職情報の需要が高まる時期、参加者が受講しやすい日時を見極め、開催時期等を検討する。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	・ハローワーク等と連携し、マザーズセミナーを実施する。 ・奈良県子育て女性就職相談窓口(毎月第2火曜日9時から12時まで) ※新型コロナウイルス感染症防止のため、4～6月は電話相談に切り替え		—	—
		実績(令和2年度未見込み)	・マザーズセミナー開催(2月) ・奈良県子育て女性就職相談窓口(毎月第2火曜日9時から12時まで)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性 (計画期間における全体総括)	奈良県の女性就業率は全国と比べてまだまだ低く、今後も誰もが性別にとらわれず、自らの意思によって個性と能力を發揮できるよう、ライフステージに応じたライフ・ワーク・バランスの推進に取り組んでいく。			担当課総括評価

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ の 概要	基本目標	2	香芝への新しいひとの流れをつくる			
	施策	6	雇用環境の充実			
	推進する主な事業	19	ワークライフバランス・男女共同参画についての市民・企業への周知啓発			
	総合戦略記載の 事業内容	女性が活躍する社会づくりに向けて、男女共同参画の推進や女性活躍推進法に基づく事業主行動計画の策定に向けての周知啓発を行います。				
事業 概要	事業名	男女共同参画に関する推進・周知啓発		担当課	市民協働課	
	事業内容	女性が活躍する社会づくりに向けて、市内事業所に女性活躍推進法の基本方針である女性活躍促進や一般事業主行動計画の策定に向けて周知啓発を行う。香芝市としても、男女共同参画社会の実現に必要な「ワーク・ライフ・バランス」をテーマにした職員研修会を実施。				
進捗 管理 項目	取組状況					
	平成 28 年度	実績	・市内事業所に、一般事業主行動計画や女性活躍推進に取り組む事業所対象の給付金等を掲載したチラシを配布(61か所) ・職員研修会開催(参加者60人)		進捗	実施中(計画ど おり)
		課題と 今後の方向性	一般事業主行動計画を策定した市内事業所が2社であるため、今後も啓発を継続して実施する。また、ワークライフバランス実現のための環境整備が不十分であるため、実現に向けての検討課題とする。		担当課 評価	A
	平成 29 年度	実施計画	市内事業所に、ワークライフバランスや男性従業員の育休取得等の啓発推進のチラシを作成配布する。		—	—
		実績	ワークライフバランスや男性従業員の育休取得等については、より広く周知するため、HP等での啓発を行った。		進捗	実施中(遅れて いる)
		課題と 今後の方向性	市HP等による働き方改革の推進等の啓発を行う予定。		担当課 評価	B
	平成 30 年度	実施計画	市HP等でワークライフバランスや男性従業員の育休取得等の啓発を実施する。		—	—
		実績	・働き方改革、女性活躍促進等についてチラシ・市ホームページ等で周知啓発を図った。 ・「ワークライフバランス」を取りあげた内容の職員研修会を実施。		進捗	実施中(計画ど おり)
		課題と 今後の方向性	依然として市内事業所において、女性を活用するための取組等を行うのは難しいのが現状。・関係機関からのチラシ・市ホームページ等を活用し、女性活躍推進、一般事業主行動計画策定のメリットを伝えることで、効果的な周知啓発を図っていく。		担当課 評価	A
	令和 元 年度	実施計画	・市内事業所に対する働き方改革、女性活躍推進法の周知啓発及び「事業主行動計画」策定に関する情報提供(市ホームページ、チラシ等を利用)		—	—
		実績	・働き方改革、女性活躍促進等についてチラシ・市ホームページ等で周知啓発を図った。 ・「ワークライフバランス」を取りあげた内容の職員研修会を実施予定。		進捗	実施中(計画ど おり)
		課題と 今後の方向性	依然として市内事業所が女性活躍のための取組等を行うのは難しいのが現状である。現場の感覚に添って啓発を行っていく。 ・関係機関からのチラシ・市ホームページ等を活用し、女性活躍推進、一般事業主行動計画策定のメリットを伝えることで、効果的な周知啓発を図る。		担当課 評価	A
	令和 2 年度	実施計画	・市内事業所に対する働き方改革、女性活躍推進法の周知啓発及び「事業主行動計画」策定に関する情報提供(市ホームページ、チラシ等を活用)		—	—
		実績(令和2年 度末見込み)	働き方改革、女性活躍促進等について、関係機関を通じたチラシ配布・市ホームページ等で周知啓発を図った。		進捗	実施中(計画ど おり)
	課題と今後の方向性 (計画期間における 全体総括)	依然として市内事業所が女性活躍のための取組等を行うのは難しいのが現状である。現場の感覚に添って啓発を行っていく。 ・関係機関からのチラシ・市ホームページ等を活用し、女性活躍推進、一般事業主行動計画策定のメリットを伝えることで、効果的な周知啓発を図る。		担当課 総括評価	A	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけでの	基本目標	2	香芝への新しいひとの流れをつくる			
	施策	7	地域ブランド力の向上			
	推進する主な事業	20	地域ブランド商品・製品の開発			
	総合戦略記載の事業内容	本市の歴史・文化・自然を活かした商品、特産物、土産物づくりについて市商工会と連携しながら取り組みます。また、産学連携事業、設備投資促進事業などの制度により、市内企業の「地域ブランド」づくりを推進するとともに、「かしば産業展」の場において情報発信に努めます。				
事業概要	事業名	香芝ブランド推進事業補助金		担当課	商工振興課	
	事業内容	香芝市の保有する地域資源の付加価値を高め、それをブランド化することで、香芝市への愛着を向上させるとともに、それを全国に発信する香芝市地域ブランド「KASHIBA+」を香芝市商工会にて立ちあげる。市ではこの事業の立ち上げを支援するとともに、ブランドづくりに係る費用を補助する。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	第1回募集による認定件数7件(7月認定) 第2回募集による認定件数4件(2月認定)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	認定数を増やすとともに、認定された商品を広く周知し、直接販売するために構築したオンラインショッピングサイトを活用していく。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	第3回募集 平成29年7月1日～平成29年9月30日 認定証授与式 平成29年11月5日 商工まつりにて		—	—
		実績	第3回募集 平成29年7月1日～平成30年2月7日 認定証授与式 平成30年3月4日 かしば産業展にて		進捗	実施中(遅れている)
		課題と今後の方向性	認定品を増やすため、さらなるPR、事業の周知が必要。 また認定された商品のショッピングサイト等での販売についても、販売数が増えるような、魅力ある販売方法、広報が必要。		担当課評価	B
	平成30年度	実施計画	・商工会と連携を強化し、商品開発等の支援を行う。 ・第4回募集 平成30年7月1日から12月31日まで (認定証授与式 平成31年3月3日 産業展)		—	—
		実績	・第4回募集 平成30年7月1日～12月31日 ・認定証授与式 平成31年3月3日 かしば産業展内にて ・認定件数 1件		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・認定品を増やすため、本事業の意義や事業者としてのメリットを訴えながら、さらなる周知が必要。 ・認定商品のショッピングサイト等での販売について、販売数が増えるような、魅力ある販売方法や広報が必要。		担当課評価	B
	令和元年度	実施計画	・第5回募集を令和元年7月1日から12月31日まで行う。 ・認定証授与式 令和2年3月1日かしば産業展内にて行う。 ・引き続きKASHIBA+の認定品につながる新商品開発のための支援を行う。 ・PR動画や冊子を用い、商品の魅力を伝え、販売を促す。		—	—
		実績	・第5回募集 令和元年7月1日～12月31日 ・認定件数 4件		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・認定品を増やすため、本事業の意義や事業者としてのメリットを訴えながら、さらなる周知が必要。 ・認定商品のショッピングサイト等での販売について、販売数が増えるような、魅力ある販売方法や広報が必要。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	・第6回募集を令和2年8月より行う。 ・引き続きKASHIBA+の認定品のPRを行い、商品の魅力を伝え、販売を促す。		—	—
		実績(令和2年度未見込み)	・第6回募集 令和2年7月1日～12月31日 ・認定件数 2件(予定)		進捗	実施中(計画どおり)
	課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	認定制度の実施から5年が経過し、認定品は着実に増加し、認知度も少しずつ向上しているものと考えているが、まだまだ市内での認知度は低い。また認定されたことのメリットが企業にとって不明瞭であり、オンラインショッピングでの販売も伸び悩んでいることから、費用対効果も考慮しながら制度の再構築を検討する。		担当課総括評価	B	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ での	基本目標	2	香芝への新しいひとの流れをつくる			
	施策	7	地域ブランド力の向上			
	推進する主な事業	21	観光振興事業			
	総合戦略記載の 事業内容	新たな観光資源として活用できる地域の魅力の発掘とともに観光情報の発信、観光関係のイベントの実施、広域的観点からの取り組みにより、本市への来訪者を増やします。				
事業概要	事業名	大学連携観光振興基本調査委託事業		担当課	商工振興課	
	事業内容	専門的・学術的視点を持つ公立大学法人奈良県立大学に、観光振興・地域活性化を図るための研究及び分析の基本調査を委託する。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	市内店舗調査、市内観光地現地調査、カッシーグッズ製作、観光マップ製作、観光意識調査、香芝ウォーク企画、情報発信のあり方の調査方法、土産物提案などに関する調査分析について、その結果の報告を受ける。		進捗	完了
		課題と今後の方向性	2カ年計画で実施した調査委託事業は、平成28年度に完了する。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	—		—	—
		実績	—		進捗	—
		課題と今後の方向性	—		担当課評価	—
	平成30年度	実施計画	—		—	—
		実績	—		進捗	—
		課題と今後の方向性	—		担当課評価	—
	令和元年度	実施計画	—		—	—
		実績	—		進捗	—
		課題と今後の方向性	—		担当課評価	—
	令和2年度	実施計画	—		—	—
		実績(令和2年度末見込み)	—		進捗	—
	課題と今後の方向性 (計画期間における 全体総括)	平成28年度に報告を受け、事業が完了していることから、今後は実施しない。今後も本報告を基に観光振興に取り組んでいくものとする。			担当課 総括評価	—

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけでの	基本目標	2	香芝への新しいひとの流れをつくる			
	施策	7	地域ブランド力の向上			
	推進する主な事業	21	観光振興事業			
	総合戦略記載の事業内容	新たな観光資源として活用できる地域の魅力の発掘とともに観光情報の発信、観光関係のイベントの実施、広域的観点からの取り組みにより、本市への来訪者を増やします。				
事業概要	事業名	2市2町広域観光ルート整備事業			担当課 商工振興課	
	事業内容	大阪府柏原市、三郷町、王寺町とともに広域で連携協議会を発足させて観光ルートを整備し、域外からの集客を図るとともに、相互の交流人口の増加による観光の振興を図る。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	平成28年12月 2市2町広域観光ルート整備推進協議会発足 平成29年3月 広域観光ルート整備の調査設計完了			進捗 実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	平成28年度から5か年で、「万葉ロマンの地を巡る観光ルート」としてルート整備を行うとともに、ウォークイベントやモニターツアーなど観光誘客を図るためのイベントを実施する。			担当課 評価 A
	平成29年度	実施計画	平成29年11月までにどんづるぼう周遊ルート設計委託 平成30年3月末までに万葉歌碑設置			— —
		実績	どんづる峯の遊歩道整備設計完了。 万葉歌碑の設置完了。 2市2町広域観光ルート(ウォークルート)の設定完了。			進捗 実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	地方創生推進交付金の実施計画に沿った、2市2町の事業の方向性の統一、実施。			担当課 評価 A
	平成30年度	実施計画	10月末までに、どんづる峯の遊歩道整備予定。 2市2町広域観光ルート整備推進協議会として、モデルツアーの実施、ウォークマップの作成、ホームページの拡充を図る。			— —
		実績	・どんづる峯の遊歩道整備 ・平成30年12月 ウォーキングイベント(188名参加)・マルシェ(1800名参加)開催 ・平成30年12月 2市2町の専用ホームページ開設 ・平成31年2月 ウォーキングMAP作成(15000部)			進捗 実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・地方創生推進交付金事業としてはR2年度(2020年度)までの実施計画であるが、それ以降の取り組みについて検討する。			担当課 評価 A
	令和元年度	実施計画	・観光資源としてのどんづる峯の持続的な有効活用を図るため、整備計画を策定する。 ・2市2町広域観光ルート整備推進協議会として、モデルツアーの実施、ウォークマップの作成、ホームページの拡充を図る。			— —
		実績	令和2年1月13日(月・祝)2市2町観光PR公開ラジオ収録イベント(柏原市 リビエールホール) 令和2年1月10日~3月31日スタンプラリー実施 令和2年3月20日(金・祝)2市2町周遊ウォークイベント&ラジオ公開生放送(各首長出演)			進捗 実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・地方創生推進交付金事業としてはR2年度(2020年度)までの実施計画であるが、それ以降の取り組みについて検討する。			担当課 評価 A
	令和2年度	実施計画	・観光資源としてのどんづる峯の持続的な有効活用を図るため、整備計画を策定する。 ・2市2町広域観光ルート整備推進協議会として、MAPの増刷/5,000部×4=20,000部や、ホームページの充実、ラジオで観光PR情報配信+小規模モニターツアーを実施し、さらなる情報発信を計画している。			— —
		実績(令和2年度末見込み)	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、イベントの実施や積極的な誘客のためのPRも困難であったことから、ホームページの拡充、パンフレットの更新増刷、youtubeを活用したPRを行った。			進捗 実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	令和2年度で地方創生推進交付金の交付が終了するため、次年度以降各市町での負担金の拠出が減額となり事業規模は縮小するものの、引き続きこの地域の魅力をPRするための事業や発信を行っていく。			担当課 総括評価 A

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ での	基本目標	2	香芝への新しいひとの流れをつくる				
	施策	7	地域ブランド力の向上				
	推進する主な事業	21	観光振興事業				
	総合戦略記載の 事業内容	新たな観光資源として活用できる地域の魅力の発掘とともに観光情報の発信、観光関係のイベントの実施、広域的観点からの取り組みにより、本市への来訪者を増やします。					
事業概要	事業名	葛城地域観光振興シネマプロジェクト事業			担当課	商工振興課	
	事業内容	葛城地域を舞台にした映画「天使のいる図書館」を製作し、その上映により地域の活性化と観光の振興を図る。					
進捗管理項目	取組状況						
	平成28年度	実績	10月 撮影開始、11月 撮影終了、 2月 完成披露試写会開催、全国上映開始			進捗	完了
		課題と今後の方向性	映画を地域での上映会などに活用する。また、ロケ地を巡るツアーなど、映画を活用した観光振興を図る。			担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	—			—	—
		実績	—			進捗	—
		課題と今後の方向性	—			担当課評価	—
	平成30年度	実施計画	—			—	—
		実績	—			進捗	—
		課題と今後の方向性	—			担当課評価	—
	令和元年度	実施計画	—			—	—
		実績	—			進捗	—
		課題と今後の方向性	—			担当課評価	—
	令和2年度	実施計画	—			—	—
		実績(令和2年度末見込み)	—			進捗	—
	課題と今後の方向性 (計画期間における 全体総括)	引き続き本事業により制作を行った「天使のいる図書館」を活用し、この地域のPRを行い、誘客を図っていく。				担当課 総括評価	—

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけでの	基本目標	2	香芝への新しいひとの流れをつくる				
	施策	7	地域ブランド力の向上				
	推進する主な事業	22	地域イベントの実施				
	総合戦略記載の事業内容	市民団体との連携協働により、市民が主体となり地域活性化につながるイベントを行います。					
事業概要	事業名	市民協働まちづくりイベントの実施			担当課	市民協働課	
	事業内容	各実行委員会と連携協働し、「香芝ふれあいフェスタ」及び「冬彩」を開催する。					
進捗管理項目	取組状況						
	平成28年度	実績	・香芝ふれあいフェスタ:11月6日(日)開催 (実行委員会5回開催) ・冬彩:12月17日(土)開催 (実行委員会4回開催)		進捗	実施中(計画どおり)	
		課題と今後の方向性	今後も委員会や関係業者と協力し、継続して事業を行う。		担当課評価	A	
	平成29年度	実施計画	・香芝ふれあいフェスタ:11月5日(日)開催 (実行委員会5回開催予定) ・冬彩:12月16日(土)開催 (実行委員会4回開催予定)		—	—	
		実績	・香芝ふれあいフェスタ:11月5日(日)開催 (実行委員会8回開催) ・冬彩:12月16日(土)開催 (実行委員会6回開催)		進捗	実施中(計画どおり)	
		課題と今後の方向性	委員会や関係業者と協力し、事業の効率化を目指す。 新規市民活動団体の出展の増加を目指す。		担当課評価	A	
	平成30年度	実施計画	・香芝ふれあいフェスタ:11月4日(日)開催 (実行委員会8回開催見込み) ・冬彩:12月15日(土)開催 (実行委員会6回開催見込み)		—	—	
		実績	・香芝ふれあいフェスタ:11月4日(日)開催 (実行委員会8回開催) ・冬彩:12月15日(土)開催 (実行委員会5回、役員会1回開催)		進捗	実施中(計画どおり)	
		課題と今後の方向性	・イベント活性化のため、新規市民活動団体の出展の増加を目指す。 ・実行委員会の自主的な活動を促す。		担当課評価	A	
	令和元年度	実施計画	・香芝ふれあいフェスタ:11月3日(日)開催 (実行委員会8回開催予定) ・冬彩:12月14日(土)開催 (実行委員会5回、役員会1回開催)		—	—	
		実績	・香芝ふれあいフェスタ:11月3日(日)開催 (実行委員会14回開催予定) ・冬彩:12月14日(土)開催 (実行委員会5回、役員会1回開催)		進捗	実施中(計画どおり)	
		課題と今後の方向性	・イベント活性化のため、新規市民活動団体の出展の増加を目指す。 ・実行委員会の自主的な活動を促す。		担当課評価	A	
	令和2年度	実施計画	・香芝ふれあいフェスタ:11月1日(日)開催 (実行委員会8回開催予定) ・冬彩:12月19日(土)開催 (実行委員会5回、役員会1回開催) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模縮小にて実施。		—	—	
		実績(令和2年度末見込み)	・香芝ふれあいフェスタ…新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止 ・冬彩…12月にライブ配信及び市内3ヶ所での打ち上げ花火実施		進捗	実施中(遅れている)	
		課題と今後の方向性 (計画期間における全体総括)	引き続き、市民・地域団体・事業者との協働によるまちづくりイベントにより、地域の活性化とシビックプライドの醸成を図っていく。			担当課総括評価	A

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ の	基本目標	2	香芝への新しいひとの流れをつくる			
	施策	7	地域ブランド力の向上			
	推進する主な事業	64	ふるさとまちづくり寄附金事業			
	総合戦略記載の 事業内容	ふるさと納税制度を積極的に活用し、返礼品として市内産品やサービスを広く市外・県外へ提供することにより、産業振興につなげます。				
事業概要	事業名	ふるさとまちづくり寄附金事業			担当課 企画政策課	
	事業内容	ふるさと納税制度は市の財政に対する貢献だけでなく、寄附者に返礼品として市内産品やサービスを贈呈することで、市内産品のPR、ブランド力の向上、市内産業の振興、観光振興に繋がる。そこで、市内事業者に働きかけ返礼品の拡充を図るとともに、民間のポータルサイト等を活用し、市外・県外に対する発信力を強化する。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	—			進捗 —
		課題と今後の方向性	—			担当課評価 —
	平成29年度	実施計画	—			— —
		実績	—			進捗 —
		課題と今後の方向性	—			担当課評価 —
	平成30年度	実施計画	・新たな返礼品追加を検討する(目標数:300件)とともに、民間ふるさと納税ポータルサイトの複数導入を進める。 ・クラウドファンディング等の手法も含め、寄附金の活用事業を検討する。			— —
		実績	・3月末時点で返礼品数208件、民間ポータルサイト数4サイト、寄附金額約3,940万円。 ・市立各園・小・中学校エアコン設置事業に充当する寄附を広報かしばにて募集し、寄附いただいた978万7千円を工事費の一部に活用。			進捗 実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・返礼品の内容やPR活動について、他市町村といかに差別化できるかが課題。・国の制度改正の動向を注視し、地場産品の取扱い等について精査していく必要がある。			担当課評価 A
	令和元年度	実施計画	・ふるさと納税協力事業者の新規獲得(年間で10事業者以上) ・ふるさと納税協力事業者による返礼品を増やし、寄附金額の増加をめざす(目標金額5,000万円)			— —
		実績	・3月末時点で事業者数45事業者(R1年度で4事業者の増)、返礼品数248件、寄附金額約5,100万円。			進捗 実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・ふるさと納税募集経費を寄附金額の5割以下にすること等が法令により義務化されたことにより、慎重な事業運営が求められる。法令を遵守しながらも、市の魅力をPRできるような施策展開が必要。			担当課評価 A
	令和2年度	実施計画	・返礼品の新規企画、既存返礼品のブラッシュアップ等を行うことにより、寄附金額の増加をめざす(目標金額6,000万円)			— —
実績(令和2年度未見込み)		・1月末時点で寄附金額4,780万円(R2年度未見込5,200万円) ・事業者数47事業者(R2年度で2事業者の増)、返礼品数293件			進捗 実施中(計画どおり)	
課題と今後の方向性 (計画期間における 全体総括)	・民間ポータルサイトによる募集や返礼品の拡充を図ることにより寄附金額が増大したが、今後一層の寄附金の獲得に向けては、クラウドファンディング等の新たな取り組みも検討していく必要がある。			担当課 総括評価 A		

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけでの	基本目標	2	香芝への新しいひとの流れをつくる				
	施策	7	地域ブランド力の向上				
	推進する主な事業	23	マスコットキャラクター「カッシー」発信事業				
	総合戦略記載の事業内容	本市のマスコットキャラクターである「カッシー」の関連商品を作成し、市内外の各種イベントを中心にPR活動に努めます。					
事業概要	事業名	カッシーグッズ作成			担当課	商工振興課	
	事業内容	マスコットキャラクターである「カッシー」のオリジナルグッズを作成し、各種イベント等で配布をして香芝市のPRに努める。					
進捗管理項目	取組状況						
	平成28年度	実績	手さげビニール袋、缶バッジ作成済み			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	今後も継続して事業を行う。			担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	平成29年9月、30年3月までにそれぞれグッズを1つ作成する。			—	—
		実績	平成29年8月、カッシー付箋作成。 平成29年12月、カッシー缶バッジ作成。 平成30年2月、カッシーシール作成。			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	今後も継続して事業を行う。			担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	イベント配布やPR用に、2～3種類のグッズを作成する。			—	—
		実績	・カッシーグッズ(マグネット、タオル、シール)の作成。			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・今後も継続して事業を行う。			担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	イベント配布やPR用に、カッシーグッズの新規開発・作成(2～3種類)を行う。			—	—
		実績	・カッシーグッズ(タオルハンカチ、バスケース、カッシーシール)の作成。			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・今後も継続して事業を行う。			担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	イベント配布やPR用に、カッシーグッズの新規開発・作成(2～3種類)を行う。			—	—
		実績(令和2年度末見込み)	・カッシーグッズ(エコバッグ、カッシーシール)の作成。			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	カッシーのイラストの種類も増えたことから、引き続きグッズの製作を行い、香芝市とカッシーをPRしていく。			担当課総括評価	A

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ	基本目標	2	香芝への新しいひとの流れをつくる				
	施策	7	地域ブランド力の向上				
	推進する主な事業	24	「道の駅」全体構想計画策定事業				
	総合戦略記載の事業内容	地域の魅力を発信する場、地域への誘客施設としての「道の駅」整備に向けての構想の策定に着手します。					
事業概要	事業名	「道の駅」整備事業			担当課	土木課	
	事業内容	本市における「道の駅」整備の基本となる全体構想計画の策定に着手する。					
進捗管理項目	取組状況						
	平成28年度	実績	構想に向けた研究を行っている。			進捗	実施中(遅れている)
		課題と今後の方向性	候補地の具体検討 事業推進体制の構築			担当課評価	B
	平成29年度	実施計画	構想に向けた研究を行う。			-	-
		実績	都市計画マスタープランの見直し業務において、[公共公益施設の方針]の中で「道の駅」の整備を位置付けるとともに、道路や地域の実情から候補地の検討・研究を行った。			進捗	実施中(遅れている)
		課題と今後の方向性	引き続き、候補地の検討を行う。 構想計画の着手に向けて、「道の駅」の基本コンセプトの「休憩機能」「情報発信機能」「地域連携機能」の考え方や機能配分から事業体制を構築することが必要である。			担当課評価	B
	平成30年度	実施計画	都市計画マスタープランの中で「道の駅」の整備が推進されたことにより、全体構想策定の着手に向けた準備を行う。			-	-
		実績	都市計画マスタープランの関屋周辺地区において、「国道165号香芝柏原改良事業」や「総合公園」など関連事業の事業施設内容を考慮した候補地の検討・研究を進めている。			進捗	実施中(遅れている)
		課題と今後の方向性	国道165号香芝柏原改良事業の進捗に合わせながら、引き続き候補地の検討や全体構想策定の着手に向けた研究を行う。 全体構想策定の着手にあたり、「道の駅」が持つ3つの機能の「休憩機能」「情報発信機能」「地域連携機能」に「防災機能」を付加した整備計画立案に向けて、事業体制を構築することが必要である。			担当課評価	B
	令和元年度	実施計画	全体構想策定の着手に向けた準備を行う。			-	-
		実績	「情報発信機能」など「道の駅」が持つ機能に着目し、先進地(パレットピア大野; 岐阜県大野町)を視察した。 関連事業についても、国土交通省や庁内との情報交換など引き続き連携を行い、事業内容を考慮した候補地の検討・研究を進めている。			進捗	実施中(遅れている)
		課題と今後の方向性	道の駅に関する情勢、国庫補助の情報や先進地の事例および経営状況など最新の情報を収集した上で、都市計画マスタープランに掲げる「地域の魅力を発信する場」「地域への誘客施設」というまちづくりの方針を主眼にし、引き続き候補地の検討や全体構想策定の着手に向けた研究を行う。			担当課評価	B
	令和2年度	実施計画	施工段階や運営段階を想定・研究し、最新の情報を踏まえて全体構想の着手に向けた準備を行う。			-	-
実績(令和2年度末見込み)		新型コロナウイルスによる民間活力導入施設の財政状況や付随する官民間での協議について、奈良県の担当者よりリモートで意見を聴取した。 国土交通省とも複数回協議し、関連事業の推進や情報交換など引き続き連携を行い、ニューノーマルの時代に適合した事業内容の再検討を進めている。			進捗	実施中(遅れている)	
	課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	総合戦略策定当時から社会情勢が大きく変わっており、目標の設定内容について再検討が必要と考える。 持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けて、地域の魅力を発信する場、地域への誘客施設を設置するための手法についても道の駅に限らず、費用対効果や最新の事例等を踏まえて検討する必要がある。			担当課総括評価	C	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ の	基本目標	2	香芝への新しいひとの流れをつくる			
	施策	7	地域ブランド力の向上			
	推進する主な事業	25	自給率向上推進事業及び地産地消の推進			
	総合戦略記載の 事業内容	地元産の「大豆と米」を使用して、100%香芝産の素材にこだわった味噌「かしば香みそ」の製造の拡大・販売の促進及び市内学校給食での使用拡大を図ります。				
事業概要	事業名	地産地消推進事業		担当課	農政土木管理課	
	事業内容	「かしば香みそ」を学校給食に使用するとともに、市内直売所の「香芝ふれあい朝市」とJA直売所の「まほろばキッチン」で市の特産品(KASHIBA+)として一般消費者に販売する。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	12月にみそ用大豆の収穫を完了済み (作付け面積24a)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	大豆は連作障害が発生しやすい作物であり、24aの圃場を確保するには3倍の72aの圃場が必要。そのため、圃場の確保が今後の課題である。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	7月にみそ用大豆の作付け予定 (作付け面積7a)		-	-
		実績	7月にみそ用大豆の作付け実施(作付け面積7a) 12月に収穫完了 3月までに600kgの味噌製造完了		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	大豆の作付けは計画どおり実施できているが、製造者の高齢化、担い手不足、みその販売促進が課題である。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	7月にみそ用大豆の作付け実施(作付け面積9.7a) 12月に収穫完了 3月までに 600kgの味噌製造予定		-	-
		実績	3月までに 400kgの味噌製造完了 (異常気象;高温、鳥害により減収)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	生産製造者の高齢化 天候不良に対する対策 新規販路の開拓		担当課評価	B
	令和元年度	実施計画	7月にみそ用大豆の作付け実施(作付け面積9a) 12月に収穫完了 3月までに 600kgの味噌製造予定		-	-
		実績	3月までに 400kgの味噌製造予定 (天候不良;長雨・日照不足、鳥害により減収)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	大豆生産、みそ製造について、生産製造者の高齢化問題と後継者問題があるため、新規の担い手確保が必要である。高温や長雨・日照不足などの天候不良から不作が続いているため、大豆の収穫量を確保するため、補場の確保が必要である。		担当課評価	B
	令和2年度	実施計画	7月にみそ用大豆の作付け実施予定(作付け面積14a) 12月に収穫予定 3月までに 600kgの味噌製造予定		-	-
		実績(令和2年度末見込み)	新型コロナウイルスの影響でみその製造施設が使用できない可能性は出てくるが、みそ用大豆の収穫量が過去一番となり、3月までに600kgの味噌を製造予定となる。		進捗	実施中(計画どおり)
	課題と今後の方向性 (計画期間における 全体総括)	香芝朝市実行委員会、JA、農業委員会との連携により、人、農地、技術の確保はできているものの、生産製造者の高齢化が進んでおり、担い手不足が解消していない状況である。このことから、現状の生産技術等は維持しつつ、担い手不足の解消が今後の課題となる。		担当課 総括評価	B	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ での	基本目標	2	香芝への新しいひとの流れをつくる			
	施策	7	地域ブランド力の向上			
	推進する主な事業	26	遊休農地に耕作する農業者の選定			
	総合戦略記載の 事業内容	遊休農地解消活動として農業者と協議を行い、遊休農地において奈良県奨励品種「ひのひかり」の栽培を拡大するとともに、収穫した玄米を使って市内酒造会社の協力のもと純米酒「悠久の光」等の醸造販売を推進します。				
事業概要	事業名	悠久の光		担当課	農業委員会	
	事業内容	純米酒「悠久の光」等の原料となる酒米「奈良県奨励品種：ひのひかり」を遊休農地に作付けしていただける担い手農業者を選定し、栽培拡大を図り、醸造販売を推進する。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	担い手農業者により、作付け農地1筆、面積2,229㎡で「ひのひかり」作付け。11月に刈り取り、その後仕込み作業を実施(解消して2耕作年目)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	農業委員を通じて事業協力者を募って事業を拡大する		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	担い手農業者により、作付け農地1筆、面積2,229㎡で「ひのひかり」作付け。11月に刈り取り、その後仕込み作業を実施(解消して3耕作年目)		—	—
		実績	担い手農業者により、作付け農地1筆、面積2,229㎡で「ひのひかり」作付け。11月に刈り取り、その後仕込み作業を実施(解消して3耕作年目)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	事業拡大には必要の拡大が必要であることから、販売促進の強化を行い、農業委員及び推進委員を通じて事業協力者を募って事業を拡大する		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	担い手農業者により、作付け農地1筆、約面積2,000㎡で「ひのひかり」作付け。11月に刈り取り、その後仕込み作業を実施。(耕作放棄地の解消1耕作年目)		—	—
		実績	担い手農業者により、作付け農地5筆、面積1,956㎡で「ひのひかり」作付け。11月に刈り取り、その後仕込み作業を実施。(解消して1耕作年目)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	事業拡大には必要の拡大が必要であることから、販売促進の強化を行い、農業委員及び推進委員を通じて事業協力者を募って事業を拡大する		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	担い手農業者により、作付け農地1筆、約面積3,000㎡で「ひのひかり」作付け。11月に刈り取り、その後仕込み作業を実施。(耕作放棄地の解消2耕作年目)		—	—
		実績	担い手農業者により作付けを拡大、農地面積約4,500㎡で「ひのひかり」作付け。11月に刈り取り、その後市内酒造会社へ2tのひのひかりを販売し仕込み作業を実施(耕作放棄地の解消2耕作年目及び1耕作年目)※R1は1tの試験使用を含む		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	令和元年度より、事業拡大を行ったが、生産された2tの酒米(ヒノヒカリ)は、1tで「悠久の光」を、1tで新たな製品として試験的に仕込みを行うこととして進めていることから、他課との連携を図り、販売促進の強化や委員が中心となり、継続的な取り組みの構築に取り組んでいく		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	担い手農業者2名により、作付け農地4筆、面積約5,000㎡で「ひのひかり」作付け。11月に刈り取り、必要に応じて市内酒造業者へ販売、仕込み作業を実施。(耕作放棄地の解消3耕作年目及び1耕作年目)		—	—
		実績(令和2年度末見込み)	担い手農業者により作付けを拡大、農地面積約6,000㎡で「ひのひかり」作付け。11月に刈り取り、その後市内酒造会社へ3tのひのひかりを販売し仕込み作業を実施。		進捗	実施中(計画どおり)
	課題と今後の方向性 (計画期間における 全体総括)	H27よりR2に拡大した作付け耕作地を今後も継続的に耕作できるよう、悠久の光以外の酒に広く「酒米：ひのひかり」を使用し、香芝市生産の米の消費拡大と特産品の創設に繋げる活動を推進していく。		担当課 総括評価	A	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 つぎの 位置づけ	基本目標	3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
	施策	8	健康・子育ての応援(すこやか親子)			
	推進する主な事業	27	地域で子育て応援事業			
	総合戦略記載の 事業内容	公立保育所に通う子どもやその保護者だけでなく、家庭で子育てされている保護者やその子どもたちにも広く施設を開放し、ゆとりある豊かな子育てのために役立てよう園庭開放・ほっとひろば・すこやか育児相談の事業を実施します。また、公立幼稚園において実施する未就園児の交流事業も拡充し、保育所や幼稚園といった社会資源を有効に利用し、子育ての楽しさを実感できるような取り組みを進めます。				
事業概要	事業名	未就園児交流事業		担当課	こども課	
	事業内容	未就園の子どもや保護者が幼稚園の行事に参加し、子育ての楽しさや子供同士の交流を図りながら幼稚園での生活の一端に触れ、将来の幼稚園入園につなげていく。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	市内幼稚園9園において、年間計画に基づき事業を実施(参加親子6,334人)。多くの参加者に好評を得ている。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	今後も引き続き、現事業を実施する。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	各園、年間15回を目途に行事を実施する(0歳児から3歳児を対象にふれあい遊び等の行事や園児との交流会)。また園庭開放しながら、保護者が職員に子育て相談をできる環境も整える。		—	—
		実績	市内公立幼稚園7園、認定こども園2園において、年間計画に基づき事業を実施した(0歳児から3歳児を対象にふれあい遊び等の行事や園児との交流会)。また園庭開放しながら、保護者が職員に子育て相談をできる環境づくりとして積極的に保護者に声掛けをする等を行った。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	今後も引き続き、現事業を実施する。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	市内公立幼稚園7園、認定こども園2園において年間計画に基づき行事を実施。(0歳児から3歳児を対象に、各園での交流会や園児の集いなど)		—	—
		実績	市内公立幼稚園7園、認定こども園2園において、年間計画に基づき事業を実施した(0歳児から3歳児を対象にふれあい遊び等の行事や園児との交流会)。また、6月に開催した園児のつどい(全幼稚園5歳児が集まり、未就園児とダンスなどを楽しむ)も盛況の内に終了した。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	今後も引き続き、現事業を実施する。		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	市内公立幼稚園7園、認定こども園2園において年間計画に基づき行事を実施。(0歳児から3歳児を対象に、各園での交流会など)		—	—
		実績	市内公立幼稚園7園、認定こども園2園において、年間計画に基づき事業を実施した(主に0歳児から3歳児を対象にふれあい遊び等の行事や園児との交流会)。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	市総合体育館の耐震工事準備のため「園児のつどい」を休止しているが、西中校区では中学校の体育館で「ハッピーフェスティバル」を開催し、中学校の雰囲気を感じることができるなど保護者にも好評であった。今後は市内統一ではなく各地域で幼稚園に訪問しやすいような事業を開催するよう検討する。		担当課評価	B
	令和2年度	実施計画	市内公立幼稚園7園、認定こども園2園において年間計画に基づき行事を実施。(0歳児から3歳児を対象に、各園での交流会など) ※新型コロナウイルス感染症の影響により、1学期は休止中。2学期より再開予定。		—	—
実績(令和2年度未見込み)		新型コロナウイルス感染症の影響により休止。3月に新入園児を対象に開催予定。		進捗	実施中(遅れている)	
課題と今後の方向性 (計画期間における 全体総括)	平成30年度まで実施していた「園児のつどい」については再開の有無を検討しつつ、将来の幼稚園入園につなげていけるように、事業を通じて子育ての楽しさや親同士・子供同士の交流の大切さの再確認を図っていく。			担当課 総括評価	A	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけでの 略けでの	基本目標	3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる				
	施策	8	健康・子育ての応援(すこやか親子)				
	推進する主な事業	27	地域で子育て応援事業				
	総合戦略記載の 事業内容	公立保育所に通う子どもやその保護者だけでなく、家庭で子育てされている保護者やその子どもたちにも広く施設を開放し、ゆとりある豊かな子育てのために役立てるよう園庭開放・ほっとひろば・すこやか育児相談の事業を実施します。また、公立幼稚園において実施する未就園児の交流事業も拡充し、保育所や幼稚園といった社会資源を有効に利用し、子育ての楽しさを実感できるような取り組みを進めます。					
事業概要	事業名	園庭開放・ほっとひろば・すこやか育児相談		担当課	こども課		
	事業内容	未就園児を対象に市立保育所を開放し、保育所の行事に参加したり手作り遊びを提供したりしながら、子育てを行なっている保護者同士が気軽に子育ての事を話し合えるスペースを提供しています。					
進捗管理項目	取組状況						
	平成28年度	実績	市内保育所4か所において、年間計画に基づき事業を実施(参加親子660人)。行事に合わせて、こいのぼりの作成や手作りおもちゃの作成をする他、在園児との交流、身体測定等を行った。9月から2月各保育所において、3回ずつボランティアによる「足育」を実施。			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	自由な遊び場所の提供より、保育所が実施する行事や体験に参加したいという保護者からの意見も多く、今後は参加してもらうことに重点をおいた子育て支援の検討が必要。			担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	市内保育所4か所において、年間計画に基づき事業を実施。その他、関西福祉科学大学学生による「子育てサークル」とボランティアによる「足育」等を実施予定。			—	—
		実績	市内保育所4か所において、年間計画に基づき事業を実施。その他、関西福祉科学大学学生による「子育てサークル」とボランティアによる「足育」等を実施。			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	平成30年度からみつわ保育所が実施再開できるため、市内保育所5ヶ所で実施予定。 遊びの提供を望む保護者が多く、保育所行事の参加の機会を増やしたり、連携を図ったり、地域の子育て支援の一助としたい。			担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	市内保育所5か所において、年間計画に基づき事業を実施。その他、関西福祉科学大学学生による「子育てサークル」を実施予定。			—	—
		実績	市内保育所5か所において、年間計画に基づき事業を実施。その他、関西福祉科学大学学生による「子育てサークル」を実施。			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	リピーターの参加者が増える一方、5月、12月の参加が比較的少ない。また何年経っても参加が少ない施設もあるため、原因を分析し、実施の必要性について検討が必要。			担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	今年度も引き続き市内保育所5か所において、年間計画に基づき事業を実施。その他、関西福祉科学大学学生による「子育てサークル」を実施予定。(エプロンシアター、ふれあい遊びなど)			—	—
		実績	市内保育所5か所において、年間計画に基づき事業を実施。その他、関西福祉科学大学学生による「子育てサークル」を実施。			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	参加者が少ない施設においては保育士が保育に入り、遊び場の提供のみになっていたり、以前は行っていた事業が保育士の不足等で実施できていないことや、また参加者の不足で交流ができていないなど課題がある。地域により状況は異なるものの曜日の変更等も検討していきたい。			担当課評価	B
	令和2年度	実施計画	今年度も引き続き市内保育所5か所において、年間計画に基づき事業を実施。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、1学期は休止中。2学期より再開予定			—	—
		実績(令和2年度未見込み)	新型コロナウイルス感染症の影響により休止。すこやか育児相談については電話相談を中心に実施。			進捗	実施中(遅れている)
課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	将来の公立保育所入所につなげていけるように、事業を通じて子育ての楽しさや親同士・子供同士の交流の大切さの再確認を図っていく。			担当課総括評価	A		

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総 位 置 戦 略 の 概 要	基本目標	3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる				
	施策	8	健康・子育ての応援(すこやか親子)				
	推進する主な事業	27	地域で子育て応援事業				
	総合戦略記載の事業内容	公立保育所に通う子どもやその保護者だけでなく、家庭で子育てされている保護者やその子どもたちにも広く施設を開放し、ゆとりある豊かな子育てのために役立てよう園庭開放・ほっとひろば・すこやか育児相談の実施します。また、公立幼稚園において実施する未就園児の交流事業も拡充し、保育所や幼稚園といった社会資源を有効に利用し、子育ての楽しさを実感できるような取り組みを進めます。					
事業概要	事業名	地域子育て応援事業			担当課	児童福祉課	
	事業内容	市内3ヶ所で親子が自由に遊べる場を提供し、子育て世帯間の交流を図り、子育て相談や親子行事を実施。仕事と家庭を両立する保護者に対し、地域で子育ての手助け・応援をする相互援助活動(子育てサポートクラブ)の連絡調整を行い、より豊かな子育てを楽しんでいただく事業。					
進 捗 管 理 項 目	取組状況						
	平成28年度	実績	・市内3ヶ所の利用者数26,866人(内広陵町1,553人) ・子育て相談74人 ・親子行事参加数42組 ・ファミリーサポート(おねがい会員521人・まかせて会員209人)			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	親子行事については、催事を工夫し広報等で周知を図る。			担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	・市内3ヶ所の利用者数27,000人(内広陵町1,600人) ・子育て相談75人 ・親子行事参加数50組 ・ファミリーサポート(おねがい会員530人・まかせて会員215人) *つどいの広場での親子行事は、新しいことを取り入れる等、毎月の実施内容を工夫する。			—	—
		実績	・市内3ヶ所の利用者数25,922人(内広陵町1,756人) ・子育て相談32人 ・親子行事参加数58組 ・ファミリーサポート(おねがい会員553人・まかせて会員218人) ・近畿財務局が実施する「子育てミニマネー講座」をつどいの広場において2回開催した。			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	つどいの広場での親子行事は、新しい催事を取り入れると共に幅広い年齢層との交流等も工夫が必要。また、ファミリーサポート事業の周知を広め利用件数を増やすと共に、サポーターの質的向上を目指す。			担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	・市内3ヶ所でつどいの広場事業実施(利用者数26,500人、内広陵町1,800人、子育て相談75人)。また新たに事業者間の交流を図る機会を設け、行事の企画検討を行うなど、支援の質の向上を図る。 ・親子行事の開催(参加数60組) ・ファミリーサポートの実施。今年度は登録会員(おねがい会員550人・まかせて会員218人)の見直しを行う。			—	—
		実績	・市内3ヶ所つどいの広場利用者数23,830人(広陵町1,900人)、子育て相談153人。つどいの広場事業者間で企画検討会議を開催し(10月、3月)、意見交換等を行った。・親子行事53組(延べ参加数115人)。・ファミリーサポート登録会員の活動意向確認アンケートを実施し、名簿を整理(結果、おねがい会員328人・まかせて会員94人登録)。また子育てサポーター養成講座を開催し、まかせて会員の養成及び交流会を実施。			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	引き続き、つどいの広場事業者とイベント等の企画検討会議を実施し、利用者数の増加を図る。コーディネーターを1名配置することで、各拠点間及び保健センター等との連携を強化し、妊娠から子育て期にわたる切れ目のない支援を行い、子育て世代包括支援センターの構築を図る。 ファミリーサポート事業の会員数の増加及び資質向上に努める。			担当課評価	B
	令和元年度	実施計画	・市内3ヶ所でつどいの広場実施(利用者数24,000人 内広陵町2,000人)、イベント参加者数3,100人、子育て相談80人、今年度から、子育てコーディネーターが月1回巡回、体重測定や相談業務を実施。・つどいの親子行事の回数を年3回から6回に増やし、新規利用者を増やす。(参加数100組)・ファミリーサポートでは、子育てサポーター養成講座を開催し、サポーター数の増加と資質向上を図る。			—	—
		実績	・市内3ヶ所つどいの広場利用者数18,500人(広陵町1,577人)、子育て相談119人。親子行事32組(延べ参加数113人)つどいの親子行事を4回実施し、新規利用者に努めた。・新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月の親子行事は、中止とした。子育てコーディネーターが月1回つどいの広場3カ所を巡回し、体重測定130人、育児相談105人実施した。・ファミリーサポートでは、子育てサポーター養成講座を2月に開催し、サポーター数の増加と資質向上を図った。			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・つどいの広場の利用人数が減少していることから、イベント回数を増やすと共に、妊娠からのPRの強化と、妊娠から利用しやすい環境作りを図る。育児コーディネーターがつどいの広場を巡回することで、育児相談の充実を図ることが出来たので、継続して実施していく。 ・ファミリーサポート・センター事業では、登録会員数を増やすため、出前講座を利用し啓発を図る。			担当課評価	B
令和2年度	実施計画	・市内3ヶ所でつどいの広場を実施(利用者数19,000人 内広陵町1,300人)。子育てコーディネーターが月1回巡回。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月・5月は、つどいの広場を休止。再開は情勢を見ながら検討。 ・ファミリーサポートでは、子育てサポーター養成講座を2月に開催する。利用者が利用しやすい環境作りのためサポーターと利用希望者との交流会を開催する。			—	—	
	実績(令和2年度末見込み)	・市内3ヶ所のつどいの広場利用者数3535人(広陵町239人)、子育て相談24人 ・親子行事4回実施。親子37組(延べ72人)が参加し、新規利用に努めた。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月～6月15日までつどいの広場を休止とした。 ・子育てコーディネーターがつどいの広場3ヶ所を巡回し、育児相談を77人実施した。・ファミリーサポートでは、子育てサポーター養成講座を2月に開催し、サポーター数の増加と資質向上を図った。			進捗	実施中(計画どおり)	
	課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	・親子が自由に遊べる場を提供し、子育て相談や親子行事を実施し今後も子育て支援の充実を図っていく必要がある。 ・地域で子育ての手助け・応援をする相互援助活動であるファミリーサポートセンター事業を充実させるため、提供会員の増員をしていく必要がある。			担当課総括評価	B	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ の	基本目標	3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
	施策	8	健康・子育ての応援(すこやか親子)			
	推進する主な事業	28	親子の健康づくり推進事業			
	総合戦略記載の 事業内容	家庭訪問を行うことにより、家庭での現状を把握し、個々に応じた子育て支援や妊娠・出産・育児に関する相談を実施します。また、親子が健康であるために、様々な健診や乳幼児医療費助成を行います。				
事業概要	事業名	母子保健訪問事業		担当課	保健センター	
	事業内容	保健師・助産師・看護師等による子育て支援や健康づくりのための訪問指導を実施する。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	・妊婦訪問指導(9件) ・新生児、未熟児訪問指導(251件) ・こんには赤ちゃん訪問等指導(456件)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	産後及び新生児期は母乳等助産師の知識が必要なケースが多く、支援の充実のための専門職の確保が難しい。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	・妊婦訪問指導(10件) ・新生児、未熟児訪問指導(260件) ・こんには赤ちゃん訪問等指導(500件)		—	—
		実績	・妊婦訪問指導(16件) ・新生児、未熟児訪問指導(280件) ・こんには赤ちゃん訪問等指導(442件)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	各訪問指導は着実に実施しており、次年度も引き続き行う。しかしさらなる支援充実のために、訪問指導を行う専門職の確保が大きな課題である。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	・妊婦訪問指導(100件) ・新生児、未熟児訪問指導(270件) ・こんには赤ちゃん訪問等指導(450件)		—	—
		実績	・妊婦訪問指導(86件) ・新生児、未熟児訪問指導(296件) ・こんには赤ちゃん訪問等指導(363件)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	今年度、妊婦への訪問指導を重点的に実施、次年度も同様に行う予定。しかしこれで十分であるとは言えず、さらなる支援充実のために訪問を行っていくには、依然として専門職の確保が課題である。		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	・妊婦訪問指導(100件) ・未熟児訪問指導(50件) ・新生児・こんには赤ちゃん訪問等指導(650件)		—	—
		実績	・妊婦訪問指導(71件) ・未熟児養育訪問指導(29件) ・新生児・こんには赤ちゃん訪問等指導(589件)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	さらなる支援充実のために訪問を行っていくには、依然として専門職の確保が課題である。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	・妊婦訪問指導(70件) ・未熟児養育訪問指導(30件) ・新生児・こんには赤ちゃん訪問等指導(600件) ※新型コロナウイルス感染症の影響により、4月～6月上旬までは一部電話で対応。		—	—
		実績(令和2年度未見込み)	・妊婦訪問指導(40件) ・未熟児養育訪問指導(20件) ・新生児・こんには赤ちゃん訪問等指導(555件)		進捗	実施中(計画どおり)
	課題と今後の方向性 (計画期間における 全体総括)	感染予防を徹底し、時間短縮ができるよう工夫し、実施する。一部、感染予防のため訪問事業を、(訪問が必要な場合を除き)電話対応に変更して実施したため、支援体制についての検討が必要であった。また支援の充実には助産師による新生児の全数訪問が有効であり、今後も助産師の確保が課題。			担当課 総括評価	A

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ の	基本目標	3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
	施策	8	健康・子育ての応援(すこやか親子)		
	推進する主な事業	28	親子の健康づくり推進事業		
	総合戦略記載の事業内容	家庭訪問を行うことにより、家庭での現状を把握し、個々に応じた子育て支援や妊娠・出産・育児に関する相談を実施します。また、親子が健康であるために、様々な健診や乳幼児医療費助成を行います。			
事業概要	事業名	妊娠・出産包括支援事業	担当課	保健センター	
	事業内容	妊娠届の交付を受理し、保健師による保健指導および支援計画の作成、妊婦一般健康診査補助券(1人97,500円上限)の交付を行う。			
進捗管理項目	取組状況				
	平成28年度	実績	・妊娠届の受理数(697件) ・妊婦一般健康診査受診(延べ件数8,482件)	進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	妊娠届の発行を通じて、妊婦の支援計画を作成する必要があるが、専任の専門職の確保が難しく、全員に支援計画を作成できない。妊娠中の支援への妊婦訪問の人材確保が難しい。		担当課評価 A
	平成29年度	実施計画	・妊娠届の受理数(750件) ・妊婦一般健康診査受診(延べ件数9,000件) *妊婦一般健康診査補助を97,500円に増額 ・今年度8月より、妊娠届出のあった方を対象に支援計画を作成	—	—
		実績	・妊娠届の受理数(804件) ・妊婦一般健康診査受診(延べ件数8,766件) *妊婦一般健康診査補助を97,500円に増額 ・8月より、妊娠届出のあった方を対象に支援計画を作成(545件)	進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	全妊婦に対してスクリーニングシートを用いて要支援妊婦の選定を行っているが、よりの確かな判断につながるよう、シートの再検証を行う。また、引き続き支援計画作成を実施するにあたり、事業形態を整える。		担当課評価 A
	平成30年度	実施計画	・妊娠届の受理数(800件) ・妊娠届出時の支援計画作成率(100%) ・妊婦一般健康診査受診(延べ件数8,800件) ・要支援妊婦の支援会議(3回/月開催)	—	—
		実績	・妊娠届の受理数(771件) ・妊娠届出時の支援計画作成率(100%) ・妊婦一般健康診査受診件数(延べ7,842件) ・要支援妊婦の支援会議(3~4回/月開催)	進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	スクリーニングシートの再検証により、要支援妊婦スクリーニングの適正化を図ることができた。しかし、要支援妊婦と連絡が取りづらくなることも多く、今後、要支援妊婦と担当保健師がスムーズに繋がりが支えたいけるよう、妊婦自身が最初に立案するセルフプランシートの見直しが必要。		担当課評価 A
	令和元年度	実施計画	・妊娠届の受理数(750件) ・妊娠届出時の支援計画作成率(100%) ・妊婦一般健康診査受診件数(延べ7,800件) ・要支援妊婦の支援会議(4回/月開催)	—	—
		実績	・妊娠届の受理数(784件) ・妊娠届出時の支援計画作成率(100%) ・妊婦一般健康診査受診件数(延べ8,568件) ・要支援妊婦の支援会議(6回/月開催)	進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	要支援妊婦の件数が多く、支援会議にあがる件数も多くなっているため、要支援妊婦スクリーニングについて、県と協議のもと、本市の状況に応じたスクリーニングシート作成に取り組んでいく。また、助産師から担当保健師へとスムーズにつながるよう体制を整えていく。		担当課評価 A
	令和2年度	実施計画	・妊娠届の受理数(780件) ・妊娠届出時の支援計画作成率(100%) ・妊婦一般健康診査受診件数(延べ8,600件) ・要支援妊婦の支援会議(6回/月開催)	—	—
		実績(令和2年度未見込み)	・妊娠届の受理数(680件) ・妊娠届出時の支援計画作成率(100%) ・妊婦一般健康診査受診件数(延べ7,000件) ・要支援妊婦の支援会議(6回/月開催)	進捗	実施中(計画どおり)
	課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	要支援妊婦のスクリーニングシートの適正化を県と協議のもと行い、状況に応じたスクリーニングシートの作成に取り組む。また、妊娠期より出産後の育児まで切れ目なく支援が出来る体制を整え、虐待の早期発見や育児不安の軽減に繋げる。		担当課総括評価 A	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけでの	基本目標	3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる				
	施策	8	健康・子育ての応援(すこやか親子)				
	推進する主な事業	28	親子の健康づくり推進事業				
	総合戦略記載の事業内容	家庭訪問を行うことにより、家庭での現状を把握し、個々に応じた子育て支援や妊娠・出産・育児に関する相談を実施します。また、親子が健康であるために、様々な健診や乳幼児医療費助成を行います。					
事業概要	事業名	乳幼児健康診査事業		担当課	保健センター		
	事業内容	乳幼児の健康の保持増進を図り、疾病の早期発見、早期治療につなげるため、4ヶ月児健診・1歳6ヶ月児健診・3歳6ヶ月児健診を実施する。					
進捗管理項目	取組状況						
	平成28年度	実績	・4ヶ月児健診(728件/受診率99%) ・1歳6ヶ月児健診(791件/受診率97.8%) ・3歳6ヶ月児健診(773件/受診率95.9%)			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	健診未受診児に対する受診勧奨が課題となる。			担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	・4ヶ月児健診(700件) ・1歳6ヶ月児健診(780件) ・3歳6ヶ月児健診(750件) *出生数が減少しているため件数としては前年度より減少が見込まれるが、未受診対策の更なる強化を図る。			—	—
		実績	・4ヶ月児健診(698件/受診率98.0%) ・1歳6ヶ月児健診(769件/受診率98.5%) ・3歳6ヶ月児健診(753件/受診率98.3%)			進捗	実施中(計画どおり)
	課題と今後の方向性	出生数が減少しているため、来年度も件数としては減少が見込まれる。健診未受診児に対しては、引き続き、更なる受診勧奨の徹底を図る。			担当課評価	A	
	平成30年度	実施計画	・4ヶ月児健診(700件) ・1歳6ヶ月児健診(780件) ・3歳6ヶ月児健診(750件) *未受診対策の更なる強化を図る。			—	—
		実績	・4ヶ月児健診(675件/受診率98.1%) ・1歳6ヶ月児健診(653件/受診率98.9%) ・3歳6ヶ月児健診(801件/受診率97.7%)			進捗	実施中(計画どおり)
	課題と今後の方向性	未受診者への対応マニュアルを見直し、受診対象月から3か月以内に、担当職員がみな同じ対応を取れるように改善した。しかし、居住実態が不明な場合や、把握している場合であっても連絡が取れない、訪問拒否等の理由により接触が難しい保護者もいるため、関係課と対策について協議していく。			担当課評価	A	
	令和元年度	実施計画	・4ヶ月児健診(690件) ・1歳6ヶ月児健診(700件) ・3歳6ヶ月児健診(770件)			—	—
		実績	・4ヶ月児健診(668件/受診率98.2%) ・1歳6ヶ月児健診(661件/受診率99.1%) ・3歳6ヶ月児健診(707件/受診率97.2%)			進捗	実施中(計画どおり)
	課題と今後の方向性	健診未受診者については、対応マニュアルに沿って対応しているが、連絡が取れない接触が難しい保護者への対応としては、引き続き関係課と対策について協議していく。また、未受診者のうちの転出者については、未把握にならないよう、転出先のつなぎのかたの統一を図っていく。			担当課評価	A	
	令和2年度	実施計画	・4ヶ月児健診(670件) ・1歳6ヶ月児健診(720件) ・3歳6ヶ月児健診(910件) ※新型コロナウイルス感染症の影響により、4月～6月上旬までは一時延期。以後、再開し実施予定。			—	—
		実績(令和2年度未見込み)	・4ヶ月児健診(670件) ・1歳6ヶ月児健診(720件) ・3歳6ヶ月児健診(760件)			進捗	実施中(計画どおり)
課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	集団健診であるため、感染症予防を徹底出来るよう、検討を重ねる体制を変え、改善を行いながら実施していく。また健診を延期した場合、延期中の対応や、支援体制の検討も必要である。未受診追跡や精検追跡を100%実施し、疾病の早期発見の他、虐待の早期発見に繋ぐ。			担当課総括評価	A		

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ	基本目標	3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
	施策	8	健康・子育ての応援(すこやか親子)			
	推進する主な事業	28	親子の健康づくり推進事業			
	総合戦略記載の事業内容	家庭訪問を行うことにより、家庭での現状を把握し、個々に応じた子育て支援や妊娠・出産・育児に関する相談を実施します。また、親子が健康であるために、様々な健診や乳幼児医療費助成を行います。				
事業概要	事業名	子ども医療費助成		担当課	国保医療課	
	事業内容	0歳から15歳の誕生日以後最初の3月31日までの子どもに係る医療費の一部を助成する。(平成28年8月診療分より通院にかかる医療費助成の対象範囲を中学校卒業までに引上げ、名称を子ども医療費に変更。)				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	子ども医療費助成年度末実績 ・受給対象者数 12,097人 ・件数 49,818件 ・支給額 149,291,519円	進捗	完了	
		課題と今後の方向性	子ども医療費助成の対象者拡大に伴い、医療費の支給を適正かつ円滑に事務処理できているか検証を行う。適正受診の可否について医療費の動向を把握する。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	通年、医療費助成に係る業務を適切に行う。また、年度末時点において受給件数等を集計し、前年度比較等の検証を行う。(年度末見込み:受給対象者数 12,100人、件数 65,700件、支給額 196,000,000円)		—	—
		実績(平成29年度末見込み)	子ども医療費助成年度末実績 ・受給対象者数 12,712人 ・件数 67,247件 ・支給額 199,405,358円	進捗	実施中(計画どおり)	
	平成30年度	課題と今後の方向性	次年度も引き続き、子ども医療費助成に係る医療費の支給を適正・円滑に行う。また、新たに平成31年8月より、子ども医療費(未就学児)現物給付を開始するので、平成30年度中にシステム改修等を事前に行う必要がある。		担当課評価	A
		実施計画	・子ども医療費助成に係る業務を適切に行う。(年度末見込み:受給対象者数12,700人、件数67,500件、支給額 200,000,000円) ・平成31年度中の未就学児現物給付化に向け、システム改修、受給資格証交付等を行う。		—	—
		実績	子ども医療費助成年度末実績 ・受給対象者数 12,434人 ・件数 67,125件 ・支給額 205,412,525円 未就学児現物給付化に向けてのシステム改修は3月に完了済み。	進捗	実施中(計画どおり)	
	令和元年度	課題と今後の方向性	引き続き、子ども医療費助成に係る医療費の支給を適正・円滑に行う。また2019年8月から未就学児の医療費助成が現物給付方式に変わるため、それに伴う受給資格証の交付等の事務処理を適正に行う。		担当課評価	A
		実施計画	・子ども医療費助成に係る業務を適切に行う。(年度末見込み:受給対象者数12,400人、件数77,000件、支給額 250,000,000円) ・令和元年度8月から未就学児の現物給付化に向け広報等で周知し、7月中に受給資格証交付を適切に行う。		—	—
		実績	子ども医療費助成年度末実績(月報) ・受給対象者数 12,161人 ・件数 延べ130,750件 ・支給額 199,218,324円	進捗	実施中(計画どおり)	
	令和2年度	課題と今後の方向性	引き続き子ども医療費助成に係る業務を適切に行う。また令和元年度8月より未就学児の医療費助成の現物給付の実施に伴い、医療費の支給及び受給資格証の交付や周知等適正かつ円滑に実施できているか検証する。		担当課評価	A
		実施計画	・子ども医療費助成に係る医療費の支給及び受給資格証の交付業務を適切に行い、受給対象者数や延べ件数、医療費の動向について把握する。 (年度末見込み:受給対象者数12,000人、件数 延べ169,000件 支給額 250,000,000円)		—	—
令和2年度	実績(令和2年度末見込み)	子ども医療費助成年度末実績(見込み) ・受給対象者数 11,620人(受給者調べ8月1日現在)・件数 109,000 件 ・支給額 183,052,000円	進捗	実施中(計画どおり)		
	課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	平成28年8月より対象者を中学生まで拡充し、令和元年度8月より未就学児の医療費助成を現物給付方式に変更したが、事務処理を円滑に行い医療費を適正に支給することができ、子育てにかかる経済的負担の軽減を図ることができた。さらに、令和3年4月診療分より対象者の要件を18歳までに拡充する予定であるため、引き続き医療費の支給を適正かつ円滑に事務処理できているか検証を行い、適正受診の可否について医療費の動向を把握する。		担当課総括評価	A	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ の	基本目標	3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
	施策	8	健康・子育ての応援(すこやか親子)			
	推進する主な事業	29	絵本で育む親子のつながり事業			
	総合戦略記載の事業内容	ブックスタート事業やえほんたいむの実施など、絵本を介して、乳幼児のこぼと心を育み、親子のコミュニケーションを深めていくための取り組みを進めます。				
事業概要	事業名	えほんたいむ事業		担当課	市民図書館	
	事業内容	子どもの心と言葉を育むとともに、核家族化により孤立しがちなお母さん方に対する子育て支援も兼ね、乳幼児を持つ親子を対象に、月に2日、絵本の読み聞かせやわらべうたなどを実施。併せて、絵本に関する質問等の相談にも応じる。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	・よちよちたいむ(0・1歳児対象) 実施日数・回数 12日間・24回 参加者554人(273組) ・とことこたいむ(2・3歳児対象) 実施日数・回数 11日間・22回 参加者277人(129組)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	「とことこたいむ」について、3歳児の幼稚園・保育所への入所の増によるものなのか、参加者が、ここ1~2年で、大きく減少している。次年度実施に向けて、見直しを行なう。		担当課評価	B
	平成29年度	実施計画	・よちよちたいむ(0・1歳児対象)実施日数・回数 12日間・24回 ・とことこたいむ(2・3歳児対象)実施日数・回数 12日間・24回		—	—
		実績	・よちよちたいむ(0・1歳児対象) 実施日数・回数 12日間・24回 参加者数570人 ・とことこたいむ(2・3歳児対象) 実施日数・回数 12日間・24回 参加者数201人 *「とことこたいむ」の参加者が減少していたため、対象年代の子どもが参加しやすいよう、曜日を平日から土曜日に変更。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	「とことこたいむ」は、参加者数は、昨年度よりも下回る見込みになったが、少ないながらも土曜日だから参加したという声も聞かれた。次年度は、曜日変更が浸透していないことも考えられることから、実施曜日は変更せず、実施回数の絞込みや対象年齢の緩和等の見直しを行う。		担当課評価	B
	平成30年度	実施計画	・えほんたいむ・よちよち(0・1歳児対象) 実施日数・回数 12日間・24回 ・えほんたいむ・どようび(2歳児以上対象) 実施日数・回数 12日間・12回		—	—
		実績	・えほんたいむ・よちよち(0・1歳児対象) 実施日数・回数 12日間・24回 参加者 690人 ・えほんたいむ・どようび(2歳児以上対象) 実施日数・回数 12日間・13回 参加者 179人		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・「よちよち」は参加者が昨年度よりも増加。 ・「どようび」も平均参加者数は増加(H29:8.4人→H30:13.5人)。対象年齢緩和と実施曜日の明確化のために名称変更したが、効果的であったと考える。 ・次年度も引き続き実施するが、対象年齢が被る行事の整理、新規取組みの検討も必要。		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	・えほんたいむ・よちよち(0・1歳児対象) 実施日数・回数 12日間・24回 ・えほんたいむ・どようび(2歳児以上対象) 実施日数・回数 12日間・12回 ・絵本ミニミニ講座 ※新規実施 (市民協働課主催「マザーズセミナー」の一コマとして実施) 実施回数 1回、内容 絵本の選び方や読み聞かせの体験		—	—
		実績	・えほんたいむ・よちよち(0・1歳児対象) 実施日数・回数 10日間・20回 参加者 404名 ・えほんたいむ・どようび(2歳児以上対象) 実施日数・回数 9日間・9回 参加者 172名 ※2月中旬以降は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止。 ・絵本ミニミニ講座(市民協働課「マザーズセミナー」第2部として実施) 実施回数 1回 参加組数 7組		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・「よちよち」は参加者が昨年度よりも減少する一方、「どようび」は増加する見込みとなった。 ・「よちよち」の内容について、絵本の読み聞かせを主体にしつつも、新たにどのようなものにしていくのか、ボランティアとともに考えていく必要がある。 ・定例のえほんたいむ以外にも今年度の「絵本ミニミニ講座」のようなえほんたいむの派生事業を機会を捉えて実施し、絵本を通して親子のコミュニケーションを深めていくことの大切さを啓発していく。		担当課評価	B
令和2年度	実施計画	・えほんたいむ・よちよち(0・1歳児対象) 【実施日数・回数】9日間・18回 ・えほんたいむ・どようび(2歳児以上対象) 【実施日数・回数】8日間・8回 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、4・5・6月は中止。 ・えほんたいむ特別バージョン<新規事業> 【実施回数】1回 【内容】赤ちゃんといっしょに絵本と音を楽しむ会、赤ちゃんアート		—	—	
	実績(令和2年度未見込み)	・えほんたいむ(0~2歳児対象) 【実施日数・回数】7日間14回 【参加者数】140名 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、4~7月は中止。8月より「えほんたいむ」に一本化、月1日の開催、1回当たりの定員(5組)を設けた上で再開。「えほんたいむ特別バージョン」は内容を見直し、別の行事に振替。		進捗	実施中(遅れている)	
	課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	・参加者数の増減にあわせて、開催曜日の変更や対象年齢の緩和等の対策を講じながら、着実に事業を実施できた。しかし、期間の終盤で新型コロナウイルス感染症の影響により参加者数は大幅に減少した。 ・新型コロナによる中止を経た再開後も定員を超える参加希望があることから、今後は開催回数を増やすとともに、オンラインでの配信や家庭での読み聞かせ促進のための取組みが必要。		担当課総括評価	B	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ の	基本目標	3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
	施策	8	健康・子育ての応援(すこやか親子)			
	推進する主な事業	29	絵本で育む親子のつながり事業			
	総合戦略記載の 事業内容	ブックスタート事業やえほんたいむの実施など、絵本を介して、乳幼児のことばと心を育み、親子のコミュニケーションを深めていくための取り組みを進めます。				
事業概要	事業名	ブックスタート		担当課	児童福祉課	
	事業内容	乳児4ヶ月健診時に、赤ちゃんとその保護者に絵本等の入ったブックスタートバックを手渡し、絵本を介して言葉と心を育む。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	ブックスタート24回 (絵本名:だるまさんが、受診者:728人)	進捗	実施中(計画どおり)	
		課題と今後の方向性	読み聞かせを行うボランティアの育成が必要である。	担当課評価	A	
	平成29年度	実施計画	・ブックスタート24回 (絵本名:じゃあじゃあびりびり、受診者:700人) ・読み聞かせボランティアの方に、子育て支援サポート研修会を受講していただき、今後のボランティア活動に努めてもらう。	—	—	
		実績	・ブックスタート24回 (絵本名:じゃあじゃあびりびり、受診者:698人) ・子育てサポート養成講座にブックスタート読み聞かせボランティアの実務・見学を取り入れをスキルアップを図った。	進捗	実施中(計画どおり)	
		課題と今後の方向性	読み聞かせボランティアの育成も図るとともに、ブックスタートの機会を捉えて、チラシ等を用いて積極的に子育て支援情報・虐待予防の啓発を行う。	担当課評価	A	
	平成30年度	実施計画	・ブックスタート24回 (絵本名:びよん、受診者:700人) ・ブックスタート時に図書館と連携し、子育て支援情報のPRにも努める。	—	—	
		実績	・ブックスタート24回(絵本名:びよん、受診者:675人) ・ブックスタートの機会に、子育て支援情報誌(子育てガイドブック)、つどいの広場のチラシを配布。11月からは虐待予防の啓発冊子も配布。 ・ブックスタート読み聞かせボランティアの育成とスキルアップを図った。	進捗	実施中(計画どおり)	
		課題と今後の方向性	今後も読み聞かせボランティアの育成を図るとともに、ブックスタートの機会を捉えて、積極的に子育て支援情報・虐待予防の啓発を行う。	担当課評価	A	
	令和元年度	実施計画	・ブックスタート24回 (絵本名:かお、かおどんかお、受診者:700人) ・ブックスタート時に図書館と連携し、子育て支援情報のPRにも努める。	—	—	
		実績	・ブックスタート24回(絵本名:かお、かおどんかお、受診者668名) ・ブックスタートの機会に、つどいの広場やイベントでチラシを配布し情報を提供した。また、児童虐待予防のリーフレットを配布した。	進捗	実施中(計画どおり)	
		課題と今後の方向性	今後も、ブックスタートの機会に、絵本を紹介し、絵本の楽しさを伝え、読み聞かせボランティアの育成を図るとともに、ブックスタートの機会を捉えて、積極的に子育て支援情報・虐待予防の啓発を行う。	担当課評価	A	
	令和2年度	実施計画	・ブックスタートを18回 (絵本名:プープー、受診者:670人) ・ブックスタート時に図書館と連携し、子育て支援情報のPRにも努める。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月・5月は中止。6月・7月は、絵本と子育て支援情報の配布のみと、8月から絵本の読み聞かせを実施予定。	—	—	
		実績(令和2年度末見込み)	ブックスタート18回(絵本名:プープー、受診者555名) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月～6月は、休止とした。7月より再開しブックスタートの機会に、つどいの広場やイベントでチラシを配布し情報を提供した。また、児童虐待予防のリーフレットを配布した。	進捗	実施中(計画どおり)	
	課題と今後の方向性 (計画期間における全体総括)	ブックスタート事業で絵本を介して、乳幼児のことばと心を育み、親子のコミュニケーションを深めていくための取り組みを進めることが出来た。今後も継続して実施していく方針。			担当課 総括評価	A

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総 合 戦 略 記 載 の 事 業 内 容	基本目標	3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
	施策	8	健康・子育ての応援(すこやか親子)			
	推進する主な事業	30	虐待対応連携強化事業			
総合戦略記載の事業内容		家庭で子どもを養育していく上での子育て、いじめ、虐待など子どもに関する様々な問題について関係機関と連携して支援をしていきます。				
事 業 概 要	事業名	虐待対応連携強化事業			担当課 児童福祉課	
	事業内容	要保護児童対策調整機関として、虐待通告への対応、支援の実施状況の進行管理、関係機関との連絡調整を行う。				
進 捗 管 理 項 目	取組状況					
	平成 28 年 度	実績	・虐待ネットワーク会議実務者会議の開催(3回・要保護児童対象者延べ442名) ・ケース個別診断会議(12回)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	各関係機関との連携を強化し早期対応に努める。		担当課評価	A
	平成 29 年 度	実施計画	・虐待ネットワーク会議の開催(代表者会議1回・実務者会議9回) *要保護児童対象者延べ440人 ・ケース個別診断会議12回開催		—	—
		実績	・虐待ネットワーク会議の開催(代表者会議1回・実務者会議9回) ・ケース個別診断会議の開催(17回) *要保護児童対象者延べ403人 ・実務者会議に生活支援室も参加。ケースの共有認識、情報連携の強化を図った。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	今後も引き続き、児童虐待予防の啓発を積極的に行い早期発見に努めるとともに、関係機関との連携を強化して適切な対応を行う。		担当課評価	A
	平成 30 年 度	実施計画	・虐待ネットワーク会議の開催(代表者会議1回・実務者会議9回)、個別ケース検討会議の開催(18回) *要保護児童対象者延べ405人 ・積極的に動くことで適切な支援につなげる。また中学卒業後、進学・就職をしない要保護児童についても引き続き、二ト・引きこもり担当部署に情報提供を行い連携する。		—	—
		実績	・虐待ネットワーク会議の開催(代表者会議1回・実務者会議9回)、個別ケース検討会議の開催(18回) *要保護児童対象者延べ464人 ・11月虐待予防月間に街頭啓発及び保育所等に虐待予防啓発に努めたほか、里親制度の講演会を実施した。 ・二ト・引きこもり担当部署に3件繋げた。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・アセスメントシートの活用等でより一層の支援の質の向上を図る。 ・個別ケース検討会議を迅速に開催し、関係機関との情報・支援の方向性を共有し決め細やかな支援に努める。 ・こんには赤ちゃん訪問と連動させ、養育支援訪問に繋ぎ虐待予防の強化を図る。		担当課評価	A
	令 和 元 年 度	実施計画	・アセスメントシートを活用し、児童虐待受理会議を毎週開催、緊急度・重症度・虐待種別の判定を行なう。 ・虐待ネットワーク会議の開催(代表者会議1回・実務者会議10回)、個別ケース検討会議の開催(20回) *要保護児童対象者延べ500人 ・児童虐待予防啓発のため、市内の医療機関にポスターを配布。		—	—
		実績	・虐待ネットワーク会議の開催(受理会議35回・代表者会議1回・実務者会議10回)、個別ケース検討会議の開催(23回) *要保護児童対象者延べ573人 ・11月虐待予防月間に街頭啓発及び保育所等に虐待予防啓発に努め、学校教育課主催の市内小中学校若手職員に向けた研修会にて児童虐待の講義を行った。(小学校教師1回、中学校教師1回) ・市内の医療機関(45機関)にポスター・自治会にチラシを配布した。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・アセスメントシートを活用し、対象児童の在宅支援計画を作成提示し、要対協構成機関を通じて各所属機関の支援強化に努める。 ・学校教育課主催の小中学校若手職員に向けた研修会において、児童虐待に関する講義を実施し、児童に身近な支援者である教師の更なるスキルアップを図る。また、幼保職員向けの研修会を企画し、支援連携強化を図る。		担当課評価	B
	令 和 2 年 度	実施計画	・支援検討会議(年間40回開催予定)を開催し、対象児童の在宅支援計画を作成し支援機関との支援連携を遂行する。(約300件) ・虐待ネットワーク会議の開催(代表者会議1回・実務者会議12回、個別ケース検討会議の開催15回) *要保護児童対象者延べ500人 ・教職員向け児童虐待研修会(3回シリーズとし、毎年1回開催)の構築と開催。		—	—
		実績(令和2年度末見込み)	・コロナ感染防止対策より、会議開催を最小限とし、児童虐待通報のあった約200件を、支援検討会議(週1回)年間30回、個別ケース検討会議5回、実務者会議7回、代表者会議1回を開催し協議を行った。 ・教育委員会いじめ不登校等対応委員会委員と教員向けに児童虐待研修会を開催した。		進捗	実施中(計画どおり)
	課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)		子育て世代包括支援センターや子ども家庭総合支援拠点の設置により、児童虐待対応における支援機関の連携強化の体制整備を行った。今後は、その機能を活用し、児童虐待予防にむけた早期段階での子どもや家庭への包括的支援を進めていく。		担当課総括評価	B

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 つぎへの 位置づけ	基本目標	3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる				
	施策	8	健康・子育ての応援(すこやか親子)				
	推進する主な事業	31	障がい児福祉の充実				
	総合戦略記載の 事業内容	特別な支援を必要とする児童に対し、関係機関と連携しながら出産前から就学期までの切れ目のない支援の充実に取り組みます。					
事業概要	事業名	児童発達支援サービス事業			担当課	社会福祉課	
	事業内容	障がい児及びその家族に対し、障がい特性に応じた専門的な支援が身近な地域で提供されるよう、相談を行い、障がい児の預かりや療育等を行う施設を提供する。 【根拠法令】児童福祉法					
進捗管理項目	取組状況						
	平成28年度	実績	・児童発達支援サービス利用者数 延べ1,840件			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	相談支援事業所とも連携を密にとり、質の高いサービスの提供に努める。			担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	より家庭や関係機関との連携を深め、きめ細かなサービスを図る ・児童発達支援サービス利用者数 延べ1,900件			—	—
		実績	・児童発達支援サービス利用者数 延べ2,412件			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	切れ目のない支援実施のために、次年度も継続して相談事業所や関係機関と連携を深めていく。また、支援に必要な情報の共有化を図る。			担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	・児童発達サービス利用者数 延べ2,500件 ・法改正により今年度から居宅訪問型児童発達支援サービスが開始。関係機関との連携を密にし、サービスの充実に努める。			—	—
		実績	・児童発達サービス利用者数 延べ3,166件			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	発達支援サービスの利用者は、増加傾向にある。切れ目がなく、質の高い支援実施のために、次年度も継続して相談事業所や関係機関との連携を深め、必要な支援が提供されるよう取り組みを進める。			担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	・児童発達支援サービス利用件数 延べ3,500件 ・10月より、3歳から就学前までの障害児の発達支援サービス無償化の実施。			—	—
		実績	・児童発達支援サービス利用件数 延べ3,743件 ・10月より、3歳から就学前までの障害児の児童発達支援サービス無償化を着実に実施。			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	児童発達支援サービスの利用者は、年々、増加傾向にある。必要かつ質の高い支援が、適切に提供されるよう、また、サービス利用の必要性の有無について保護者が的確な判断が出来るよう、関係機関との連携を深め、取り組みを進めていく。			担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	・児童発達支援サービス利用件数 延べ3,800件 ・引き続き、関係機関と連携しながら、就学前までの支援の充実に取り組む			—	—
		実績(令和2年度末見込み)	・児童発達支援サービス利用件数 延約4,000件			進捗	実施中(計画どおり)
	課題と今後の方向性 (計画期間における 全体総括)	・児童発達支援サービスの利用者は、倍増しており、増加傾向にある。早期発見・早期支援に努めることで、発達障害への対応が進み、本人の自立、支援の必要度の減少が期待できることから、今後も、必要な支援が、適切に提供されるよう、関係機関との連携を深め、取り組んでいく。			担当課 総括評価	A	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけでの	基本目標	3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる				
	施策	9	保育・教育の充実(のびのび親子)				
	推進する主な事業	32	放課後児童の居場所づくり総合支援事業				
	総合戦略記載の事業内容	就労する親の増加から、留守家庭児童も増えており学童保育所のニーズが増加の一途をたどっています。学童保育所の施設整備や保育の質の改善を積極的に進めるとともに、放課後子ども教室を充実し、「放課後子ども総合プラン」として、放課後の子どもたちの居場所づくりを総合的に進めます。					
事業概要	事業名	放課後子ども総合プラン			担当課	こども課 生涯学習課	
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての児童が放課後を安心・安全に過ごし、多様な体験・活動が出来るように、学童保育所と放課後子ども教室が連携を図る。</li> <li>老朽化した学童保育所及び待機児童が発生している学童保育所の整備</li> </ul>					
進捗管理項目	取組状況						
	平成28年度	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後子ども教室未実施校(4校)へ、実施に向けての依頼を行った。</li> <li>真美ヶ丘東学童保育所、三和学童保育所の施設整備を実施した。</li> </ul>			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	平成31年までに全小学校での放課後子ども教室を実施し、学童保育所との連携を図ると共に、学童保育所の整備を行う。			担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後子ども教室未実施校(3校)へ、実施に向けての依頼を行う。</li> <li>学童保育所の施設整備を実施中。</li> </ul>			—	—
		実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後子ども教室未実施校(3校)において、平成30年度からの実施に向けて準備を進めたが、教室運営スタッフの確保ができず実施には至らなかった。</li> <li>学童保育所の施設整備を実施中。</li> </ul>			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	平成31年までに全小学校での放課後子ども教室を実施し、学童保育所との連携を図るとともに、学童保育所の整備を行う。			担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後子ども教室未実施校(3校)へ、実施に向けての依頼を行う。</li> <li>待機児童が発生している下田・二上学童保育所について、新たな保育場所を確保する。</li> </ul>			—	—
		実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後子ども教室未実施校(3校)において、運営スタッフの確保ができず実施には至らなかった。</li> <li>待機児童が発生していた下田・二上学童保育所について、7月に保育場所を確保し、待機を解消することができた。</li> </ul>			進捗	実施中(遅れている)
		課題と今後の方向性	放課後子ども教室と学童保育所との連携を図る。 放課後子ども教室は、平成31年度中(2019年度中)に全小学校での実施をめざす。 学童保育所は、平成31年度(2019年度)から指定管理者制度を導入し、民間活力を活かしての運営を開始する。			担当課評価	B
	令和元年度	実施計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後子ども教室未実施校(3校)へ、実施に向けての依頼を行う。</li> <li>放課後子ども教室と学童保育所の連携を深める。</li> <li>学童保育所は、指定管理者制度により運営開始。</li> </ul>			—	—
		実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後子ども教室は、未実施校であった旭ヶ丘小学校にて10月より開講し、未実施校は2校となった。</li> <li>学童保育所は、全11学童保育所において指定管理者制度により運営を開始した。</li> </ul>			進捗	実施中(遅れている)
		課題と今後の方向性	放課後子ども教室と学童保育所との連携を図る。 放課後子ども教室は、令和元年度中に全小学校での実施を達成できなかったが、今後も全小学校での実施に向け、スタッフの確保等に努める。 学童保育所は、女性就業率の上昇により増加する入所希望児童を受け入れることが可能な施設の確保に努める。			担当課評価	B
	令和2年度	実施計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後子ども教室未実施校(2校)へ、実施に向けての準備を行う。</li> <li>放課後子ども教室と学童保育所の連携を深める。</li> <li>学童保育所は、多くの待機児童が発生している五位堂学童保育所について、地域の公民館を活用した保育を実施する。</li> <li>※新型コロナウイルス感染症の影響により、当初は臨時休園しつつも、保育が必要な児童の受け入れを実施。</li> </ul>			—	—
実績(令和2年度未見込み)		<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの待機児童の発生が見込まれた五位堂学童保育所について、地域の公民館を活用した保育を実施した。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度の放課後子ども教室は実施しなかった。</li> </ul>			進捗	実施中(計画どおり)	
	課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学童保育所について、待機児童を発生させないために、必要に応じて民間も含めた施設の確保・整備を進める。</li> <li>放課後子ども教室について、スタッフの確保等の問題で未実施校(2校)が残っており、今後も全校実施に向けて準備を行う。</li> </ul>			担当課総括評価	A	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ の 概要	基本目標	3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
	施策	9	保育・教育の充実(のびのび親子)			
	推進する主な事業	33	待機児童解消事業			
	総合戦略記載の 事業内容	就学前児への保育・教育の場の量的拡大を図り「安心して生み育てることが出来る香芝市」をめざします。				
事業概要	事業名	待機児童解消		担当課	こども課	
	事業内容	特に0歳児から2歳児の低年齢児の待機児童が増えているため、入所できる様に改善をする。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	五位堂保育所分園の設置。(平成29年4月にこども園へ移行) 平成29年4月に小規模保育園を2園開園。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	平成29年度も小規模保育事業者を募集し、0歳児から2歳児の受け入れ枠を拡充。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	平成30年4月開園予定の小規模保育事業者を募集予定。 (0・1・2歳児の受け入れ枠19名分を拡充)		—	—
		実績	平成30年度から下記を実施できるよう事務を進め、平成30年4月1日時点においては前年度より解消することができた。 ・事業者を決定し、平成30年4月小規模保育園を開園(0・1・2歳児の受け入れ枠19名分を拡充) ・幼保連携型認定こども園せいか幼稚園定員を拡充(保育機能部分60名) ・みつわ保育所定員を拡充(80名分)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	今後は、公立幼稚園、保育所、認定こども園等の施設を利用し、待機児童対策を考えたい。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	平成31年4月幼保連携型認定こども園を開園予定(幼稚園機能分15名、保育機能分75名)。それに伴う準備を行う。		—	—
		実績	平成31年4月から幼保連携型認定こども園(幼稚園機能分15名、保育機能分75名)を開園できるよう市に必要な事務を進めた。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	年度途中における低年齢児の入園・入所希望が多いこと、保育ニーズの高い地域があることなどから、今後も受け入れ枠の拡充が必要な園・年齢の設定を的確に行い、計画的に進めていく。		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	令和元年10月から開始される無償化に伴い、入園・入所希望が増加することが予想される。公私協力のもとで増加する子供に対応できるよう、必要に応じて受入枠を増やす等対策を進める。		—	—
		実績	10月に無償化が開始され、それに伴い、認定こども園では1号認定から2号認定へ変更したり、また2号認定から1号認定に変更するなど、保護者の実情に応じた認定への変更が見られた。また保育所では兄弟での入所を希望するものが増加し、低年齢児の届出が多く見られた。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	低年齢児に待機児童が多く見受けられることから、今後は低年齢児の定員を増加させるために小規模保育所の誘致を行いたい。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	公私協力のもとで増加する入所希望に対応できるよう、必要に応じて受入枠を増やす等対策を進める。 また、鎌田小学校区において小規模保育事業者の募集予定(0・1・2歳児の受け入れ枠19名分を拡充)。		—	—
実績(令和2年度末見込み)		鎌田地区において小規模保育事業者の選定を実施した。		進捗	実施中(計画どおり)	
	課題と今後の方向性 (計画期間における 全体総括)	幼保の再編を進め、児童の受け皿を増やしていく。		担当課 総括評価	A	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけでの 略けでの	基本目標	3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
	施策	9	保育・教育の充実(のびのび親子)			
	推進する主な事業	34	保育サービスの充実			
	総合戦略記載の 事業内容	保護者のニーズに合わせた保育サービス(一時保育・延長保育等)の充実に努めます。				
事業概要	事業名	一時保育・延長保育・休日保育・病後児保育等		担当課	こども課	
	事業内容	保護者のニーズに合わせた一時保育・延長保育・休日保育・病後児保育等の保育サービスの推進を行う。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	現状は、平成27年度と同様のサービスを提供している。(一時保育2,100人、延長保育2,600人、病児保育350人、休日保育4人)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	公立保育所においても一時保育を行なえるよう検討が必要。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	私立保育園にて、引き続き一時保育、延長保育、病児保育を実施する予定である。公立保育所においては、入所等状況を見ながら、保育サービスの充実を検討。		—	—
		実績	私立保育園にて、引き続き一時保育、延長保育、病後児保育(体調不良児対応型を含む)を実施。公立保育所においても保育サービスの充実を検討しているが、引き続き検討が必要な状況。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・次年度も引き続き、私立保育園にて一時保育、延長保育、病後児保育を実施。なおせいか幼稚園では平成30年度より体調不良型を実施予定。 ・公立保育所での保育サービスについて引き続き検討。		担当課評価	B
	平成30年度	実施計画	・香芝市内の事業所において病児保育事業を開始予定。それに伴う準備を行う。		—	—
		実績	私立保育園にて、一時保育、延長保育、病後児保育(体調不良児対応型を含む)を実施。香芝市内において、平成31年4月に病児保育園を開園できるよう市で必要な事務を進めた。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	引き続き、民間活力を導入しながら、保育サービスの充実に努める。		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	私立保育園にて、引き続き一時保育、延長保育、病後児保育(体調不良児対応型を含む)を実施する予定である。		—	—
		実績	私立保育園にて、一時保育、延長保育、病後児保育(体調不良児対応型を含む)を実施。また、平成31年4月に開園した病児保育施設で病児保育事業を実施。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	引き続き、民間活力を導入しながら、保育サービスの充実に努める。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	・病児保育室ほっぼにおいて定員を6名から9名に増員する。 ・三和幼稚園において、預かり保育の定員を20名から40名に増員する。		—	—
		実績(令和2年度末見込み)	・病児保育室ほっぼにおいて定員を6名から9名に増員した。		進捗	実施中(計画どおり)
	課題と今後の方向性 (計画期間における全体総括)	幼保の再編を進める中で、一時保育・延長保育の拡充を図っていく。		担当課総括評価	A	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ の	基本目標	3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる				
	施策	9	保育・教育の充実(のびのび親子)				
	推進する主な事業	35	就園奨励費助成事業				
	総合戦略記載の 事業内容	私立幼稚園に通園する幼児を有する世帯の経済的負担を軽減するとともに、公私間の保護者負担の格差の是正を図るため保育料の軽減を行います。人格形成の基礎となる大変重要な幼児期の教育について、保護者が希望する教育環境を子どもに提供できるよう支援します。					
事業概要	事業名	就園奨励費助成事業			担当課	こども課	
	事業内容	私立幼稚園に通園する幼児を有する世帯を対象に就園奨励費を助成し、保護者の負担の軽減を行う。					
進捗管理項目	取組状況						
	平成28年度	実績	各私立幼稚園に対し就園奨励事業の通知を行い、在園児の保護者へ申請書の提出依頼を行う。 3月末 申請者339人 助成金額29,782,100円			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	今後は認定こども園に移行する園も増えると予想され、それに伴い、就園奨励費から施設型給付に移行すると考えられる。今後は国基準額への増額も検討する必要がある。			担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	各私立幼稚園に対し就園奨励事業の通知を行い、在園児の保護者へ申請書の提出依頼を行う予定。			—	—
		実績	各私立幼稚園に対し就園奨励事業の通知を行い、在園児の保護者へ申請書の提出依頼を行った。 3月末 申請者190人 助成金額19,399,500円			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	今年度は香芝市の基準で事業を行ったが、今後は幼児教育無償化に向けて徐々に国の基準に近づけるように補助額を調整する方向で進める。			担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	・昨年度支払実績のある各私立幼稚園に対し、就園奨励事業の通知を行うとともに、広報・HP等でも周知。 ・市内在住の在園児の保護者へ申請提出の依頼を行う。			—	—
		実績	各私立幼稚園に対し就園奨励事業の通知を行い、在園児の保護者へ申請書の提出依頼を行った。 3月末 申請者168人 助成金額16,961,800円			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	現行制度は2019年9月までとなり、10月以降は幼児教育無償化に伴い新制度へ移行。スムーズに移行できるよう準備を行なう。			担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	・昨年度支払実績のある各私立幼稚園に対し、就園奨励事業の通知を行うとともに、広報・HP等でも周知。 ・市内在住の在園児の保護者へ申請提出の依頼を行う。 ・令和元年10月からの無償化に伴う制度改正について、速やかに周知。			—	—
		実績	各私立幼稚園に対し就園奨励事業の通知を行い、在園児の保護者へ申請書の提出依頼を行った。 9月末 申請者150人 助成金額7,854,200円			進捗	完了
		課題と今後の方向性	今年度9月を持って就園奨励費の制度は廃止。 10月からは、無償化に伴う国の制度へ移行。			担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	—			—	—
		実績(令和2年度末見込み)	—			進捗	—
	課題と今後の方向性 (計画期間における 全体総括)	—			担当課 総括評価	—	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ の	基本目標	3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
	施策	9	保育・教育の充実(のびのび親子)			
	推進する主な事業	36	就学前保育・教育カリキュラム編成事業			
	総合戦略記載の 事業内容	就学前の子どもたちが、時代や地域の実情に対応し、また、それぞれの年齢に応じた質の高い保育・教育が受けられるよう保育所・幼稚園・認定こども園の共通のカリキュラムを作成し、なだらかに就学につながるような就学前の保育・教育を実施します。				
事業概要	事業名	就学前保育・教育カリキュラム編成事業		担当課	こども課	
	事業内容	幼児教育は、大きな過渡期を迎えている。学びの芽生えから学習へとつなげていく為に自ら考え行動する力を就学前の教育・保育のカリキュラムで再構築していく。				
進捗管理 項目	取組状況					
	平成28年度	実績	就学前教育・保育は人格形成の基礎作りであることを踏まえ、主体的に学びに向かう力を育てるための教育課程について検討し、保育所と連携をとりながら幼・保連携型カリキュラム及び長時間保育のカリキュラムを完成した。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	幼・保連携型カリキュラム及び長時間保育のカリキュラムを編成した。認定こども園として、子どもの育ちを十分に捉え教育・保育の基本及び目標が達成できるカリキュラムになっているか検証していかなければならない。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	幼保連携型認定こども園において、幼・保連携型カリキュラムに沿って主体的に教育保育を進めていく。年度末に、カリキュラムの実施効果等を検証する。		—	—
		実績	幼保連携型認定こども園において、幼・保連携型カリキュラムに沿って主体的に教育保育を進めた。今年度からカリキュラムをスタートさせたため、実施効果の検証を行った。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	新しい幼稚園教育要領との整合性について確認し、必要があれば幼・保連携型カリキュラムに組み込む。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	・幼保連携型認定こども園において、幼・保連携型カリキュラムに沿って教育保育を進めていく。 ・国が示す幼稚園・保育所・認定こども園それぞれの教育指針が改訂されたことを受け、各施設における3歳以上の「ねらい及び内容等」を共通に捉え、実践していく。		—	—
		実績	3歳以上の教育・保育について共通の内容をお互いに理解し合うため、市内公立の幼稚園・保育所・認定こども園で合同会議を開いたうえで、中学校区ごとに研修会を行った(2回)。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	今年度から国の教育要領・保育指針が改訂されたことを受け、改めて幼保連携型カリキュラムの目標が達成されているか再確認を行わなければならない。		担当課評価	B
	令和元年度	実施計画	・幼保連携型認定こども園において、幼・保連携型カリキュラムに沿って教育保育を進めていく。 ・3歳以上の教育・保育について共通の内容を理解しあうために、市内の公立幼稚園・保育所・認定こども園が集まり、合同会議及び職員同士の交流研修会を行う。		—	—
		実績	今年度も引き続き幼稚園・保育所・認定こども園で中学校区別に研修会や交流会を持ち3歳児以上の教育・保育について共通理解を深めた。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	昨年度、教育要領・保育指針が改訂されたことにより3歳児以上の「ねらい及び内容等」を共通に捉え、実践していき就学へつなげることが必要であるが、人手不足により合同で集まる機会を持つことが難しい。今後はどのように効率的な交流・研修をするかを検討していきたい。		担当課評価	B
	令和2年度	実施計画	・幼保連携型認定こども園において、幼・保連携型カリキュラムに沿って教育保育を進めていく。 ・3歳以上の教育・保育について共通の内容を理解しあうために、市内の公立幼稚園・保育所・認定こども園が集まり、合同会議及び職員同士の交流研修会を行う。		—	—
		実績(令和2年度末見込み)	新型コロナウイルス感染症の影響により交流の回数は減少したが、初任者研修などの機会を活用し幼・保の職員交流を図っている。また、作品展や研究発表などでも相互に視察するなど交流を促進している。		進捗	実施中(計画どおり)
	課題と今後の方向性 (計画期間における 全体総括)	今後導入予定のICT機器を活用した幼保の交流を図り、児童のさらなる成長につなげていく。		担当課 総括評価	A	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ の	基本目標	3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
	施策	9	保育・教育の充実(のびのび親子)			
	推進する主な事業	37	教育相談機能の充実			
	総合戦略記載の 事業内容	小・中学校において、学校生活での悩みやいじめ・不登校などの問題について、落ち着いた環境で相談ができるよう、教育相談室の設置やスクールカウンセラー等の人的資源の拡充を進めます。				
事業概要	事業名	教育相談機能の充実		担当課	学校教育課	
	事業内容	問題を抱える児童生徒、さらに保護者に対して、様々なアプローチから問題解決に取り組み、充実した学校生活を過ごせるように人的環境及び相談環境等を整備する。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	相談件数 567件(平成27年度 433件、平成26年度 363件)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	今後も、巡回計画に基づき、カウンセリングを実施し、解決に導く。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	各中学校に県費スクールカウンセラーを1人ずつ配置し、市費のスクールカウンセラーについては、2人体制で、市内小学校を巡回し、児童、保護者、教員の様々な悩みに応じるためカウンセリングを実施する。		—	—
		実績	相談件数 631件		進捗	実施中(計画どおり)
	平成30年度	課題と今後の方向性	各中学校に配置されている県費のスクールカウンセラーの活用についてはかなり定着している。市費の2人のカウンセラーの活用が小学校によりばらつきがある。有効活用のため、さらなる仕組みづくりが必要である。		担当課評価	A
		実施計画	・小学校の児童、保護者、教員の様々な悩みに応じるため、スクールカウンセラー2人体制で各小学校を巡回、カウンセリングを実施する。 ・中学校には各校1人ずつ配置(県事業)。場合によっては小学校の相談にも対応していく。		—	—
	令和元年度	実績	相談件数 762件		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	スクールカウンセラーの活用は概ね定着してきている。相談件数の増加は、制度が定着してきたことや中学校へのスクールカウンセラー配置時間数が一部増加したことによるものとする。次年度も実施するが、今後さらなる有効活用のための仕組み作りが必要である。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	・小学校の児童、保護者、教員の様々な悩みに応じるため、スクールカウンセラー2人体制で各小学校を巡回、カウンセリングを実施する。 ・中学校には各校1人ずつ配置(県事業)。必要に応じて小学校の相談にも応じる。 ・突発的な事象に対応できるように、小学校スクールカウンセラーの数時間分の確保を行い、体制の充実を図っている。		—	—
		実績(令和2年度末見込み)	相談件数 760件		進捗	実施中(計画どおり)
	課題と今後の方向性 (計画期間における全体総括)		・相談件数は年々増加傾向にあり、スクールカウンセラーの活用は定着してきている。 ・教職員への相談ニーズが増加してきていることを踏まえ、配置時間の増加とともに、学校カウンセリングとしてのコンサルテーション機能の充実を図りたい。		担当課総括評価	A



香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけでの	基本目標	3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
	施策	9	保育・教育の充実(のびのび親子)			
	推進する主な事業	65	学校教育環境整備事業			
	総合戦略記載の事業内容	次世代を担う子どもたちが夢をもち、夢にむかって学ぶための教育環境を整える。特に主体的・効果的に情報機器を活用し、協働的に課題を解決する能力の育成、資質の向上を図るため、ICT教育を推進します。				
事業概要	事業名	学校教育環境整備事業			担当課 教育総務課 学校教育課	
	事業概要	現代の子どもたちの生活様式に合わせたトイレ改修 夏期に高温となる教室環境改善のためのエアコン整備 高度情報化社会に対応する能力育成のためのICT環境の整備				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	—			進捗 —
		課題と今後の方向性	—			担当課評価 —
	平成29年度	実施計画	—			— —
		実績(平成29年度末見込み)	—			進捗 —
		課題と今後の方向性	—			担当課評価 —
	平成30年度	実施計画	・トイレ洋式化設計業務(真美ヶ丘東小学校) ・普通教室エアコン設置設計業務(市立全4中学校) ・校内LAN及び教育用タブレット整備業務(香芝東中学校)			— —
		実績	トイレ洋式化設計業務(真美ヶ丘東小学校)は10月に、校内LAN及び教育用タブレット整備業務(香芝東中学校)は8月に予定どおり完了。普通教室エアコン設置設計業務(市立全4中学校)は特別教室等を追加して12月に完了し、同月工事に着手。市立全10小学校、全7幼稚園についても設計業務が1月に完了し、同月工事に着手した。			進捗 実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	平成31年度(2019年度)以降も順次実施していく予定。なお、施設や設備の老朽化が進み、今後順次大規模改修が必要となってくるが、事業の主要な財源となる国の補助金交付状況により進捗に影響が生じる可能性がある。			担当課評価 A
	令和元年度	実施計画	・トイレ洋式化設計業務(香芝東中学校) ・トイレ改修工事【第1期】(真美ヶ丘東小学校、香芝西中学校) ・エアコン設置工事(市内全4中学校、全10小学校、全7幼稚園)			— —
		実績	トイレ洋式化設計業務(香芝東中学校)は10月に、トイレ改修工事【第1期】(真美ヶ丘東小学校、香芝西中学校)は9月に、エアコン設置工事(市内全4中学校、全10小学校、全7幼稚園)は幼稚園は4月に、小中学校は6月に予定どおり完了。			進捗 実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	R元年度未策定の「香芝市学校施設等の長寿命化計画(個別施設計画)」に基づき、教育環境整備を計画的に実施していく。なお、施設や設備の老朽化が進み、今後順次大規模改修が必要となってくるが、事業の主要な財源となる国の補助金交付状況により進捗に影響が生じる可能性がある。			担当課評価 A
	令和2年度	実施計画	・トイレ改修工事(真美ヶ丘東小学校【第II期】、香芝西中学校【第II期】、香芝東中学校) ・ICT教育環境整備(校内通信ネットワーク整備、児童生徒1人1台端末整備)			— —
実績(令和2年度末見込み)		・トイレ改修工事は、真美ヶ丘東小学校【第II期】、香芝西中学校【第II期】が10月に完了。香芝東中学校が1月未完了予定。 ・ICT教育環境整備(校内通信ネットワーク整備、児童生徒1人1台端末整備)校内ネットワークは12月に完了。児童生徒1人1台端末は、3学期からの使用開始。教員用校務支援システムは3学期から使用開始。			進捗 実施中(計画どおり)	
	課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	学校施設の維持管理については、「香芝市学校施設等の長寿命化計画」に基づき実施していくが、継続的に多額の費用を要する。事業の主要財源である国の補助金の交付状況に注視するとともに獲得に向けた働きかけが必要。ICT環境の整備については、今後、約8,000台のPCを管理する必要があり、ICTに精通した者を担当とする必要がある。また将来、機器の更新財源が懸案。			担当課 総括評価 A	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ の 概要	基本目標	3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
	施策	10	家庭の自立応援(がんばる親子)			
	推進する主な事業	39	生活困窮者自立支援事業			
	総合戦略記載の事業内容	生活困窮状態にある世帯の自立支援を図るため、世帯に対して相談支援事業を行い、就業・子育て等の支援や児童・生徒に対する学習支援を行い、学習環境・生活習慣の確立や向上をめざします。				
事業概要	事業名	生活困窮者自立相談支援事業		担当課	生活支援課	
	事業内容	相談員1名と就労支援員1名を配置し、生活困窮者が抱える複合的な課題に対応するため、社会福祉協議会及び関係機関と連携し相談援助を行う。 【根拠法令】生活困窮者自立支援法				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	新規相談受付件数 58件 うちプラン作成件数 9件 就労者数 5件		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	問題が深刻化し重篤なケースになる前に生活困窮者を早期に把握し、相談につなげるアウトリーチ型の相談体制や地域で支える仕組み作りが課題となる。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	・相談・支援(新規相談受付件数 60件、うちプラン作成件数 13件、就労支援対象者数 10件) ・相談窓口設置について広報紙等で広く周知を図る。		—	—
		実績	・相談・支援(新規相談受付件数 64件、うちプラン作成件数 17件、就労者数 16件) ・相談窓口設置について広報紙等で広く周知を図った。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	今年度の就労者数は昨年度の実績を上回るが、生活困窮者の早期の把握が課題であると考え。そのため周知徹底の継続と事業3年間の相談データを活用し、相談者からの連絡が途切れている方に対し状況の確認を行い、支援可能であれば早急に支援を開始する。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	・引き続き、相談・支援を行う。(新規相談受付70件、うちプラン作成20件、就労支援対象者数15件) ・相談窓口設置について広報紙等で広く周知を図る。 ・これまでの相談データを活用し、連絡が途切れている方の状況確認・支援を行う。		—	—
		実績	・相談・支援(新規相談受付件数67件、うちプラン作成件数20件、就労者数18件)。 ・相談窓口設置について広報紙等で広く周知を図った。 ・今年度は、連絡が途切れている方の状況確認・支援を行ったほか、広域就労準備支援において参加方式の支援も実施(9月・3月)。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	生活困窮者の早期の把握が課題であると考え。引き続き、周知徹底の継続と事業3年間の相談データを活用し、相談者からの連絡が途切れている方に対し状況の確認を行い、支援可能であれば早急に支援を開始する。		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	・引き続き、相談・支援を行う。(新規相談受付100件、うちプラン作成25件、就労支援対象者数20件) ・相談窓口設置について広報紙等で広く周知を図る。 ・これまでの相談データを活用し、連絡が途切れている方の状況確認・支援を行う。 ・広域就労準備支援において、参加方式の支援を行なう。		—	—
		実績	・相談・支援(新規相談受付件数90件、うちプラン作成件数24件、就労者数12件)。 ・相談窓口設置について広報紙等や関連部署にチラシを置くなど広く周知を図った。 ・これまでの相談データを活用し、連絡が途切れている方の状況確認・支援を行ったほか、広域就労準備支援において参加方式の支援も実施(11月・1月)。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	生活困窮者の早期の把握が課題であると考え。引き続き、周知徹底の継続、連絡が途切れている方の状況確認及び支援、関係部署との連携強化などを行い、早期に支援できる体制を整える。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	・相談・支援(新規相談受付100件、うちプラン作成25件、就労者数15件) ・相談窓口設置について広報紙等で広く周知を図る。 ・これまでの相談データを活用し、連絡が途切れている方の状況確認・支援を行う。 ・広域就労準備支援において、参加方式の支援を行なう。		—	—
実績(令和2年度未見込み)		・相談・支援見込み(新規相談受付件数300件、うちプラン作成件数24件、就労者数20件)。*新規相談受付件数については、新型コロナウイルス感染症の影響で、緊急小口資金等の貸付や住居確保給付金等の相談で大幅に増加する見込み。 ・相談窓口設置について広報紙等や関連部署にチラシを置くなど広く周知を図った。 ・これまでの相談データを活用し、連絡が途切れている方の状況確認・支援を行った。 ・広域就労準備支援については、参加方式の支援を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で未実施。		進捗	実施中(計画どおり)	
	課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	生活困窮者からの相談は年々増加傾向にある。相談内容も複合的な課題も多くなっており、関係部署とのさらなる連携が必要である。また、生活困窮者を早期に把握することにより課題の深刻化を防げる為、引き続き、周知徹底の継続、連絡が途切れている方の状況確認及び支援、関係部署との連携強化などを行い、早期に支援できる体制を整える。		担当課総括評価	A	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ の	基本目標	3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
	施策	10	家庭の自立応援(がんばる親子)			
	推進する主な事業	40	就学援助事業			
	総合戦略記載の 事業内容	児童・生徒の教育機会の格差やそれともなう貧困の連鎖問題については、教育問題ではなく社会問題として捉える必要があります。公教育の責務として、福祉関係所管と連携し、情報共有をするとともに、就学援助制度を充実させ経済的な支援体制を構築します。				
事業概要	事業名	就学援助		担当課	学校教育課	
	事業内容	貧困対策のため、生活保護基準の1.1倍以下の世帯に就学援助の支給を行う。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	中学校 該当者211名、支給額13,878,246円 小学校 該当者323名、支給額19,059,039円		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	今年度は給食費を全額支給としたが、まだまだ国の基準に追いついていない。今後は高額である修学旅行費を国基準にしたい。また認定基準の引き下げについても必要であると考えられる。本事業を貧困対策として位置づけたい。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	通年とおして、補助金支給に係る業務を適切に行う(申請受付、認定審査、補助金支給)。		—	—
		実績	中学校 該当者198名、支給額15,667,550円 小学校 該当者322名、支給額18,962,470円		進捗	実施中(計画どおり)
	平成30年度	課題と今後の方向性	各援助費目の基準の見直しや認定基準の引き下げについて継続検討。援助費目のひとつである新入学用品費は、入学準備金としての要素があるため入学年度の前年度に支給できるよう準備を進める。		担当課評価	A
		実施計画	・通年とおして、補助金支給に係る業務を適切に行う(申請受付、認定審査、補助金支給) ・今年度から認定基準を引き下げ(生活保護基準を1.04倍から1.1倍に変更)。また、H31年度分新入学用品費をH30年度内に支給できるように計画を進める。		—	—
	令和元年度	実績	中学校該当者 235名 支給額 20,917,292円 小学校該当者 421名 支給額 24,836,106円 入学予定者(小学校6年、幼稚園年長) 112名 支給額 2,185,000円		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	認定基準を引き下げたこと、周知方法や提出方法を見直したことにより、申請者数が増加。来年度も、制度の周知徹底を図り、経済的に就学が困難な家庭の児童・生徒が安心して学ぶことができる教育環境の整備を目指す。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	・年間通じて、補助金支給に係る業務を適切に行う(申請受付、認定審査、補助金支給) ・昨年引き下げた認定基準(生活保護基準を1.04倍から1.1倍に変更)を維持。		—	—
		実績(令和2年度末見込み)	中学校該当者243名(うち3名要保護) 支給額18,575,706円(うち150,000円要保護) 小学校該当者473名(うち2名要保護) 支給額27,247,277円(うち40,000円要保護) 入学予定者(小学校6年、幼稚園年長) 126名 支給額2,340,000円		進捗	実施中(計画どおり)
	令和2年度	課題と今後の方向性	昨年同様の周知方法により、制度がさらに周知され、申請者数が増加。来年度は、周知徹底を引き続き実施しながら、支給単価を見直すなどにより、経済的に就学が困難な家庭の児童生徒が安心して学ぶことができる教育環境の整備を目指す。		担当課評価	A
		実施計画	・年間通じて、補助金支給に係る業務を適切に行う(申請受付、認定審査、補助金支給) ・認定基準の引き下げや支給額増額の段階的実施を検討し、令和3年度支給に向けて、具体的な積算のもと、さらなる就学援助の充実を目指す。		—	—
令和2年度	実績(令和2年度末見込み)	中学校該当者284名(うち3名要保護) 支給額15,226,163円(うち30,773円要保護) 小学校該当者495名(うち2名要保護) 支給額22,256,678円(うち9,081円要保護) 入学予定者(小学校6年、幼稚園年長) 133名 支給額7,595,580円		進捗	実施中(計画どおり)	
	課題と今後の方向性 (計画期間における全体総括)	国基準までいたっていない費目等の見直しを含め、感染症対策並びに児童生徒の心情に配慮した支給事務の取扱について、整備していく。(支給額や認定基準の見直し、周知方法の徹底に努めた。新入学用品費の入学前支給により入学準備のための援助が可能となった)		担当課総括評価	A	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ の 概要	基本目標	3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
	施策	10	家庭の自立応援(がんばる親子)			
	推進する主な事業	41	ひとり親家庭自立支援事業			
	総合戦略記載の 事業内容	ひとり親家庭の父・母の職業能力の向上と求職活動の促進を図るための支援を行います。児童扶養手当などの支援策も含めます。				
事業概要	事業名	ひとり親家庭自立支援事業		担当課	児童福祉課	
	事業内容	児童扶養手当受給者を対象に、プログラム策定員と面接を行い個々のケースに応じた就労までのプログラムを策定し、ハローワークと連携して就労までのサポートを行う。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	7件のプログラム策定を実施		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	プログラム策定から就労後までのサポート体制が必要。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	・8件のプログラム策定を実施 ・就労支援窓口をハローワークと連携して8月に開催(今年度初開催)		—	—
		実績	・2件のプログラム策定を実施 ・就労支援窓口をハローワークと連携して8月に開催 ・高等職業訓練促進給付金制度利用数3件		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・引き続き、ハローワーク等とも連携し制度の周知啓発を図る。 ・ひとり親家庭自立支援に向け、高等職業訓練促進給付金制度等について周知啓発を図り、自立に向けてのサポートを行う。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	・ひとり親家庭自立支援事業のPR(広報・ホームページ)を行う。 ・8月には、ハローワークと連携し、窓口で個別相談に応じるなど、より経済的自立に向けた就労サポートを行う。 ・プログラム策定を実施(3件)。 ・高等職業訓練促進給付金制度の受付(新規2件)		—	—
		実績	・4件のプログラム策定を実施 ・ひとり親家庭自立支援事業のPR(広報・ホームページ)を2回実施。 ・就労支援窓口をハローワークと連携して8月に開催。また、個別にPRチラシも配布。 ・高等職業訓練促進給付金制度の受付(新規5件)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	実施している就業支援が着実に成果(定職率、所得向上)に繋がっている。今後もより一層のPRを図り成果へと繋げていくために、児童扶養手当申請者全員にチラシ配布等、制度の周知徹底の取り組みを進める。		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	・ひとり親家庭自立支援事業のPR(広報・ホームページ)を行う。 ・8月には、ハローワークと連携し、窓口で個別相談に応じるなど、より経済的自立に向けた就労サポートを行う。 ・プログラム策定を実施(4件)。 ・高等職業訓練促進給付金制度の受付(新規2件)		—	—
		実績	1件のプログラム策定を実施 ・プログラムアフターケアを実施(2件) ・ひとり親家庭自立支援事業のPR(広報・ホームページ)を2回実施。 ・就労支援窓口をハローワークと連携して8月に開催。また、個別に児童扶養手当受給者(見込も含む)にPRチラシを配布。 ・高等職業訓練促進給付金(新規2件)・自立支援教育訓練給付金(新規1件)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	啓発による効果で問い合わせが増えており、着実に成果(定職率、所得向上)に繋がっている。今後もより一層の啓発を図り、成果へと繋げていくために、児童扶養手当申請者・受給者にチラシ配布等、制度の周知徹底の取り組みを継続して行う。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	・ひとり親家庭自立支援事業のPR(8月号広報・ホームページ)を行う。 ・8月には、ハローワークと連携し、窓口で個別相談に応じるなど、より経済的自立に向けた就労サポートを行う。 ・プログラム策定を実施(4件)。 ・高等職業訓練促進給付金制度の受付(新規2件)		—	—
		実績(令和2年度未見込み)	2件のプログラム策定を実施 ひとり親自立支援事業のPR(広報・チラシ)を実施個別に児童扶養手当現況届時に啓発をおこなった。。啓発により、問い合わせなどが増加し、着実に効果があったと思われる。高等職業訓練促進給付金(新規1件)自立支援教育訓練給付金(新規3件)		進捗	実施中(計画どおり)
	課題と今後の方向性 (計画期間における 全体総括)	ひとり親家庭の支援において、定職率・所得向上につながる高等職業訓練促進給付金及び自立支援教育訓練給付金事業等の啓発に取り組む、生活の質の向上を図っていくためより一層支援が出来る体制を整えていく必要がある。		担当課 総括評価	A	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 づけでの	基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する			
	施策	11	公共施設などの維持・向上			
	推進する主な事業	42	公共施設等総合管理事業			
	総合戦略記載の事業内容	公共施設等について、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、維持管理・更新に係るトータルコストを縮減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現します。				
事業概要	事業名	公共施設等総合管理事業		担当課	管財課	
	事業内容	公共施設等の更新、統廃合、長寿命化等を計画的に行うことにより、財政負担の平準化を図るとともに、香芝市公共施設等総合管理計画を策定し、公共施設等の最適な配置を実現する。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	香芝市公共施設マネジメント推進委員会会議を平成28年8月及び10月に開催し、平成28年11月に「香芝市公共施設等総合管理計画」を策定した。		進捗	完了
		課題と今後の方向性	少子高齢化の進行及び人口減少等の状況変化を踏まえ、公共施設に係る市民ニーズへの対応が必要である。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	公共施設等総合管理計画に対する共通の認識を持ち、長期的かつ計画的に更新や統廃合等公共施設のマネジメントが実施できるように、全職員に対し周知を図る。		—	—
		実績	・部長、次長、課長、主幹級職員対象の研修を実施した (平成29年6月6日、7日、8日全5回) ・副主幹級以下の職員対象の研修を実施した (平成30年3月20日、23日全4回)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	古くなったからそのまま建替えるのではなく、人口動向やまちづくりを見据え、大きさや用途をよく考え、市民にとってよりよい施設とサービスを提供していくにはどうすべきか、全庁的に考えていくため、引き続き主幹・副主幹級職員に対し研修会を実施していく。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	香芝市公共施設等総合管理計画に基づき、「健全な財政状況の維持」と「市民サービスの向上」を目標に、全庁的に取り組んでいくため、職員に対し引き続き研修会を実施する。		—	—
		実績	・各課の事業を行う主体となる職員である主幹級職員対象の研修を実施した。 (平成31年3月11日、15日 全3回)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	香芝市公共施設等総合管理計画に基づき、管理している施設についての検討及び全庁的な課題・目標を再認識するため、職員に対し引き続き研修会を実施する。		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	香芝市公共施設等総合管理計画に基づき、良質かつ持続可能な行政サービスの提供の実現に向け、全庁的な取り組みとして定着していくよう、職員に対し引き続き研修会を実施する。		—	—
		実績	過去二年間の職員研修により、公共施設等総合管理計画の取組への意識が全庁的に浸透したものと考え、当初計画していた研修は行わなかった。 施設の更新・長寿命化の立案計画策定に際し、関係課と連携を図り、調整、助言支援を行った。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	公共施設は順次改修・建替の時期を迎えているが、計画性のないまま修繕するのではなく、いまある資源を最大限活用し、計画的な維持更新を行う公共施設等マネジメントを、全庁的な取り組みとして定着していくよう、職員に対し周知する。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	公共施設等総合管理計画に基づき、施設の総量抑制に向けて、施設の更新・長寿命化を行う際には、所管課と調整会議を行う。		—	—
実績(令和2年度末見込み)		老朽化した施設の集約や民間施設の活用について所管課との協議を積み重ね、旧中央公民館、青少年センターの除却を行った。		進捗	実施中(計画どおり)	
	課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	財政負担の軽減と集中するコストの平準化に向け、除却する施設、大規模改修等による長寿命化を図る施設の選別を行い、公共施設の適正配置の実現に向けて着実にマネジメントが進められており、今後においても更に総量削減を行っていく。		担当課総括評価	A	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ の	基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する			
	施策	11	公共施設などの維持・向上			
	推進する主な事業	43	公共施設再編事業			
	総合戦略記載の 事業内容	公共施設の類型ごとの課題を抽出したなかで、施設の複合化・機能の集約化などの改善の方向性を検討し、行政サービスの維持・向上を実現します。				
事業概要	事業名	公共施設再編事業		担当課	管財課	
	事業内容	公共施設の類型ごとの課題を抽出したなかで、施設の複合化・機能の集約化などの改善の方向性を検討し、公共施設再編計画を策定することにより、行政サービスの維持・向上を実現する。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	香芝市公共施設マネジメント推進委員会議を平成28年8月及び10月に開催、今後、平成29年3月に開催し、「公共施設再編計画」を策定する。		進捗	完了
		課題と今後の方向性	公共施設の類似施設の集約化や複合化により、「施設重視から機能重視への転換」を図り、効率的な施設整備を進める。公共施設再編計画は平成29年3月策定予定。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	公共施設再編計画に基づき、建物の改修サイクルに併せて、本市に適合した施設のあり方や市民生活の向上につながるような施設配置を検討してゆくためには全庁的に取り組む必要があることから、全職員が共通の認識を持つよう周知を図る。		—	—
		実績	・部長、次長、課長、主幹級職員対象の研修を実施した。 (平成29年6月6日、7日、8日全5回) ・副主幹級以下の職員対象の研修を実施した。 (平成30年3月20日、23日全4回)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	公共施設マネジメントにおける「3原則と5つの方針」、「施設類型別方針」及び「再編の手法」をあわせて検討し、全庁的に取り組んでいく必要があることから、引き続き主幹・副主幹級職員に対し研修会を実施していく。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	公共施設再編計画に基づき、管理している施設について各職員が検討していけるよう、引き続き研修会を行い、効果的な施設サービスの実現に向けて、各課と調整を行う。		—	—
		実績	・各課の事業を行う主体となる職員である主幹級職員対象の研修を実施した。 (平成31年3月11日、15日 全3回)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	関係各課の課長及び主幹級職員とワーキンググループを開催し、個別施設計画策定に向けて、協議・調整を進める。		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	公共施設再編計画に基づき、今後の香芝市に適合した公共施設の再編を効率的・効果的に具体化するため、個別施設計画の策定を行う。		—	—
		実績	第1期アクションプランの各施設の個別施設計画策定の支援を行った。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	個別施設計画の内容を反映した総合施設等管理計画の改定に向けて、協議調整を進める。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	公共施設再編計画に基づき、各施設の維持管理、計画的な修繕支援を行う。		—	—
		実績(令和2年度末見込み)	ふたかみ文化センター長寿命化改修にあたり、中長期的な観点で効果的に整備を行うため、既存の機能移転や集約など既存施設のあり方の検討を進めている。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性 (計画期間における 全体総括)	公共施設再編計画に基づき作成された個別施設計画により、施設の改修、更新、複合化等の優先順位を検討し、より少ない施設で効率的・効果的に香芝市に適合した公共施設の再編を目指す。		担当課 総括評価	A

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけでの	基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する			
	施策	11	公共施設などの維持・向上			
	推進する主な事業	44	スポーツ公園事業			
	総合戦略記載の事業内容	自然に囲まれた空間で、子どもたちが元気に遊べる場・若者たちの交流の場・高齢者の健康づくりの場として整備するとともに、広域避難地である本公園に防災関連施設を整備し、防災性の向上を図ります。				
事業概要	事業名	香芝市スポーツ公園整備事業		担当課	土木課	
	事業内容	市民の誰もが多様なスポーツが行える空間・施設を整備するとともに、『地域防災計画』に基づいて広域避難地として利用できる防災機能を備えた公園を整備する。プールの早期供用に向けて、優先的に事業を進める。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	事業用地の取得を進めている。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	整備・運営に関して、民間資金等の活用検討を行う。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	事業用地の取得を進めている。民間活力を活用するための準備を行う。		-	-
		実績	プール区域となる事業用地(2筆、約1.7ha)の取得が完了した。プール施設の整備運営に関してPFI手法により行うこととして、事業に係る調整を行っている。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	引き続き事業用地の取得を進める。プール区域の造成工事を実施し、あわせてPFI事業者の選定を行う。事業の主要な財源となる国の交付金の配分状況により進捗に影響が生じる可能性がある。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	事業用地の取得及び補償を進め、過年度に取得したプール用地について造成工事を行う。PFIによるプール整備に向けて事業者の選定及び決定を行う。		-	-
		実績	事業用地(1筆)の取得が完了した。プール事業用地の造成工事(Ⅰ期)を進めている。PFIによる事業者選定を延期した。		進捗	実施中(遅れている)
		課題と今後の方向性	引き続き事業用地の取得を進める。造成工事(Ⅱ期)やライフライン(上下水道)の整備を進めるが、事業の主要な財源となる国の交付金の配分状況により進捗に影響が生じる可能性がある。PFI事業者選定再開は、事業用地引渡見通し確定後の予定。		担当課評価	B
	令和元年度	実施計画	事業用地の取得及び補償を進め、プール用地について造成工事(Ⅱ期)を行う。		-	-
		実績	プール事業用地の造成工事(Ⅱ期)が完了した。		進捗	実施中(遅れている)
		課題と今後の方向性	引き続き事業用地の取得を進める。次年度以降も造成工事やライフライン(上下水道)の整備を進めるが、事業の主要な財源となる国の交付金の配分状況により進捗に影響が生じる可能性がある。国庫の補正予算等も活用し、整備を進める。		担当課評価	B
	令和2年度	実施計画	事業用地の取得及び補償を進め、プール用地について造成工事を行う。		-	-
実績(令和2年度未見込み)		令和元年度国の補正予算(第一号)による造成工事が完了。令和2年度当初予算による造成工事を施工中。令和2年度第3号補正予算による造成工事の準備中。		進捗	実施中(遅れている)	
	課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	近年は当初予算では国庫の配分率が低く、工事規模を縮小するが、補正予算で縮小分を補い進捗が確保される状況が続いている。今後の国庫動向は読みにくいが、国の動きに柔軟に対応し、現状の進め方を維持する。		担当課総括評価	B	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ での	基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する			
	施策	11	公共施設などの維持・向上			
	推進する主な事業	45	主要幹線道路整備事業			
	総合戦略記載の 事業内容	本市全体の道路ネットワークの強化を図るため都市計画道路の整備を促進します。特に北部地域においてはスポーツ公園など関連事業とのアクセス性を向上させるため尼寺関屋線・畑分川線の整備を推進します。				
事業概要	事業名	尼寺関屋線・畑分川線整備事業		担当課	土木課	
	事業内容	スポーツ公園など関連事業の整備・供用にあわせて整備を進める。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	事業用地の取得を進めている。 また、畑分川線の早期工事着手に向けて、橋梁部設計を行っている。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	両路線ともに早期工事着手に向けて、設計や事業用地の取得を進める。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	事業用地の取得を進める。 また、尼寺関屋線の一部を工事着手する。		-	-
		実績	白鳳台地区から西向きに畑分川線交差点付近までの一連となる区間において、事業用地(3筆、約0.3ha)の取得が完了した。この取得に伴い尼寺関屋線の一部区間(約160m)において工事を進めている。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	スポーツ公園に関連する道路整備および事業用地の取得に努める。 事業の主要な財源となる国の交付金の配分状況により進捗に影響が生じる可能性がある。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	事業用地の取得及び補償を行う。		-	-
		実績	事業用地(畑分川線Ⅰ工区)2筆の取得及び補償が完了した。 事業用地(尼寺関屋線)1筆の取得が完了した。 尼寺関屋線の一部区間において工事を進めている。		進捗	実施中(遅れている)
		課題と今後の方向性	引き続き、スポーツ公園に関連する道路整備および事業用地の取得に努める。 事業の主要な財源となる国の交付金の配分状況により進捗に影響が生じる可能性がある。		担当課評価	B
	令和元年度	実施計画	事業用地の取得及び補償を行う。 また、畑分川線の一部区間において工事着手する。		-	-
		実績	事業用地(畑分川線Ⅰ工区)において、新たに2筆の取得および補償が完了。 畑分川線Ⅰ工区および尼寺関屋線の一部区間において工事を進めている。		進捗	実施中(遅れている)
		課題と今後の方向性	引き続き、道路整備および事業用地の取得に努める。 関連事業(スポーツ公園)の進捗にあわせて整備する必要がある。 事業の主要な財源となる国の交付金の配分状況により進捗に影響が生じる可能性がある。		担当課評価	B
	令和2年度	実施計画	事業用地の取得及び補償を進める。 また、畑分川線Ⅰ工区および尼寺関屋線の一部区間において工事着手する。		-	-
実績(令和2年度末見込み)		事業用地(畑分川線Ⅰ工区)において、新たに2筆の取得および補償が完了。 畑分川線Ⅰ工区および畑分川線・尼寺関屋線の一部区間において、令和2年度当初予算による道路工事を施工中。 畑分川線Ⅰ工区の令和2年度第3補正予算による下部工区間の工事の準備中。		進捗	実施中(遅れている)	
	課題と今後の方向性 (計画期間における 全体総括)	事業の主要な財源となる国の交付金の配分により進捗に大きく影響があるため今後も引き続き、限られた財源で道路整備および事業用地の取得に努める。		担当課 総括評価	B	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけでの	基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する			
	施策	11	公共施設などの維持・向上			
	推進する主な事業	46	公共交通運行事業			
	総合戦略記載の事業内容	公共バスについて、公共施設と市内各地域間の移動手段を確保し、施設利用を推進します。デマンド交通について、市民の均等な移動機会の確保と、外出支援による健康増進を図ります。				
事業概要	事業名	公共交通運行事業		担当課	生活安全課	
	事業内容	公共バスは、有償化・路線の統合・停留所での自由乗降化などへ見直したコミュニティバスの実証運行を行い、持続可能な公共交通を検討する。デマンド交通は継続して実施し、公共バスとあわせた運行実績を検証する。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	コミュニティバスにおいては、香芝市地域公共交通活性化協議会にて実証運行計画の承認があり、運行業務委託業者を決定。10月から実証運行を開始。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	財政の圧縮が今後の課題。両交通の効率化を図り、持続可能な公共交通の形成を行い、配置・運営できるよう検討する必要がある。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	コミュニティバスとデマンド交通双方の契約が平成29年度で終了するため、最適な運行を検討し、業務委託先を選定する。		—	—
		実績	平成29年6月に生喜病院、関屋、志都美駅、二上駅北に乗り入れの変更を行い、利便性の向上を図った。また、業務委託契約が3月末で満了することから事業継続のため入札を行った。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	コミュニティバスについては、運行便数やバス停の増設などの市民からの要望を検討し、実証運行から本格運行への移行に取り組む。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	・市民ニーズを反映した地域公共交通網形成計画の策定に取り組み、持続可能な公共交通に努める。 ・コミュニティバスにおいては、実証運行から本格運行への移行を検討する。		—	—
		実績	公共交通にかかる現状の問題や課題の整理を行った。コミュニティバスの本格運行については、次年度から策定する香芝市地域公共交通網形成計画で検討するとした。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	少子高齢化社会が進む中、公共交通にかかる財政的な負担や重複するサービスが課題となっているため、香芝市地域公共交通網形成計画を策定し、持続可能な公共交通網を形成する。		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	今年度から来年度にかけての2ヶ年で、市民ニーズを反映した地域公共交通網形成計画の策定に取り組み、コミュニティバスとデマンド交通の実施計画を策定し、持続可能な公共交通の確保に努める。		—	—
		実績	地域公共交通網形成計画策定に向けて、コミュニティバス・デマンド交通の利用者アンケートを実施した他、中学校区別に地域住民懇談会を実施し、公共交通に係る要望・意見等を聴取した。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	公共交通に係る財政的な負担及び重複するサービスが課題となっているため、地域公共交通網形成計画を策定し、各地域公共交通の役割分担を明確にした上で、運行計画の再編を実施する他、地域公共交通の利用促進に取り組む。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	令和元年度と令和2年度の2カ年で、市民ニーズを反映した地域公共交通網形成計画の策定に取り組み、コミュニティバス・デマンド交通の運行計画の再編について検討し、持続可能な公共交通の確保に努める。		—	—
		実績(令和2年度末見込み)	・年度末に地域公共交通計画を策定 ・アイデア募集、パブリックコメント、自治会への意見照会を実施 ・市が運営する地域公共交通(コミュニティバス・デマンド交通等)の運行形態の検討を実施。		進捗	実施中(計画どおり)
課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	市を取り巻く公共交通ネットワークの維持しつつ、地域ニーズにあった市が運営する地域公共交通の見直しと受益者負担の検討を引き続き実施していく。		担当課総括評価	A		

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ での	基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する			
	施策	11	公共施設などの維持・向上			
	推進する主な事業	47	安全で安定した水道水の供給			
	総合戦略記載の 事業内容	災害時にその影響を最小限に抑えるため水道施設の耐震化を図るとともに、隣接市町との相互連絡管等の整備を推進します。また、水質監視システム等の導入で、きめ細かな水質管理体制の充実に図ります。				
事業概要	事業名	水道管耐震化		担当課	工務課	
	事業内容	香芝市水道施設更新計画に基づき、法定耐用年数経過管を重点的に耐震化していく。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	4,387mの水道管布設工事を実施。(2,359mの布設替工事分を含む。)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	耐震化予定の延長が多く、施工に多大な費用と時間が必要となることから、他の地下埋設業者との共同施工等も視野に事業を進めていきます。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	3,700mの水道管布設工事を予定。(民間開発分を含む。)		-	-
		実績	2,917mの水道管布設工事を実施。(1,948mの布設替工事分を含む。)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	漏水の件数が増加傾向にあるため、老朽管と給水管をセットで更新するとともに、布設年度に関わらず漏水危険度の高い管の布設替にも取り組んでいきます。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	3,200mの水道管布設工事を予定。(民間開発分を含む。)		-	-
		実績	5,695mの水道管布設工事を実施。(3,642mの布設替工事分を含む。)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・地下埋設業者との共同施工並びに老朽管と給水管をセットで更新することにより、計画どおり布設替は進んでいる。 ・今後は経営戦略とともに2020年度策定予定の管路更新計画に基づき水道管の耐震化に取り組んでいく。		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	3,200mの水道管布設工事を予定。(民間開発分を含む。)		-	-
		実績	3,487mの水道管布設工事を実施。(2,452mの布設替工事分を含む。)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	配水支管(φ300未満)の布設替については、地下埋設業者との共同施工も併せて計画通りの進捗である。 今後は、配水本管(φ300以上)の耐震化についても管路更新計画を基に、国道拡幅事業と調整を図りながら取り組んでいく。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	3,200mの水道管布設工事を予定(民間開発分を含む。)		-	-
		実績(令和2年度末見込み)	3,866mの水道管布設工事を実施。(1,678mの布設替工事分を含む。)		進捗	実施中(計画どおり)
課題と今後の方向性 (計画期間における 全体総括)	・配水支管(φ300未満)の布設替については、水道以外の地下埋設事業者と同時に施工を行うなど、地域住民や財政面においても負担の軽減を図りながらも計画通り進捗できた。 ・今後は、管路更新計画に基づき、災害時市民に大きく影響を及ぼすと考えられる基幹管路(φ300以上の配水本管)の耐震化から取り組んでいく。			担当課 総括評価	A	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけでの	基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する			
	施策	11	公共施設などの維持・向上			
	推進する主な事業	48	下水道施設の長寿命化			
	総合戦略記載の事業内容	下水道施設の耐用年数の延伸とライフサイクルコストの縮減に取り組むことにより、継続的な住民サービスの確保を図ります。				
事業概要	事業名	下水道管路更生		担当課	下水道課	
	事業内容	香芝市公共下水道管路施設長寿命化計画に基づき、対象管路の更生工事を実施する。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	白鳳台地区において管路更生工事(238m)を実施		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	昨年度、今年度ともに国庫補助が要望額より大きく下回っての内示であり、事業実施に影響が出ている。今後も、国庫補助の内示状況により大きく影響する。		担当課評価	B
	平成29年度	実施計画	白鳳台地区において管路更生工事(300m)を実施		-	-
		実績	白鳳台地区及び西真美地区において管路更生工事(約383m)を実施		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	国庫補助が要望額より下回っての内示が続くと想定されるが、発注方法や積算手法をより精査し、今年度同様計画を上回る長寿命化達成率を目指す。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	西真美地区において管路更生工事(約650m)を実施		-	-
		実績	西真美地区において管路更生工事(約709m)を実施		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	国庫補助が要望額より下回っての内示が続くと想定されるが、引き続き発注方法や積算手法をより精査し、計画通りの長寿命化達成率を目指す。		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	西真美地区において管路更生工事(約460m)を実施		-	-
		実績	西真美地区において管路更生工事(約463m)を実施		進捗	完了
		課題と今後の方向性	国庫補助が要望額より下回っての中、発注方法や積算手法をより精査した結果、計画通りに長寿命化の達成ができた。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	-		-	-
		実績(令和2年度末見込み)	-		進捗	-
課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	新たに老朽化した下水道管路施設が発生してくる中、今後も、国庫補助を活用し、効率的・効果的に、健全で持続的な下水道施設の確保に努めていく。			担当課総括評価	-	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけでの	基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する			
	施策	12	住環境の維持・向上			
	推進する主な事業	49	バリアフリー化推進事業			
	総合戦略記載の事業内容	「香芝市バリアフリー基本構想」に基づき、市内の重点整備地区内における生活関連施設とそれらをつなぐ生活関連経路について、計画的にバリアフリー化を進めま				
事業概要	事業名	鉄道駅バリアフリー化事業		担当課	都市計画課	
	事業内容	高齢者や障がい者等の移動等の円滑化を図るため、鉄道事業者に対して、市要綱に基づき、その施設整備に要する経費の一部について、補助金を交付する。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	近鉄下田駅において、バリアフリー化工事が完了。		進捗	完了
		課題と今後の方向性	国の基本方針により、平成32年度末までにJR香芝駅のバリアフリー化を進める。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	JR香芝駅のバリアフリー化について、JRと継続的に協議を行い、平成31年度の事業着手に向けた調整を行う。		-	-
		実績	JR香芝駅のバリアフリー化については、平成31年度の事業着手に向けて、JRと継続的に協議を行っており、現在のところ、JRの社内で調整を行っている状況である。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	国の基本方針により、平成32年度末までにJR香芝駅のバリアフリー化を進める。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	JR香芝駅のバリアフリー化について、JRと継続的に協議を行い、平成31年度(2019年度)の事業着手に向けた調整を行う。		-	-
		実績	JRとの整備内容に関する協議に時間を要し、現在のところ、平成32年度(2020年度)の事業着手に向けて調整を行っている状況である。		進捗	実施中(遅れている)
		課題と今後の方向性	平成32年度(2020年度)の事業着手に向けてJRとの協議を整える。		担当課評価	B
	令和元年度	実施計画	JR香芝駅のバリアフリー化について、JRと継続的に協議を行い、令和2年度(2020年度)の事業着手に向けた調整を行う。		-	-
		実績	令和2年度の事業着手に向けて、JRとも協議が整い、国への要望も完了している。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	令和2年度よりJRのバリアフリー化事業に対し、補助金を交付して事業の推進を図る。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	JR香芝駅のバリアフリー化について、JRと継続的に協議を行い、事業着手に向けた調整を行う。令和2年度(2020年度)の国庫補正予算で予算化された際には、速やかに事業に着手する。		-	-
		実績(令和2年度末見込み)	令和3年度の事業着手に向けて、JRとも協議が整い、国への要望も完了している。		進捗	実施中(計画どおり)
課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	国の基本方針により、令和3年度中のJR香芝駅のバリアフリー化を目指す。JRとの協議を継続し、国庫補助予算で予算化された際には、速やかに事業に着手できるよう調整を継続する。		担当課総括評価	A		

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけでの	基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する			
	施策	12	住環境の維持・向上			
	推進する主な事業	50	空き家対策推進事業			
	総合戦略記載の事業内容	空き家等の発生抑制をはじめ、管理不全の解消及び利活用等の対策を検討した上で、魅力ある景観の形成や適正な土地利用の推進など、良好な住環境の形成を図ります。				
事業概要	事業名	空き家対策推進事業		担当課	都市計画課	
	事業内容	市内の空き家候補の現地調査を実施し、その結果をもとに課題等の抽出を行ったうえで、今後の施策の方向性を示した空家等対策計画を策定する。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	市内の空き家に対して、実態調査(現地調査及び所有者等への意向調査)が完了。		進捗	完了
		課題と今後の方向性	空き家の実態調査結果を踏まえ、空き家対策計画を策定する。(平成29年度予定)		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	本市の実情に即した空家等対策計画を策定する。		-	-
		実績	本市の実情に即した空家等対策計画及び特定空家等の判断基準を策定した。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	空家等対策計画及び特定空家等の判断基準に基づき、空家等の総合的な対策を推進する。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	特定空家候補の状況を把握し、適正な管理を行うよう指導していく。また、流通対策プラットフォームの方向性について検討する。市民の安全・安心の確保を図り、地域の活性化に繋がるよう空家の除却や改修等に対する補助金を交付する。		-	-
		実績	・特定空家候補4件のうち2件が解消された。 ・空家の除却と利活用のための改修工事に対する補助金を交付した。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・空家所有者等の管理意識の希薄化、経済的困窮などの理由により適正管理が困難になっていることから、所有者等の責務や補助制度等の周知により適正管理を促す。 ・流通対策プラットフォームで連携する各種団体と引き続き協議を行い、実用的な制度の構築に向け検討する。		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	・市内に建物をお持ちの方に対して、納税通知書送付時に適正管理の重要性等、空家に関する情報提供を行う。 ・空家等の除却や利活用に対して補助金を交付する。 ・空家等を既存(中古)住宅市場で流通させる支援を行うため、NPOや関係団体との連携を図る。		-	-
		実績	・納税通知書送付時に空家等の適正管理の重要性、除却や利活用に対する補助事業の周知するためのリーフレットの作成を行った。 ・空家等の対策に関する協定書をNPOと締結した。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・空家等を既存(中古)住宅市場で流通させる等の支援を行うため、関係団体と協定を締結し連携を図る。 ・空家等の除却を促進し、市民の安全、安心の確保を図るため、補助要件の改正を検討する。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	・納税通知書に空き家に関するリーフレットを同封し、情報提供を行う。 ・空家等の除却や利活用に対して補助金を交付する。 ・空家等を既存(中古)住宅市場で流通させる等の支援を行うため、関係団体と協定を締結し連携を図る。		-	-
実績(令和2年度末見込み)		・納税通知書に空き家に関するリーフレットを同封し、情報提供を行った。 ・関係団体と連携を図るため、引き続き協定の締結に向けた協議を進めていく。		進捗	実施中(遅れている)	
	課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	空家等の除却や利活用に対する補助制度を設けたが、交付実績が少なく空家の解消に繋がっていない。今後の方向性として、補助金を利用しやすいように交付条件の緩和などを検討していく。		担当課総括評価	B	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけでの	基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する			
	施策	12	住環境の維持・向上			
	推進する主な事業	51	耕作放棄地解消事業			
	総合戦略記載の事業内容	農業従事者の高齢化や担い手の減少、また相続による不在地主の増加などにより増加傾向にある耕作放棄地について、雑草やゴミの不法投棄などの環境悪化を防ぐため、特定農地貸付事業等による農地管理を行い、健全な住環境の保全を行います。				
事業概要	事業名	特定農地貸付事業		担当課	農業委員会	
	事業内容	遊休農地あるいは今後耕作されなくなる農地を農家から市が無償で借り上げて市内在住の非農業者の方々を中心に、有期限を設定のうえ無償で貸し出しする市民農園事業。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	貸付農地1筆 面積1,063㎡ 利用者人数 12人		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	農業委員を通じて事業協力者を募って事業を拡大する		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	貸付農地1筆 面積479㎡ 利用者人数 6~8人		-	-
		実績	貸付農地1筆 面積479㎡ 利用者人数 4人		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	農業委員及び推進委員を通じて事業協力者を募って事業を拡大する。また、委員自らが行き届く遊休農地解消事業で解消した農地を利用して事業を拡大する。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	遊休農地解消2筆 面積950㎡ 利用者人数 8~10人		-	-
		実績	貸付農地3筆 面積2,290㎡ 利用者人数 20人		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	以前に比べて事業利用者の応募件数が少ないことから、広報活動を強化する。また、農業委員会委員の働きかけにより事業協力者を募って事業を拡大する。		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	遊休農地解消1筆 面積1000㎡ 利用者人数 5~10人		-	-
		実績	貸付農地1筆 面積1,001㎡ 利用者人数 8人		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	市内全域に広がりを見せ、都市部に近い地域での設置が進み、現在10ヶ所(9,300㎡)で98%(83名)の活動率のため、管理対応が遅れる現象が起こっている。そのため管理面の修正を行い、委員に協力を求め、円滑な活動となるよう努める。また、事業協力者も継続的に募り拡大にも繋げる。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	遊休農地解消1筆 面積1000㎡ 利用者人数 5~10人		-	-
		実績(令和2年度末見込み)	貸付農地1筆 面積200㎡ 利用者3名		進捗	実施中(計画どおり)
課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	H27~R2における進捗として、約1haの設置を行った。現在、10ヶ所86名が活動し、管理面の対応が懸念されている。現在、委員の協力を求め、円滑な活動となるよう努めているが、コロナ禍の中でのソーシャルディスタンスを含めた対応が今後の課題である。			担当課総括評価	A	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ での	基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する			
	施策	12	住環境の維持・向上			
	推進する主な事業	51	耕作放棄地解消事業			
	総合戦略記載の 事業内容	農業従事者の高齢化や担い手の減少、また相続による不在地主の増加などにより増加傾向にある耕作放棄地について、雑草やゴミの不法投棄などの環境悪化を防ぐため、特定農地貸付事業等による農地管理を行い、健全な住環境の保全を行います。				
事業概要	事業名	委員自らが取り組む遊休農地解消事業		担当課	農業委員会	
	事業内容	農業委員自らが農機具等を持ち寄り、耕運して農作物を栽培して、遊休農地を解消する。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	解消農地2筆 1,826㎡ に黒豆と味噌用大豆の栽培		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	農業委員を通じて解消する遊休農地を選定し事業の継続を図る		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	解消農地2筆950㎡ に黒豆と白大豆の栽培		-	-
		実績	解消農地2筆950㎡ に黒豆と白大豆の栽培		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	農業委員及び推進委員を通じて解消する遊休農地を選定し事業の継続を図る。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	遊休農地解消1筆1,164㎡ に黒豆と白大豆の栽培		-	-
		実績	遊休農地解消1筆1,164㎡ に黒豆と白大豆の栽培		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	農業委員会委員を通じて解消する遊休農地を選定し事業の継続を図る		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	遊休農地解消1筆1,600㎡ に黒豆と白大豆の栽培		-	-
		実績	遊休農地解消1筆1,600㎡ に黒豆と白大豆(かしば香るみそ用)の栽培及び幼稚園・保育所・障害者施設・JAとの連携で子ども達の体験農園を実施、土に親しみ農業への理解を則し、食育を通じた担い手の育成として継続した推進を行った。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	気候変動に伴う猛暑や台風の影響を踏まえて、選定作物の栽培を熟考し、今後の展開を図る必要があるため、適合する作物を選定し実施する。作付け圃場は、委員を通じて解消する遊休農地を選定し事業の継続を図る		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	遊休農地解消4筆約2,300㎡にさつまいも(体験農園)と白大豆(かしば香るみそ用大豆)を栽培		-	-
実績(令和2年度末見込み)		コロナ禍の影響をうけ、作業の分担や作業工程に一部支障をきたしたが、本町の1,200㎡のうち500㎡で「わくわく農園」の設置により幼児や障害者施設のごとも達し農業体験を催し、逢坂の1,100㎡では地域の農家へ耕作委託し、「かしば香るみそ」用大豆を作付け約70kgの収穫となり自給率の向上に繋がった。		進捗	実施中(計画どおり)	
	課題と今後の方向性 (計画期間における 全体総括)	H27～R2にかけて、安定した取組で、約1.4haの解消を行った。解消した農地については、大半を市民農園に誘導し、R1からは地域の担い手農家に引き継ぎ、酒米の生産等に利用集積している。今後も、解消農地を活用した担い手の育成と継続的な耕作推進を行う。			担当課 総括評価	A

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ の	基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する			
	施策	13	災害対策・防犯の充実			
	推進する主な事業	52	防災意識啓発事業			
	総合戦略記載の 事業内容	広報紙、ホームページ、出前講座等を活用し、市民への防災意識の啓発を行います。また、災害を想定した訓練により職員の災害対応能力の向上を図ります。				
事業概要	事業名	防災意識啓発事業	担当課	危機管理室		
	事業内容	出前講座や防災訓練を行い、市民の防災意識の向上を図る。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	・出前講座：15回開催。自主防災組織等やボランティアクラブの防災意識の向上を図った。 ・9月1日の防災の日及び11月6日のふれあいフェスタにて、香芝赤十字奉仕団とともに熊本地震の写真の展示や炊き出し訓練を実施。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・出前講座：内容の充実を図り、継続して実施 ・鎌田・三和校区の合同防災訓練：11月開催 ・自主防災組織に、最低でも2年に1回程度の防災訓練を行ってもらうよう働きかける。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	11月の真美ヶ丘校区の合同防災訓練に向けて調整をおこなう。 出前講座でDIG、HUGともに推進していく。 防災訓練を行っていない自主防災組織に働きかけ、最低でも2年に1回程度の防災訓練を行ってもらう。		—	—
		実績	・9月に本市と広陵町で合同救急フェア(広陵町)を開催し、11月には、真美ヶ丘東中学校にて、真美ヶ丘西・東小校区の合同防災訓練を実施。 ・11件の出前講座において、DIGやHUGなどを実施。 ・自主防災においては、11の自治会で消火訓練や避難訓練などを実施し、地域の防災力の向上を図った。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・合同防災訓練の未実施の地区で実施する。 ・更に、出前講座でDIG・HUGを推進する。 ・防災訓練未実施の自主防災組織に提案等をする。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	・本市と広陵町で合同救急フェア(香芝市)を開催し、二上小校区の合同防災訓練を実施する。 ・出前講座でDIGやHUGによる防災力の向上に努める。 ・自主防災組織に働きかけ、1団体につき最低でも2年に1回程度の防災訓練を行ってもらう。		—	—
		実績	・本市と広陵町で合同救急フェアの開催を予定していたが、天候により中止となった。 ・H30年12月に内閣府(中央防災会議)によって、従来の行政主導の避難対策の限界が指摘され、方向性の根本的な見直しを行う旨が示された。 ・自主防災組織による防災訓練の年間実績は14回で、延べ参加人数は1,665名(概算) ※市への報告があったもののみ。		進捗	実施中(遅れている)
		課題と今後の方向性	・災害が多く発生したこともあり、出前講座等の要望件数が増加した。 ・H30年12月に内閣府(中央防災会議)によって、従来の行政主導の避難対策の限界が指摘され、方向性の根本的な見直しを行う旨が示された。 ・今後は、これまで以上に、住民が自らの判断で主体的に避難するべく、防災意識の高い社会の構築に向けた施策を実施する。		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	・9/1の「防災の日」に合わせ、本市においても自治会(自主防災組織)と連携した防災訓練の実施を推進する。 ・出前講座などを通じた「自助」「共助」の意識醸成及びDIGやHUGを通じた防災力の向上に継続して努める。		—	—
		実績	・9/1の「防災の日」に合わせ、高山台及び閑屋自治会(自主防災組織)と連携した防災訓練を実施するとともに、近鉄五位堂駅において啓発を実施した。 ・「自助」「共助」の意識醸成及びDIGやHUGを通じた地域の防災力の向上を図り、出前講座(これに準じるものも含む)を13件実施した。また、自主防災組織等による防災訓練が12件(市に申し出のあったもののみ)実施され、要請に応じて訓練支援を行った。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・出前講座等の継続した実施を通じて、「自助」「共助」の重要性の啓発に努め、市民一人ひとりが防災の主体として活動していただける土壌作り継続して努める。 ・半ば「イベント化」している住民向けの訓練や出前講座においてレベルアップを図り、住民組織内で防災知識の向上や災害時に自ら避難行動などが行える防災リーダーの養成や、真に実効性のある訓練内容の検討及び実施を促していく。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	※新型コロナウイルス感染症の影響で、出前講座や防災訓練の実施は困難な状況にあるため、広報紙による啓発等を中心に、市民の防災意識の醸成を図る。 ※9/1の「防災の日」に合わせ、近鉄五位堂駅前における啓発を検討しているが、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、実施については慎重に判断する。		—	—
		実績(令和2年度末見込み)	感染症対策を徹底した上で出前講座(準じるものを含む)を2回実施した。(参加者は延べ約100名)。また、各自自主防災組織が主体となった防災訓練(市へ報告のあったもののみ)は3回開催された。(参加者は延べ128名)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性 (計画期間における 全体総括)	・出前講座は毎年度、多数の要望件数があり、「自助」「共助」の重要性の啓発を実施することができた。 ・今後の課題として、半ば「イベント化」している住民向けの訓練や防災行事などについて、真に実効性のある内容となるようレベルアップを図り、住民組織内での防災知識の向上や、災害時に自ら避難行動などが行える防災リーダーの養成を目指していく必要がある。		担当課 総括評価	A

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ での	基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する			
	施策	13	災害対策・防犯の充実			
	推進する主な事業	53	防災用品等備蓄事業			
	総合戦略記載の事業内容	災害時における生活必需品、医療品、非常食等の備蓄を行い、指定避難所となる各学校等への配置や災害備蓄倉庫の管理を行います。				
事業概要	事業名	防災用品等備蓄事業		担当課	危機管理室	
	事業内容	防災用品等備蓄計画をもとに、災害時に必要となる物資の備蓄をおこなう。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	今年度分の備蓄物資(マンホールトイレ、食料・水、毛布)の準備を進める。(10月中旬に入札を実施し、1月末に納品完了)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	今年度は食糧品の入れ替え時期であり、食糧関係の備蓄数量は増加しない状況。来年度は、学校を含めて物資を増加するとともに、保管場所として、市備蓄倉庫以外への保管方法を検討していく。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	今年度分の備蓄物資(毛布・水・食料)の入札通知をおこない、8月中旬に入札を行う。また、本年度の備蓄物資保管場所の増設に関しては、新設された消防署の訓練棟の一室と10月に完成予定の地域交流センター内の一室を借りることを予定している。		—	—
		実績	本年度で、備蓄食では計画していた2万食となった。また、備蓄物資については入札を行い確保に努めた。また、新設された消防訓練棟及び地域交流センター内に備蓄倉庫を増設することができた。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	現在の備蓄数を維持するとともに、更なる備蓄食の確保のために、近畿各地の市町村と災害協定を進める。備品に関して備蓄計画の検討をする。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	・備蓄物資の確保も含め、更に近畿各地の市町村と災害協定を進める。 ・備蓄物資(毛布・水・食料)の管理及び整備。 ・備蓄品目の検討		—	—
		実績	・10/15付けで奈良県葬祭業協同組合と災害時応援協定を締結した。 ・1/17付けで京田辺市と災害時相互応援協定を締結した。 ・備蓄物資(毛布・水・食料)の更新及び整備を実施した。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・本市独力での備蓄には保管に係るスペースや費用面などで限度がある。 ・災害時相互応援協定により複数市で備蓄に対応するとともに、「ローリングストック法」などを用いた各家庭における備蓄の普及を図る。		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	・備蓄物資(毛布・水・食料など)の更新及び整備を継続する。 ・災害時相互応援協定による複数市での備蓄体制の確立及び「ローリングストック法」などを用いた各家庭における備蓄の普及を継続して図る。		—	—
		実績	・食糧等の備蓄物資の更新及び整備を行った。 ・災害時相互応援協定に基づき、千葉県袖ヶ浦市へ備蓄物品(ブルーシート120枚)の提供を行った。 ・かつらぎ運輸株式会社と災害時における「物資の搬送」「物流拠点の運営」「物資保管施設及び資機材の提供」について協定を締結した。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・備蓄物資(食糧・水など)の更新及び整備を継続する。 ・避難施設の大半を占める小中学校の体育館に対し、停電時に備えたポータブル発電機やスポットクーラー等の簡易空調、LED投光機を順次整備し、避難施設の利用の充実化を検討していく。 ・災害時相互応援協定による複数市での備蓄体制の確立及び「ローリングストック法」などを用いた各家庭における備蓄の普及を継続して図る。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	・備蓄物資の更新・整備を行う。 ・避難施設の大半を占める小中学校の体育館に対し、停電時に備えたポータブル発電機やスポットクーラー等の簡易空調、LED投光機を配備し、避難施設の利用の充実化を図る。 ※新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、避難施設における感染防止策としてマスク・消毒液・間仕切りテント等を配備する。		—	—
		実績(令和2年度末見込み)	・ふるさとまちづくり基金を活用し、備蓄食料の更新やスポットクーラーの整備などを行った。 ・地方創生臨時交付金を活用し、マスク・消毒液・間仕切りテント・体温検知カメラ・ポータブル発電機・LED投光機などの整備や、小中学校等への簡易備蓄倉庫の設置などを行った。 ※当初、令和2年度～令和4年度の3年計画で予定していた避難施設の利用の充実化事業は、前倒しで完了		進捗	実施中(前倒し)
	課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	・食料などの物資については一定量の備蓄に達し、維持ができています。今後も、市による備蓄に加え、他組織との災害時相互応援協定の締結による備えや、「ローリングストック法」などを用いた各家庭における備蓄の普及を継続して図る。 ・今後の課題として、新型コロナウイルス対策のため、飛沫感染防止用の屋内用テントやパーティションの整備や、避難者1名あたりの占有面積の増加に伴い屋内で収容しきれない避難者用に屋外用テントの整備を進めていく必要がある。		担当課総括評価	A	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総 合 戦 略 記 載 の 事 業 内 容	基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する			
	施策	13	災害対策・防犯の充実			
	推進する主な事業	54	消防団活動促進事業			
	総合戦略記載の事業内容	自主防災組織、消防署等との連携を図り、きめ細かな防火意識の向上を推進するため、団員の加入促進を図ります。また、ポンプ車、消防資機材等の購入を計画的に進め、消防団の装備充実を図ります。				
事 業 概 要	事業名	消防団活動促進事業		担当課	危機管理室	
	事業内容	消防団の事務局として、ポンプ車や資機材の整備をすすめ、消防署と連携して訓練を行う。				
進 捗 管 理 項 目	取組状況					
	平成 28 年度	実績	・ポンプ車の購入準備(4月入札、11月納入完了)。 ・宝くじコミュニティ助成を活用し、資機材として無線を購入し整備。・消防操法大会へ出場。		進捗	実施中(計画ど おり)
		課題と 今後の方向性	ポンプ車の更新が完了したため、資機材の整備を進めていく。特に安全帽、活動服、雨合羽は整備計画をもとに更新していく。		担当課 評価	A
	平成 29 年度	実施計画	・3年に1度の改組に向け、人員調整や消耗品等の整備を行う。 ・消防署と連携をとり、秋季合同訓練や出初式の調整を行う。		—	—
		実績	・消防団春季及び秋季の合同訓練や年末夜警、出初式などの実施や、台風21号接近時による冠水時の適正な処置をした。また、19件の 消火活動にも努めた。 ・3年に1度の消防団員改組(入退)を行った。		進捗	実施中(計画ど おり)
		課題と 今後の方向性	・消防団員改組による新団員などの育成や団員確保に努める。		担当課 評価	A
	平成 30 年度	実施計画	・第一分団機庫の建替え(6月入札、11月未完了)。 ・消防操法大会へ出場。 ・第五分団機庫の建替えについて協議する。		—	—
		実績	・第一分団機庫の建替えが完了した。 ・第二分団が消防操法大会へ出場した。 ・第五分団機庫の建替えについて協議を継続している。		進捗	実施中(計画ど おり)
		課題と 今後の方向性	・今年度の度重なる災害に対し、消防団はその即応性と地域性を発揮し、大きな防災力となった。 ・災害は増加傾向にあり、消防団の有用性はますます高まる。継続して消防団が機能を十分に発揮できる環境を整えるとともに、団員の 資質向上を図る。		担当課 評価	A
	令和 元 年度	実施計画	・第五分団機庫の建替えについて継続して協議を行う。 ・「消火」に加え、「救助」に関しても消防団が機能を発揮できるよう、環境の整備及び団員の資質向上を図る。		—	—
		実績	・第五分団機庫の建替えについて自治会などと調整が完了し、令和2年度に着工できる体制が整った。 ・国が進める「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(H30～R2)に従い、災害時における消防団のより効果的な救助活動 を図るため、「消火用」の資機材と比較すると配備が進んでいない「救助用資機材」の整備を行った。		進捗	実施中(計画ど おり)
		課題と 今後の方向性	・第五分団機庫の建替え工事を実施する。 ・継続して、国が進める「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に従い、消防団の「救助用資機材」の整備を行う。 ・災害は増加傾向にあり、消防団の有用性はますます高まっている。継続して消防団が機能を十分に発揮できる環境を整えるとともに、 団員の資質向上を図る。		担当課 評価	A
	令和 2 年度	実施計画	・第五分団機庫の建替え工事を実施する。 ・継続して、国が進める「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に従い、消防団の「救助用資機材」の整備を行う。 ・災害は増加傾向にあり、消防団の有用性はますます高まっている。継続して消防団が機能を十分に発揮できる環境を整えるとともに、 団員の資質向上を図る。 ※新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、例年実施している訓練等については時期の見合わせを行う。また、消防活動中の感染を防ぐ ため、マスクやアルコール消毒液などを配備する。 ※感染症対策に対応した訓練を検討・実施する。		—	—
実績(令和2 年度未見込み)		・第五分団機庫の建替え工事に着工したが、竣工はコロナ禍の影響などにより令和3年6月頃となる予定である。 ・令和元年度からの2年計画で、国が進める「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に基き、消防団の「救助用資機材」の 整備を行った。 ・コロナ禍により多くの行事が中止・延期となったが、消防団員へはマスクや消毒液を配布し、感染症対策を徹底した上で、火災現場へ の出勤や、日々の訓練などに努めて頂いた。		進捗	実施中(計画ど おり)	
課題と今後の方向性 (計画期間における 全体総括)		・令和3年6月頃の第五分団機庫の建替え工事の竣工をもって、すべての消防団機庫の耐震化が完了する。 ・災害は増加傾向にあり、消防団の有用性はますます高まっている。継続して消防団が機能を十分に発揮できるよう、現団員の活動環 境を整えるとともに、資質向上を図る必要がある。また、全国的に消防団員は減少傾向にあり、団員数維持のための施策を検討・展開し ていく必要がある。		担当課 総括評価	A	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ での	基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する			
	施策	13	災害対策・防犯の充実			
	推進する主な事業	55	防犯対策事業			
	総合戦略記載の 事業内容	香芝警察署等との連携を密にし、各自治会の自主防犯組織の活動を支援することで、見守り活動など防犯対策を推進します。				
事業概要	事業名	防犯対策事業		担当課	生活安全課	
	事業内容	防犯カメラの設置や香芝警察署と連携し防犯対策啓発を通して安全で安心して暮らせるまちづくりの実現を図る。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	・香芝地区地域安全推進委員の委嘱(68名)済み ・引き続きATM警戒の実施 ・H28年度設置予定の10カ所の防犯カメラは全て設置済み		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	引き続きATM警戒の実施と、防犯カメラの維持管理の徹底		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	・引き続きATM警戒、防犯カメラの維持管理の徹底と香芝防犯協議会と連携し各自治会の自主防犯活動の支援を行う。		—	—
		実績	・ATM警戒については、警察と地域安全推進委員と合同で、市内大型商業施設にて振り込め詐欺等の注意喚起を行った。 ・防犯カメラの維持管理として、定期的に動作確認を行った。(1台不備が見つかったが、現在復旧済み)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・ATM警戒の継続的な実施の検討を行う。 ・防犯啓発グッズ等の配布を積極的に行い、自治会との連携を図り安全安心なまちづくりを目指す。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	・香芝警察署及び地域安全推進員と連携したATM警戒の実施 ・地域安全ニュース発行 ・防犯カメラ(30台)の維持管理の徹底		—	—
		実績	任期満了により地域安全推進委員の委嘱を行った。(67名) 香芝警察と連携してATM警戒などの活動を実施した。(年間6回) 毎月の地域安全ニュースに加え、市内で事案が発生した際には号外として地域安全ニュースを発出した。(年間12回) 防犯カメラについては引き続き維持管理に努める。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	警察などとの連携による防犯対策を実施しているが、本市独自の防犯活動も検討し、地域の安全強化を図る必要がある。		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	・香芝警察署と連携したATM警戒の実施 ・地域安全ニュースの発行(定期・随時) ・防犯カメラ(25台)の維持管理の徹底 ・本市独自の防犯活動の検討		—	—
		実績	・香芝警察署、地域安全推進委員と連携してATM警戒などの活動を実施した。(年間6回) ・毎月地域安全ニュースを発行した他、広報紙で詐欺被害への注意喚起を行った。(年間12回)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	犯罪発生件数等は減少しているが、高齢者を狙った詐欺被害など絶えず発生しているなか、警察などと連携した防犯対策を今後も継続して実施し、また自治会と連携した本市独自の防犯活動を検討し、安全安心なまちづくりを目指していく。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	・香芝警察署及び地域安全推進員と連携したATM警戒の実施 ・地域安全ニュース発行 ・防犯カメラ(25台)の維持管理の徹底		—	—
		実績(令和2年度末見込み)	・地域安全ニュースを紙面数を増やし、年間12回発行した。 ・「こども110番の家」の設置を推進した。 ・防犯カメラを維持点検すると共に警察への画像提供を実施した。		進捗	実施中(計画どおり)
	課題と今後の方向性 (計画期間における全体総括)	全国的に高齢者を狙った詐欺被害などが拡大傾向にあるが、香芝市においては件数・被害額ともに抑制でき、また犯罪発生件数も年々減少傾向にある。警察や関係団体などと連携をした防犯活動や地域における見守り活動の推進により、安全安心なまちづくりに貢献してきたと思われる。今後は、防犯対策啓発については、警察署などと連携した取り組みの他、各種媒体を利用した情報発信により、市民一人一人の防犯意識の向上をはかるとともに、防犯活動については、地域ぐるみの見守り活動を推進することにより、安心して暮らすことができるまちづくりの実現を図る。			担当課総括評価	A

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ の	基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する			
	施策	13	災害対策・防犯の充実			
	推進する主な事業	56	流域貯留浸透事業			
	総合戦略記載の 事業内容	近年頻発している局地的豪雨による浸水被害に対応するため、「ため池」を活用して一時的に雨水を貯留する施設の整備を行います。				
事業概要	事業名	流域貯留浸透事業		担当課	土木課	
	事業内容	「ため池」を活用して一時的に雨水を貯留する施設の整備を行う。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	事業対象箇所への調査・検討を行っている。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	調査等を実施した中で、事業箇所の選定を行う。		担当課評価	B
	平成29年度	実施計画	事業対象箇所への調査・検討を行う。		-	-
		実績	瓦口地区において、地元自治会や水利組合との調整・説明を行い、地区内の「ため池」(2箇所)を事業対象箇所として選定した。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	選定した「ため池」の測量設計を行い、雨水貯留施設を整備して治水量の確保に努める。事前調査では、多くの「ため池」が地形的に整備が困難であったり、治水量が効果的に確保できないなどの問題があり、今後の事業箇所選定が課題である。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	事業対象箇所への測量・設計を行う。		-	-
		実績	選定した「ため池」2箇所(橋詰・土山池)の測量設計を完了。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	測量設計の成果に基づき、雨水貯留施設の整備を行い治水量の確保に努める。国の交付要綱における治水量の規模(1,000m <sup>3</sup> 以上)により事業化の検討を要するため、事業箇所選定が課題である。		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	瓦口地区内の「ため池」2箇所(橋詰・土山池)の工事を行う。 また、畑地区内の事業対象箇所への調査・検討を行う。		-	-
		実績	橋詰池の工事(Ⅰ期)が完了。 畑地区の基礎調査が完了。		進捗	実施中(遅れている)
		課題と今後の方向性	基礎調査の成果に基づき、候補地の事業化を進める。 国の交付要綱における治水量の規模(1,000m <sup>3</sup> 以上)により事業化の検討を要するため、事業箇所選定が課題である。		担当課評価	B
	令和2年度	実施計画	瓦口地区内の「ため池」2箇所(橋詰池Ⅱ期・土山池)の工事を行う。 また、畑地区内の事業対象箇所への詳細設計を行う。		-	-
実績(令和2年度末見込み)		瓦口地区の橋詰池(Ⅱ期)及び土山池の工事が完了。 畑地区の測量設計が完了し、事業地とするため池2箇所を選定した。		進捗	実施中(計画どおり)	
課題と今後の方向性 (計画期間における 全体総括)	畑地区の測量設計の成果に基づき、選定した2箇所のため池について、雨水貯留施設の整備を進める。今後、工事実施に向けて、地元農事実行組合との協議や管理協定の締結が必要であり、スケジュール調整が課題となる。		担当課 総括評価	A		

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ の 概要	基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する			
	施策	14	保健・福祉の充実			
	推進する主な事業	57	高齢者・障がい者福祉の充実			
	総合戦略記載の事業内容	高齢者・障がい者の方が、住み慣れた地域で安心して生活できるための支援を行います。また、高齢者の増加にともなうサービス需要に対応できる体制の整備を行います。				
事業概要	事業名	障がい者の社会参加促進事業		担当課	社会福祉課	
	事業内容	社会参加の各分野と連携し、障がい者の社会参加を促進する。 (相談事業・障がい者スポーツ大会・ふれあいの集い・障がい者作品展・手話通訳の充実・障がい者差別解消法の周知 等)				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	現行の支援サービスに加え、事業の実施を図っている。 ・奈良県障がい者スポーツ大会参加(35名) ・手話通訳者の派遣(288件)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	障がいのある人の自立や社会参加を進めるうえで、全ての人が平等、円滑に情報を入力し、共有することができるよう、工夫する必要がある。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	・奈良県障がい者スポーツ大会及び身体障害者体育大会参加者60名 ・手話通訳者の派遣300件 ・全国障害者芸術・文化祭実施に伴う「香芝よさこい祭」への参加の働きかけ		—	—
		実績	・奈良県障がい者スポーツ大会及び身体障害者体育大会参加者51名 ・手話通訳者の派遣257件/要約筆記者の派遣22件 ・全国障害者芸術・文化祭実施に伴う「香芝よさこい祭」への参加		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	現行の支援サービスを継続する一方、障がいのある人の社会参加を進めるうえで必要な支援体制の整備充実について、障がい者計画(2期目)に反映させる。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	・奈良県障がい者スポーツ大会及び身体障害者体育大会参加者60名 ・手話通訳者の派遣約270件/要約筆記者の派遣約20件 ・障がい者計画の策定		—	—
		実績	・奈良県障がい者スポーツ大会及び身体障害者体育大会参加者41名 ・手話通訳者の派遣262件/要約筆記者の派遣33件 ・第2期障がい者計画の策定 計画期間:2019~2023年度		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	地域共生社会の実現をめざし、今後も関係団体との連携強化や第2期障がい者計画の周知・啓発に努め、実施計画の着実な推進を図る。		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	・奈良県障がい者スポーツ大会及び身体障害者体育大会参加者50名 ・手話通訳者の派遣約270件/要約筆記者の派遣約30件 ・(仮称)手話言語・障がい者コミュニケーション条例の制定について、令和2年4月施行を目指す。		—	—
		実績	・奈良県障がい者スポーツ大会及び身体障害者体育大会参加者49名 ・手話通訳者の派遣325件/要約筆記者の派遣20件 ・香芝市手話言語及び障がいの特性に応じたコミュニケーション手段に関する条例の制定。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	(仮称)香芝市手話言語及び障がいの特性に応じたコミュニケーション手段に関する条例制定後、条例の周知・啓発を進めるとともに、当事者の意見を聞く機会も設けながら施策の推進を図っていく。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	・身体障害者体育大会参加者50名 ・手話通訳者の派遣約280件/要約筆記者の派遣10件 ・香芝市手話言語及び障がいの特性に応じたコミュニケーション手段に関する条例の周知。条例に基づく施策推進のための会議の実施。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、奈良県障がい者スポーツ大会は中止。		—	—
実績(令和2年度末見込み)		・奈良県障がい者スポーツ大会及び身体障害者体育大会については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・手話通訳者の派遣約300件/要約筆記者の派遣15件 ・条例について、広報紙に特集記事の掲載。施策推進のための会議を実施		進捗	実施中(計画どおり)	
	課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	・新型コロナウイルス感染症の影響から、事業の休止や外出自粛による社会参加の機会の減少があったが、今後の状況により、事業の方向性と、社会参加の後退に繋がることへの懸念がある。コロナ禍でも、社会参加につながる仕組みづくりが課題。 ・社会参加を進めていくにあたっては、障がいのある方のニーズに合った支援の充実と、周囲の理解を深めていくことが必要。		担当課総括評価	A	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ	基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する			
	施策	14	保健・福祉の充実			
	推進する主な事業	57	高齢者・障がい者福祉の充実			
	総合戦略記載の事業内容	高齢者・障がい者の方が、住み慣れた地域で安心して生活できるための支援を行います。また、高齢者の増加にともなうサービス需要に対応できる体制の整備を行います。				
事業概要	事業名	介護予防・日常生活支援総合事業		担当課	介護福祉課	
	事業内容	予防訪問介護・予防通所介護を地域支援事業として実施することで、多様な担い手による支援や回数単価サービスでの支援を行う。また、高齢者の能力に応じた支援により、「自助」「公助」「共助」だけでなく地域での「互助」の仕組みづくりを行い、介護保険サービスに依存しない自立意欲の向上を目指す。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	介護予防事業及び旧総合事業に加え、介護予防・日常生活支援総合事業として下記の事業を実施。 ①訪問型サービス2種(延457人)家事支援、運動指導等 ②通所サービス1種(延683人)生活機能改善するための運動機能向上		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	多様なサービスの実施主体の育成と、地域での「互助」機運醸成が課題である。今後は、先駆的な事例を香芝市の状況に応じて展開し、地域の居場所づくりや生活支援サービスを創設していく。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	介護予防・日常生活支援総合事業として下記の事業を実施。 ①(予防)訪問型サービス3種(延590人)家事支援、運動指導等 ②(予防)通所サービス2種(延3,676人)生活機能改善するための運動機能向上		—	—
		実績	介護予防・日常生活支援総合事業として下記の事業を実施。 ①(予防)訪問型サービス4種(延1,462)家事支援、運動指導等 ②(予防)通所サービス2種(延2,904人)生活機能改善するための運動機能向上。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・課題:介護予防に向けた総合事業の周知。自立に向けた適切なケアマネジメントの実施。 ・今後の方向性:第7期介護保険事業計画に基づき、課題解決に向けた取組みを図り、生活支援やボランティアの継続した養成必要。地域の居場所づくりなど、自治会、地域住民と連携し実現する。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	・介護予防・日常生活支援総合事業として下記の事業を実施。 ①(予防)訪問型サービス4種(延1,373人)家事支援、運動指導等 ②(予防)通所サービス2種(延2,855人)生活機能改善するための運動機能向上 ③住民主体事業を担うボランティア養成講座を開催。 ・地域包括支援センターの紹介チラシを配布し、周知を図る。		—	—
		実績	介護予防・日常生活支援総合事業として下記の事業を実施。 ①(予防)訪問型サービス4種(1,517人) ②(予防)通所サービス2種(2,938人) ③住民主体事業を担うボランティア養成講座(9人受講→5人育成) 地域包括支援センター情報を保険証カバーに印字し周知を図った。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	いかに、自立に向けた適切なアセスメントとプログラムの提供を行えるかが課題。第7期介護保険事業計画に基づき、課題解決に向けた取組みを図るとともに、地域ケア会議や生活支援体制整備事業とも連携しながら、一体的な支援を受けられる体制づくりをめざす。		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	・介護予防・日常生活支援総合事業として下記の事業を実施。 ①(予防)訪問型サービス5種(1,760人)家事支援、運動指導等 ②(予防)通所サービス3種(3,188人)生活機能改善するための運動機能向上等 ③住民主体事業を担うボランティア養成講座を開催。 ・地域包括支援センターの紹介を機会を通じて、広報やチラシの配布等で、周知を図る。		—	—
		実績	介護予防・日常生活支援総合事業として下記の事業を実施。 ①(予防)訪問型サービス5種(1,533人)家事支援、運動指導等 ②(予防)通所サービス2種(2,840人)生活機能改善するための運動機能向上等 ③住民主体事業を担うボランティア養成講座を開催し会員数19名、サービス利用者23名。 ・地域包括支援センターの周知を図ると共に、令和2年度からの地域包括支援センター外部委託準備が1ヶ所から3ヶ所になることへの市民周知を機会を捉えて行った。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	訪問型、通所型サービスについては自立に向けた支援が充実し、自立できることでサービス利用の回数など状況に応じて変わってくるため、人数や回数で評価することは難しいが、自立に向けた支援により、早期に介護予防につながるため継続が必要。少子高齢化により介護職の担い手不足を見据え住民主体による支援や生活支援整備事業の地域力の活性化などの事業強化が必要。市内に地域包括支援センターが3か所になったことで連携強化が必要。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	・介護予防・日常生活支援総合事業として下記の事業を実施。 ①(予防)訪問型サービス4種(2,276人日常生活)家事支援、運動指導等 ②(予防)通所サービス3種(3,204人)生活機能改善するための運動機能向上等 ③令和2年度からの地域包括支援センターが3ヶ所になったため、相談場所について市民に周知を行っていく。 ④各包括が利用者の状態に応じた適切な資源につなげていくことができるように支援を行う。		—	—
		実績(令和2年度末見込み)	介護予防・日常生活支援総合事業として下記の事業を実施。 予防訪問型サービス、予防通所型サービスを実施している。専門職によるものや、住民主体による多様な主体が参画し、地域の支え合い体制づくりを構築することができた。それにより各地域包括支援センターは共助、地域の助け合い、互助、自助を意識したサービスの開始につなげることができた。 また、出前講座、3地区民生委員定例会にて地域包括支援センターの役割や業務を説明することができたことで高齢者の身近な相談窓口であることを周知することができた。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	平成28年10月、総合事業に完全移行したことで 2025年問題や香芝市の人口構造などを把握した上で新しく地域資源を生み出し、活用することができた。 また、住民が参加した支援や地域の状況にあわせたサービス種類など、複数の資源から選択することができることにより、一般介護予防から総合事業までの過程において切れ目のない資源ができた。 今後の方針としては事業所が継続可能な運営ができるようにすることと同時に、住民に近い資源をつくりだすことで自然に人と人のつながりをもてるような資源を構築していきたい。 課題として、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、住民主体型の支援体制の拡充が難しくなっており、従来型の専門職によるサービス提供のみを利用する傾向が大きくなってきている。		担当課総括評価	A

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ の 概要	基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する			
	施策	14	保健・福祉の充実			
	推進する主な事業	58	介護予防・健康づくりの推進			
	総合戦略記載の事業内容	介護保険制度に基づき、介護予防事業を推進します。健康かじば21に基づいて健康増進事業を推進します。				
事業概要	事業名	一般介護予防事業		担当課	介護福祉課	
	事業内容	第1号被保険者が要介護状態等となることを予防するとともに、要介護状態等の軽減・悪化を防止し、年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、住民運営の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、当該事業の参加者及び通いの場が継続的に拡大していく地域づくりを推進する。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	一般介護予防事業として下記を実施。 ・介護予防普及啓発事業4種(延5,641人) ・住民主体の介護予防(介護予防リーダー養成講座11回、いきいき百歳体操3地区)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	利用者の増加のために広報紙やホームページなどで案内し参加者を増やす。また、地域における住民主体の介護予防を推進し、普及・啓発するための介護予防リーダーを養成していく。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	○一般介護予防事業として下記を実施予定。 ・介護予防普及啓発事業4種(延6,544人) ・住民主体の介護予防(介護予防リーダー養成講座11回、いきいき百歳体操7地区) ○今年度より、介護予防リーダー1期生10名が予防教室講座講師として活動を開始予定。		—	—
		実績	○一般介護予防事業として下記を実施。 ・介護予防普及啓発事業4種(延5,708人) ・住民主体の介護予防(介護予防リーダー養成講座11回、いきいき百歳体操5地区) ○今年度より、介護予防リーダー1期生10名、2期生20名が予防教室講座講師として活動を開始。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・課題：市民に身近な場所を活用し、介護予防教室の一層の展開が求められる。 ・今後の方向性：第7期介護保険事業計画に基づき、教室の継続及び展開を図る。介護予防ボランティアの継続した養成及び活動支援を継続する。地域における住民主体の通いの場の拡大。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	一般介護予防事業として下記を開催。 ①介護予防普及啓発事業2種(体操・講演等、延2,060人) ②介護予防教室7種(転倒骨折予防・認知症予防教室等、延8,452人) ③地域介護予防活動支援事業3種(いきいき百歳体操等、235人) (介護予防リーダー30名が予防教室講座講師として活動予定)		—	—
		実績	一般介護予防事業として下記を開催。 ①介護予防普及啓発事業2種(体操・講演等、1,217人) ②介護予防教室7種(転倒骨折予防・認知症予防教室等、8,759人) ③地域介護予防活動支援事業3種(いきいき百歳体操等、280人) (介護予防リーダー26名が予防教室講座講師として活動)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・リハビリテーション専門職の活用と関与が求められている。また、市民の身近な場所で住民主体による通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりが必要。 ・H31年度(2019年度)から、国の方針に沿って総合事業全体の評価を実施。		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	一般介護予防事業として下記を開催。 ①介護予防普及啓発事業2種(体操・講演等、2,060人) ②介護予防教室7種(転倒骨折予防・認知症予防教室等、9,000人) ③地域介護予防活動支援事業3種(いきいき百歳体操等、290人) (介護予防リーダー45名が予防教室講座講師として活動)		—	—
		実績	一般介護予防事業として下記を開催。 ①介護予防普及啓発事業2種(体操のみ・講演会せず 1,130人) ②介護予防教室7種(転倒骨折予防・認知症予防教室等、10,649人) ③地域介護予防活動支援事業3種(いきいき百歳体操等、430人) (介護予防リーダー41名が予防教室講座講師として活動)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	教室等への参加者は横ばい状態であったが、住民主体の通いの場は、目標13ヶ所に対し15ヶ所となり目標を上回った。しかし香芝市の人口に対する将来見込み個所はおおむね80ヶ所必要であり、今後も継続しいきいき百歳体操の普及啓発と支援が必要。介護予防リーダー(住民主体)による介護予防の取り組みが活発になることで、介護予防に取り組みむ人が増加し、健康寿命の延伸や介護保険の給付費の抑制につながるよう支援の強化及び事業の継続が必要。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	一般介護予防事業として下記を開催。 ①介護予防普及啓発事業2種(介護予防教室・出前講座) ・介護予防教室4種(転倒骨折予防・フレイル予防・栄養改善・口腔機能向上教室)9,000人 ・出前講座 1,000人 ②地域介護予防活動支援事業(いきいき百歳体操 21箇所 525人) (令和2年度から地域包括支援センターを一部委託して実施)		—	—
実績(令和2年度末見込み)		介護予防普及啓発事業2種(介護予防教室・出前講座) ①・介護予防教室4種(転倒骨折予防・フレイル予防・栄養改善・口腔機能向上教室)1,000人 ・出前講座 300人 ②地域介護予防活動支援事業(いきいき百歳体操 19箇所 475人) (令和2年度から地域包括支援センターを一部委託して実施) ※新型コロナウイルス感染拡大防止目的で、事業縮小		進捗	実施中(遅れている)	
	課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	住民主体の通いの場の創設や介護予防リーダーの養成について計画通りに実施できており、地域住民が交流できる機会を多く提供できた。その結果、高齢者の運動習慣の増加や、閉じこもりの減少につながった。今後の方針として、介護予防教室を行政主導型の教室から、地域の集会所などで市民による住民主体型の教室へと移行していく。更に、パソコンや携帯電話、スマートフォンなどを持っている高齢者も増えてきたことからアプリ等を活用した教室展開を検討する。		担当課総括評価	A	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ の	基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する			
	施策	15	市民協働・地域間連携・官学連携の推進			
	推進する主な事業	59	地域コミュニティ活動の活性化			
	総合戦略記載の事業内容	地域住民同士の助け合い、地域福祉、防災・防犯力の向上など地域コミュニティの活性化を図るため、自治会活動の支援を行います。				
事業概要	事業名	自治会活動支援事業		担当課	市民協働課	
	事業内容	自治会の協力及び市民の理解により、市の行政活動が円滑に遂行され、もって地域の自治振興に寄与されている自治会の健全なる発展及び育成を図り、市民と一体化した行政の実現を図るため、自治会に対し、各種補助金及び交付金を交付する。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	【交付実績】①防犯灯整備補助金:21,377千円 ②消防施設整備補助金:1,745千円 ③有線放送設置補助金:98千円 ④防犯カメラ設置補助金:2,130千円 ⑤自治会交付金:28,746千円		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	防犯灯設置補助金について、平成32年度を目標に市内防犯灯約8,200灯を全灯LED化する目標を立てており、各自治会との協力体制の構築がより一層重要となる。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	【当初予算】①防犯灯整備補助金:26,000千円 ②消防施設整備補助金:700千円 ③有線放送設置補助金:150千円 ④防犯カメラ設置補助金:3,000千円 ⑤自治会交付金:29,600千円		—	—
		実績	【交付実績】①防犯灯整備補助金:27,070千円 ②消防施設整備補助金:625千円 ③有線放送設置補助金:604千円 ④防犯カメラ設置補助金:2,216千円 ⑤自治会交付金:29,183千円		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	市内防犯灯約8,300灯について、平成32年度を目標に完全LED化する計画が進行中であり、目標達成のためにも各自治会とより一層協力していく。		担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	【当初予算】①防犯灯整備補助金:26,000千円 ②消防施設整備補助金:700千円 ③放送設備設置補助金:1,150千円 ④防犯カメラ設置補助金:3,000千円 ⑤自治会交付金:29,700千円		—	—
		実績	【交付実績】①防犯灯整備補助金:25,000千円 ②消防施設整備補助金:350千円 ③有線放送設置補助金:10千円 ④防犯カメラ設置補助金:1,500千円 ⑤自治会交付金:29,289千円		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	市内防犯灯8,324灯について、H31年1月末時点でLED化率84.3%と順調に進捗しているため、当初計画より1年早いH31年度末の完全LED化を目指す。目標達成のために、各自治会とより一層協力していく。		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	【当初予算】①防犯灯整備補助金:26,000千円 ②消防施設整備補助金:700千円 ③放送設備設置補助金:1,150千円 ④防犯カメラ設置補助金:3,000千円 ⑤自治会交付金:29,700千円		—	—
		実績	【交付実績】①防犯灯整備補助金:14,907千円 ②消防施設整備補助金:554千円 ③放送設備設置補助金:189千円 ④防犯カメラ設置補助金:2,647千円 ⑤自治会交付金:29,196千円		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	市内防犯灯8,465灯について、R2年1月末時点でLED化率88.6%と順調に進捗しているため、R2年度末の完全LED化を目指す。防犯カメラについて、R2年1月末時点で26自治会91台が設置されており、安全安心なまちづくりに貢献できている。目標達成のために、各自治会とより一層協力していく。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	【当初予算】①防犯灯整備補助金:21,000千円 ②消防施設整備補助金:700千円 ③放送設備設置補助金:800千円 ④防犯カメラ設置補助金:2,000千円 ⑤自治会交付金:30,800千円		—	—
		実績(令和2年度末見込み)	【交付実績】①防犯灯整備補助金:9,411千円 ②消防施設整備補助金:895千円 ③放送設備設置補助金:30千円 ④防犯カメラ設置補助金:1,137千円 ⑤自治会交付金:29,992千円		進捗	実施中(計画どおり)
課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	引き続き、地域の自治振興に寄与されている自治会の健全なる発展及び育成を図り、市民と一体化した行政の実現を図るため、自治会に対し、各種補助金及び交付金を交付する。			担当課総括評価	A	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ の 概略	基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する			
	施策	15	市民協働・地域間連携・官学連携の推進			
	推進する主な事業	60	市民によるまちづくり活動の推進			
	総合戦略記載の 事業内容	市民団体が行う自主的で公益性の高い事業に対して補助を行うとともに、新たに市民活動を行おうとする市民・団体の育成に取り組みます。				
事業概要	事業名	まちづくり提案活動支援事業補助金		担当課	市民協働課	
	事業内容	市民団体の活動に対する支援の一環として、事業に要する経費の一部を補助する。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	H28年度は、新規団体の活動を促すため、活動開始1年以内の団体に限り、補助率を3/4に引き上げて募集。 当初募集:応募16件、うち14件採択。 追加募集:応募4件、うち2件採択。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	市民活動団体の内容を広く周知するなどして、市民協働の機運を高めていくとともに、活動内容を充実させるための取組みについても検討していく。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	H29年度は、補助金及び市民活動団体の内容・効果を広く周知し、活動内容を充実させる取組みについて検討していく。 当初募集:応募12件		—	—
		実績	広報および市HPにて、提案事業を募集した。(4月・9月) また、提案事業の事業概要や事業費予算額、審査会講評を公開することで、市民活動団体の取組内容や効果について、広く周知した。 当初募集:応募12件、うち12件採択 追加募集:応募1件、うち1件採択		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	応募団体が減少している為、啓発や要綱の見直しを検討する。		担当課評価	B
	平成30年度	実施計画	補助金及び市民活動団体の内容・効果を広く周知し、活動内容を充実させる取組みについて検討していく。 当初募集目標:15件		—	—
		実績	提案事業の事業概要や事業費予算額、審査会講評を公開することで、市民活動団体の取組内容や効果について、広く周知した。 当初募集:応募19件、うち17件採択 追加募集:応募3件、うち1件採択		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	応募数目標は達成できたが、引き続き応募団体の増加にむけて、従来の広報紙やHPへの掲載に加え、SNS・チラシの活用、団体同士の口コミなど、制度の周知方法を検討していく。また、市民団体が当制度をより利用しやすくなるよう、要綱の見直しを検討する。		担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	・本制度の広報活動(広報紙・市ホームページ・チラシ) ・提案事業団体の募集(採択団体目標数:20件) ・市民団体同士の交流促進を目的とした、補助事業団体による成果報告会の開催(翌年5月開催予定)		—	—
		実績	・提案事業を募集し、13団体に対し補助金交付決定を行った。 ・申請方法がわかりやすくなるよう、申請書類の記入例冊子を作成した。 ・今年には新たに、市民団体間の交流の促進および審査委員からのアドバイスによる事業の発展などを目的として補助団体による事業の成果報告会を実施した。【応募件数:19件/採択件数:13件】		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・成果報告会は、審査委員の講評を直接聞くことができ、また市民団体間で情報交換できたことで、今後の事業発展につながるものであった。 ・昨年度に比べて応募件数が減少した。市民団体にとって申請のハードルが高いという声があった。 ・これらを受け、成果報告会を利用した事業の広報、申請段階での支援を検討する。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	・本制度の広報活動(広報紙・市ホームページ・チラシ) ・市民活動の促進、申請増加を目的とした事前説明会を実施する。 ・提案事業団体の募集(採択団体目標数:20件) ※新型コロナウイルス感染症防止のため、成果報告会に代え、市HPにてリーフレット形式の成果報告を公表する。		—	—
		実績(令和2年度末見込み)	・採択8団体、不採択1団体 ・事前説明会の実施 ・市民活動・ボランティア団体のための資金調達入門講座実施		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性 (計画期間における全体総括)	引き続き、市民団体が行う自主的で公益性の高い事業に対して補助を行うとともに、新たに市民活動を行おうとする市民・団体の育成に取り組む。		担当課総括評価	A

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ の	基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する				
	施策	15	市民協働・地域間連携・官学連携の推進				
	推進する主な事業	61	地域イベントの実施				
	総合戦略記載の 事業内容	市民団体との連携協働により、市民が主体となり、地域活性化につながるイベントを行います。					
事業概要	事業名	市民協働まちづくりイベントの実施			担当課	市民協働課	
	事業内容	各実行委員会と連携協働し、「香芝ふれあいフェスタ」及び「冬彩」を開催する。					
進捗管理項目	取組状況						
	平成28年度	実績	・香芝ふれあいフェスタ:11月6日(日)開催 (実行委員会5回開催) ・冬彩:12月17日(土)開催 (実行委員会4回開催)			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	今後も委員会や関係業者と協力し、継続して事業を行う。			担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	・香芝ふれあいフェスタ:11月5日(日)開催 (実行委員会5回開催予定) ・冬彩:12月16日(土)開催 (実行委員会4回開催予定)			—	—
		実績	・香芝ふれあいフェスタ:11月5日(日)開催 (実行委員会8回開催) ・冬彩:12月16日(土)開催 (実行委員会6回)			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	委員会や関係業者と協力し、事業の効率化を目指す。 新規市民活動団体の出展の増加を目指す。			担当課評価	A
	平成30年度	実施計画	・香芝ふれあいフェスタ:11月4日(日)開催 (実行委員会8回開催見込み) ・冬彩:12月15日(土)開催 (実行委員会6回開催見込み)			—	—
		実績	・香芝ふれあいフェスタ:11月4日(日)開催 (実行委員会8回開催) ・冬彩:12月15日(土)開催 (実行委員会5回、役員会1回開催)			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・イベント活性化のため、新規市民活動団体の出展の増加を目指す。 ・実行委員会の自主的な活動を促す。			担当課評価	A
	令和元年度	実施計画	・香芝ふれあいフェスタ:11月3日(日)開催 (実行委員会8回開催予定) ・冬彩:12月14日(土)開催 (実行委員会5回、役員会1回開催)			—	—
		実績	・香芝ふれあいフェスタ:11月3日(日)開催 (実行委員会14回開催予定) ・冬彩:12月14日(土)開催 (実行委員会5回、役員会1回開催)			進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	・イベント活性化のため、新規市民活動団体の出展の増加を目指す。 ・実行委員会の自主的な活動を促す。			担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	・香芝ふれあいフェスタ:11月1日(日)開催 (実行委員会8回開催予定) ・冬彩:12月19日(土)開催 (実行委員会5回、役員会1回開催) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模縮小にて実施。			—	—
		実績(令和2年度末見込み)	・香芝ふれあいフェスタ…新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止 ・冬彩…12月にライブ配信及び市内3ヶ所での打ち上げ花火実施			進捗	実施中(遅れている)
	課題と今後の方向性 (計画期間における全体総括)	引き続き、市民・地域団体・事業者との協働によるまちづくりイベントにより、地域の活性化とシビックプライドの醸成を図っていく。			担当課総括評価	A	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけでの 略けでの	基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する			
	施策	15	市民協働・地域間連携・官学連携の推進			
	推進する主な事業	62	自治体間連携・官民連携推進事業			
	総合戦略記載の 事業内容	市単独では対応しがたい地域課題に対し、他の自治体や民間企業等と連携を図り、効果的・効率的に施策を推進します。				
事業概要	事業名	自治体間連携・官民連携推進事業		担当課	企画政策課	
	事業内容	行政サービスのさらなる向上に取り組むため、また市単独では対応しがたい地域課題に柔軟に対応していくために、近隣市町村や共通課題を抱える他市町村との連携、また企業固有のノウハウやネットワークの活用等を図る。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	7月に、広陵町との「相互連携に関する協定書」(H27.11締結)に関して、具体的取り組み事項を明記した「協議内容確認書」を締結し、取組みの促進を図り、その実現化に向けた双方の意思確認を行った。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	現在、他の自治体と連携が必要な喫緊の課題がないため、今年度はまだ新たな自治体との連携協定締結はないが、今後必要に応じて検討を進める。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	今年度も各種連携事業を推進する。 広陵町との新たな連携事業として、香芝市2施設、広陵町2施設の相互利用を開始。 他の連携協定締結については必要に応じて検討する。		—	—
		実績	・各所管課において、各種連携事業を継続して実施したほか、広陵町との新たな連携事業として、香芝市2施設、広陵町2施設の相互利用の開始、人事研修の合同開催等を行った。		進捗	実施中(計画どおり)
	平成30年度	課題と今後の方向性	・来年度も各種連携事業を継続して実施する。 ・今後は幅広い課題に対応するため、企業との連携を含んだ自治体間連携についても視野に入れて検討を進める必要がある。		担当課評価	A
		実施計画	・今年度も各分野において約220事業の連携事業を推進する。 ・いずれかの団体と複数部局において連携事業が見込まれる場合は、新たな包括協定の締結を進める。		—	—
	令和元年度	実績	各分野の連携事業を継続したほか、広陵町と職員相互派遣による人事交流及び合同RESAS研修(講師:南都銀行)を実施。京田辺市と「災害時相互応援協定」を締結した。官民連携事業では、給食協同組合による子ども安全見守り啓発活動を開始。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	現在の連携事業を継続するとともに、市で実施している各事業の検証を行い、連携事業の今後の展開を模索する。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	・各分野で実施している約220の連携事業を推進する。 ・いずれかの団体と複数部局において連携事業が見込まれる場合は、新たな包括協定の締結を進める。		—	—
		実績(令和2年度未見込み)	各分野で連携事業を継続して実施したほか、自治体連携に関しては、広陵町と相互職員派遣及び合同研修を継続実施。官民連携事業に関しては、商業施設内での消費者保護関連のパネル展の開催や災害時の情報発信、ドローン技術の活用等に関する協定を締結した。		進捗	実施中(計画どおり)
	令和2年度	課題と今後の方向性	連携事業における効果検証の手法について検討が必要。そのうえで、事業を改善しながら、将来的な方向性を模索していく。		担当課評価	A
		実施計画	・各分野で実施している約240の連携事業を推進する。 ・行政評価時に、各所管で実施する連携事業のPDCAの検証を行う。 ・いずれかの団体と複数部局において連携事業が見込まれる場合は、新たな包括協定の締結を進める。		—	—
	令和2年度	実績(令和2年度未見込み)	各分野で連携事業を継続して実施したほか、㈱関西都市居住サービスと地方創生に係る包括連携協定を締結した。また、奈良県警察と「高齢者運転免許自主返納支援事業に関する協定」を締結した。また、香芝市・葛城市・北葛城郡の各町と共同でコロナ検査センターを開設した。(市内の設置場所では生喜病院)		進捗	実施中(計画どおり)
令和2年度	課題と今後の方向性(計画期間における全体総括)	連携事業については、今後も継続的に取り組むことが重要である。地域課題の解決やより一層の市民サービスの向上を目指すため、事業を立案や実施していく中で、連携を1つの手法として積極的に検討していく。		担当課総括評価	A	

香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

総合戦略 位置づけ の	基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する			
	施策	15	市民協働・地域間連携・官学連携の推進			
	推進する主な事業	63	大学連携推進事業			
	総合戦略記載の 事業内容	行政だけでは対応しがたい地域課題に対し、知識やノウハウを持つ大学等と連携を図ることにより、対応していきます。				
事業概要	事業名	大学連携推進事業		担当課	企画政策課	
	事業内容	大学と連携し、大学が持つ知見やノウハウ、学生の活力等を行政に活かすことで、地域課題に取り組み、地域の活性化を図る。				
進捗管理項目	取組状況					
	平成28年度	実績	これまでに協定を締結している4大学と各所管課において連携事業を実施している(健康相談室、市内事業所との商品開発、各種委員会等委員 など)		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	今年度はまだ新たな大学との連携協定締結はないが、今後必要に応じて検討を進める。		担当課評価	A
	平成29年度	実施計画	今年度も各種連携事業を推進する。 他の連携協定締結については必要に応じて検討する。		—	—
		実績	各所管課において、課題に対して密に連携して取り組むために教育に関する個別協定の締結、また子育てに関する分野において新たに協力し事業を展開する等行った。		進捗	実施中(計画どおり)
	平成30年度	課題と今後の方向性	来年度も各種連携事業を継続して実施する。 今後も幅広い課題に取り組んでいくため、新たな分野・方法での連携も必要に応じて検討を進める。		担当課評価	A
		実施計画	今年度も各分野において約90の連携事業を推進する。 いずれかの団体と複数部局において連携事業が見込まれる場合は、新たな包括協定の締結を進める。		—	—
	令和元年度	実績	各分野での連携事業を継続して実施したほか、大阪樟蔭女子大学の講義(年4回)に参加し、地域課題(主に子育て支援、女性活躍推進)をテーマとした発表会を実施した。		進捗	実施中(計画どおり)
		課題と今後の方向性	現在の連携事業を継続するとともに、市で実施している各事業の検証を行い、連携事業の今後の展開を模索する。		担当課評価	A
	令和2年度	実施計画	各分野で実施している約80の連携事業を推進する。 いずれかの団体と複数部局において連携事業が見込まれる場合は、新たな包括協定の締結を進める。		—	—
		実績(令和2年度未見込み)	各分野での連携事業を継続して実施したほか、また、畿央大学を主体として、市内2ヶ所で環境アート事業を実施し、シティプロモーションを推進。また、畿央大学と株式会社C'sの産学連携事業をマッチングし、新商品の開発・販路開拓を支援することで、今後、地域ブランド事業への展開を図る。		進捗	実施中(計画どおり)
	令和2年度	課題と今後の方向性	連携事業における効果検証の手法について検討が必要。そのうえで、事業を改善しながら、将来的な方向性を模索していく。		担当課評価	A
		実施計画	各分野で実施している約90の連携事業を推進する。 行政評価時に、各所管で実施する連携事業のPDCAの検証を行う。 いずれかの団体と複数部局において連携事業が見込まれる場合は、新たな包括協定の締結を進める。		—	—
	課題と今後の方向性 (計画期間における 全体総括)	一部連携事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、市内企業と奈良工業高等専門学校・畿央大学の産学連携のためのマッチング支援を行った。また、奈良県立大学地域創造研究センターに対して、本市の観光資源の活用に関しての相談を行った。		進捗	実施中(計画どおり)	
課題と今後の方向性 (計画期間における 全体総括)	連携事業については、今後も継続的に取り組むことが重要である。地域課題の解決やより一層の市民サービスの向上を目指すため、事業を立案や実施していく中で、連携を1つの手法として積極的に検討していく。		担当課 総括評価	A		